

2. その他の事項について

問 14. あなた自身の健康、余暇活動等について、お考えをお答えください。

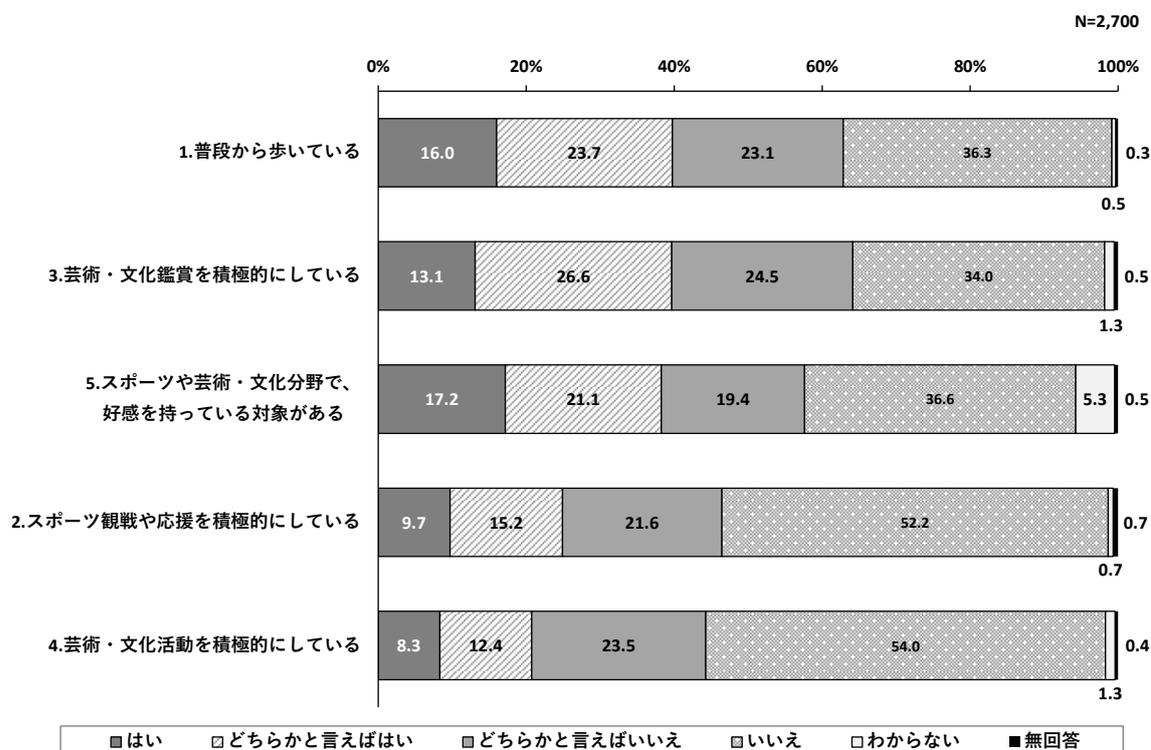
自身の健康、余暇活動等について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が高かったのは、「1.普段から歩いている」と「3.芸術・文化鑑賞を積極的にしている」が各39.7%と最も高く、次いで「5.スポーツや芸術・文化分野で、好感を持っている対象がある」が38.3%であった。「5.スポーツや芸術・文化分野で、好感を持っている対象がある」では「はい」が17.2%を占めている。

一方、『はい』が低かったのは、「4.芸術・文化活動を積極的にしている」が20.7%と最も低く、次いで「2.スポーツ観戦や応援を積極的にしている」が24.9%であった。

また、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）が高かったのは、「4.芸術・文化活動を積極的にしている」が77.6%と最も高く、次いで「2.スポーツ観戦や応援を積極的にしている」が73.8%であった。

全体的に見て、スポーツ観戦や応援、芸術・文化活動などを積極的に行っている人はまだ少ないことがうかがえる。

図表 14 あなた自身の健康、余暇活動等について



問 14-① 普段から、歩くこと（ウォーキング）に取り組んでいますか。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 39.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 59.4%と、『いいえ』の方が 19.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 53.4%を占めているものの、「30～39 歳」では 29.0%と、他の年代と比較して低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 5.6 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 44.1%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 43.1%と、「いる」よりも 5.3 ポイント高い。

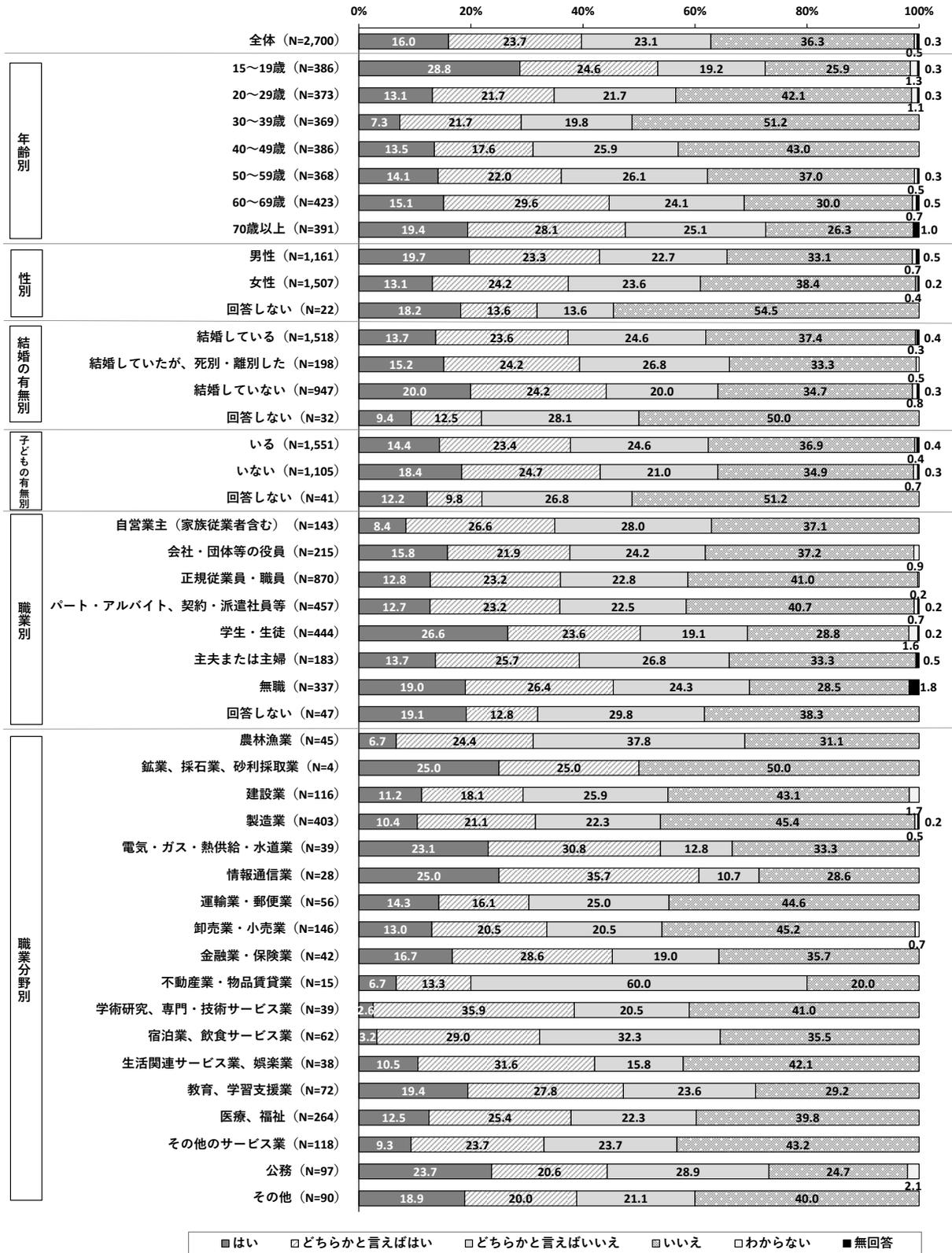
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 50.2%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 53.8%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「建設業」では『はい』が 29.3%と、他の職業分野と比較して若干低くなっている。

図表 14-1 普段から、歩くこと（ウォーキング）に取り組んでいますか。



問 14-② スポーツ観戦や応援を積極的に行っていますか。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 24.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 73.8%と、『いいえ』の方が 48.9 ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 43.0%を占めているものの、他の年代では 2割台以下となっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 7.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 29.9%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 28.9%と、「いる」よりも 6.6 ポイント高い。

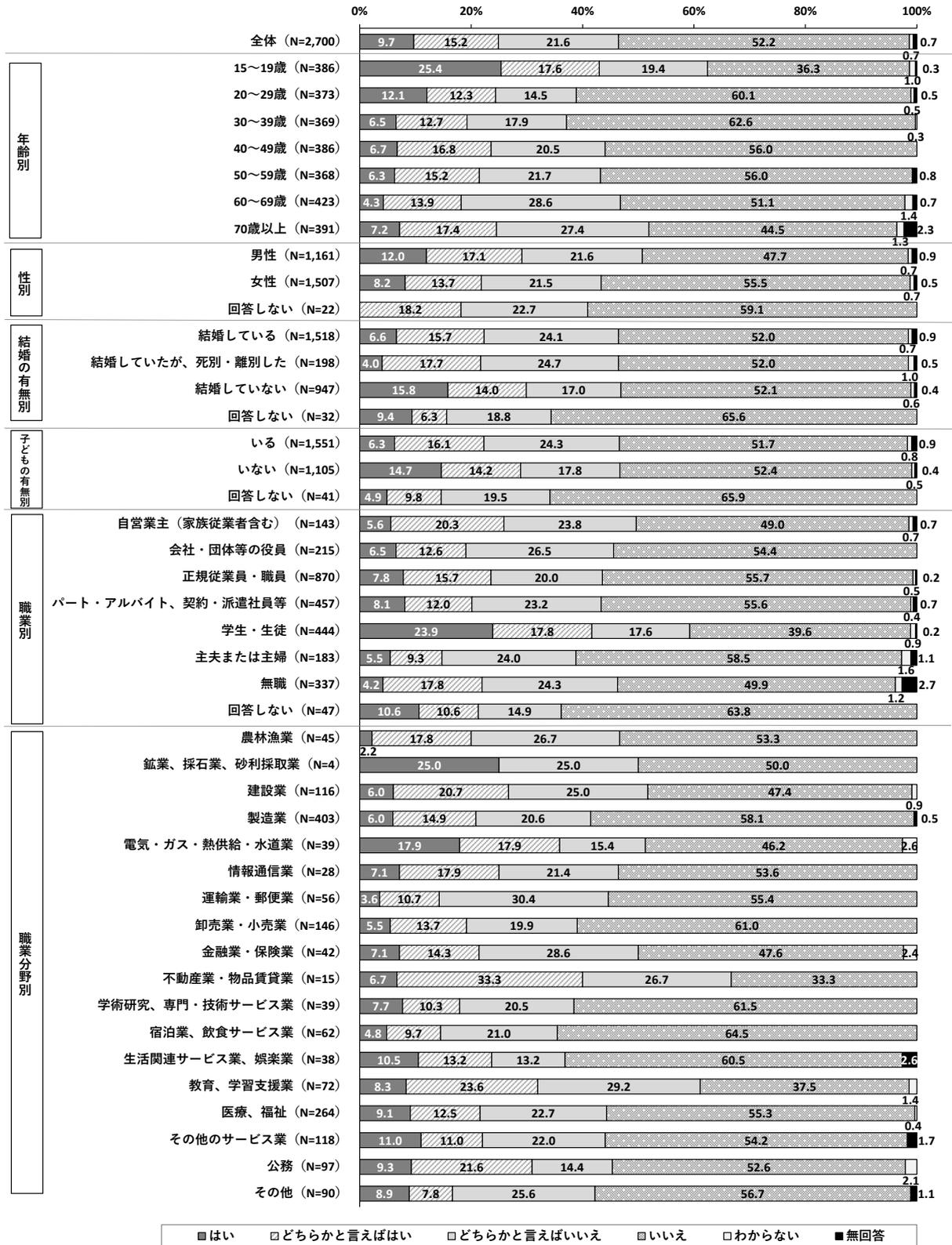
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 41.7%と、他の職業と比べて高い。一方、「主夫または主婦」では 14.8%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が 3割を超えており、他の職業分野と比較して高い。一方、「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 14%台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-2 スポーツ観戦や応援を積極的に行っていますか。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えはいえ □いいえ □わからない ■無回答

問14-③ 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）鑑賞を積極的に行っていますか。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が39.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は58.5%と、『いいえ』の方が18.8ポイント高い。

（2）年齢別

20歳代以下で『はい』が5割を超えているが、他の年代では3割台となっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が10.1ポイント高い。

（4）－1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が52.1%と、他と比較して高い。

（4）－2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が49.7%と、「いる」よりも16.8ポイント高い。

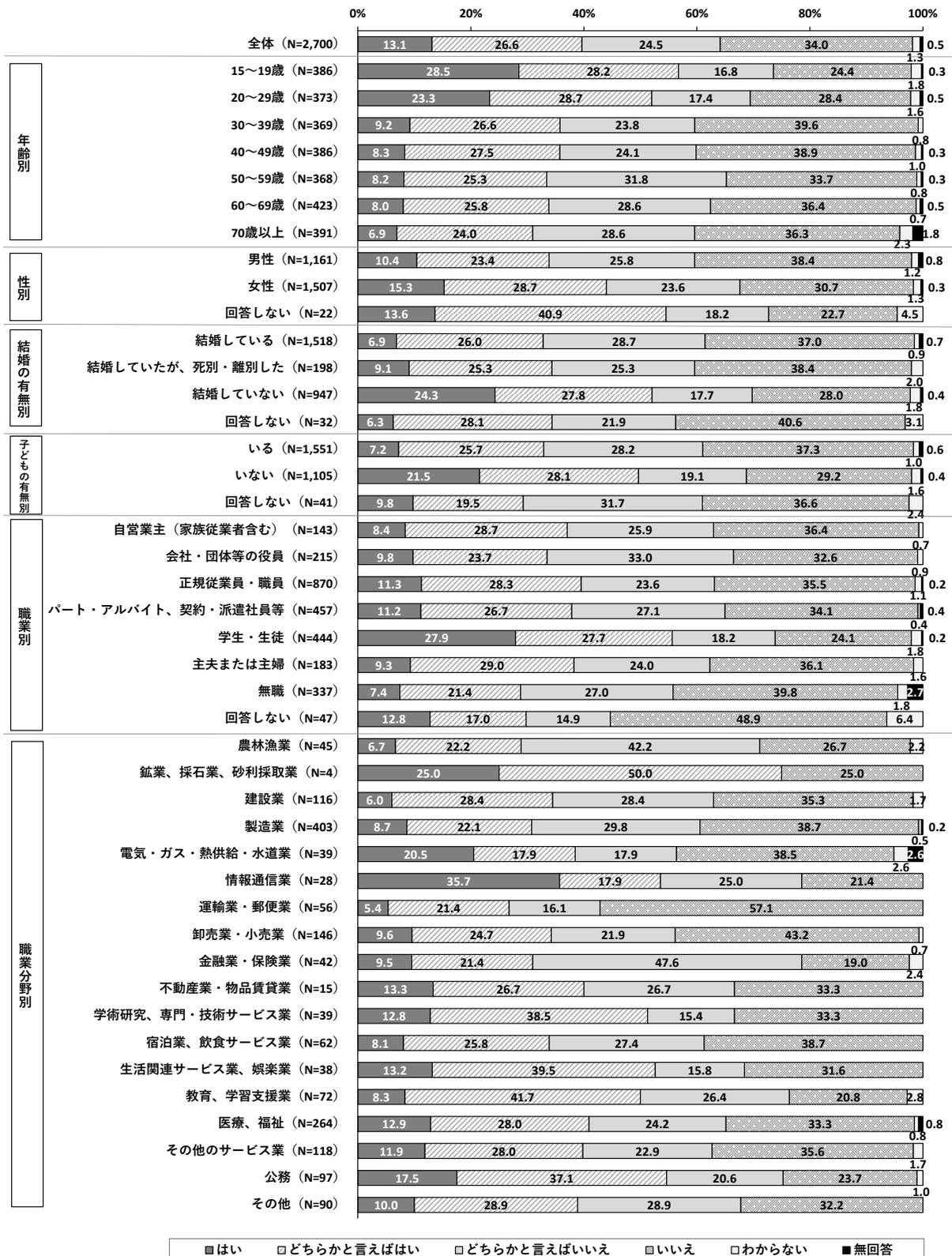
（5）－1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が55.6%と、他の職業と比べて高く、一方、「無職」では28.8%と、他の職業と比べて低くなっている。

（5）－2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が5割以上となっている。一方、「農林漁業」「運輸業・郵便業」では『はい』が2割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-3 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）鑑賞を積極的に行っていますか。



問 14-④ 芸術・文化に関する活動（創作、演奏、出演、習い事、体験等）を積極的に行っていますか。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 20.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 77.6%と、『いいえ』の方が 56.9 ポイント高い。

（2）年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 37.6%を占めているが、他の年代で低く、30 歳代以上では 1 割台となっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 10.6 ポイント高い。

（4）－1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 28.5%と、他と比較して高い。

（4）－2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 27.2%と、「いる」よりも 10.9 ポイント高い。

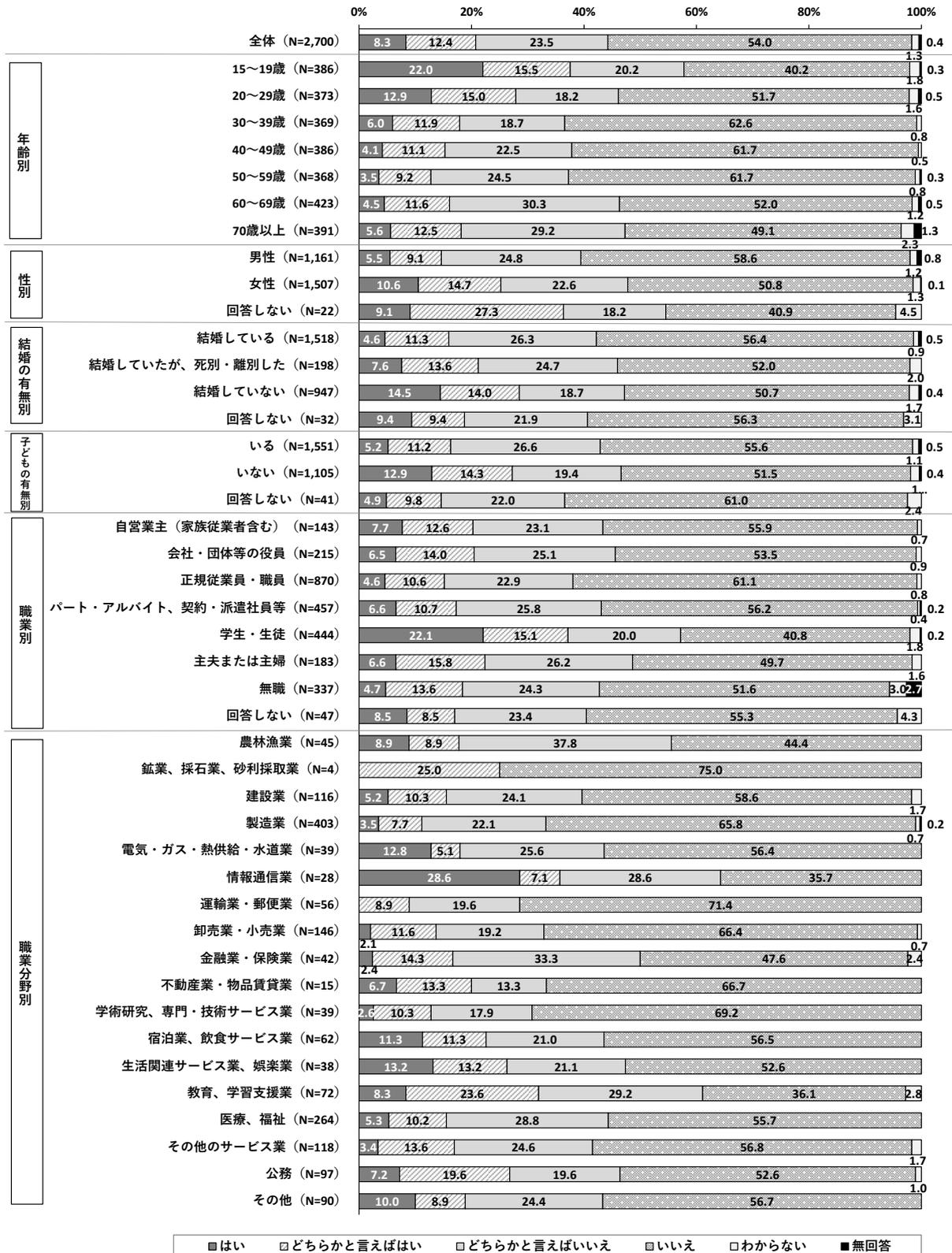
（5）－1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 37.2%と、他の職業と比べて高い。

（5）－2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 31.9%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「運輸業・郵便業」では『はい』が 8.9%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-4 芸術・文化に関する活動（創作、演奏、出演、習い事、体験等）を積極的に行っていますか。



問 14-⑤ スポーツや芸術・文化等の分野で、特に応援や支持している対象、人に薦めたいほど好感を持っている対象はありますか。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 38.3%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 56.0%と、『いいえ』の方が 17.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

20 歳代以下で『はい』が 4 割を超えており、「15～19 歳」では 58.5%と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

男女間であまり差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 50.3%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 49.0%と、「いる」よりも 18.1 ポイント高い。

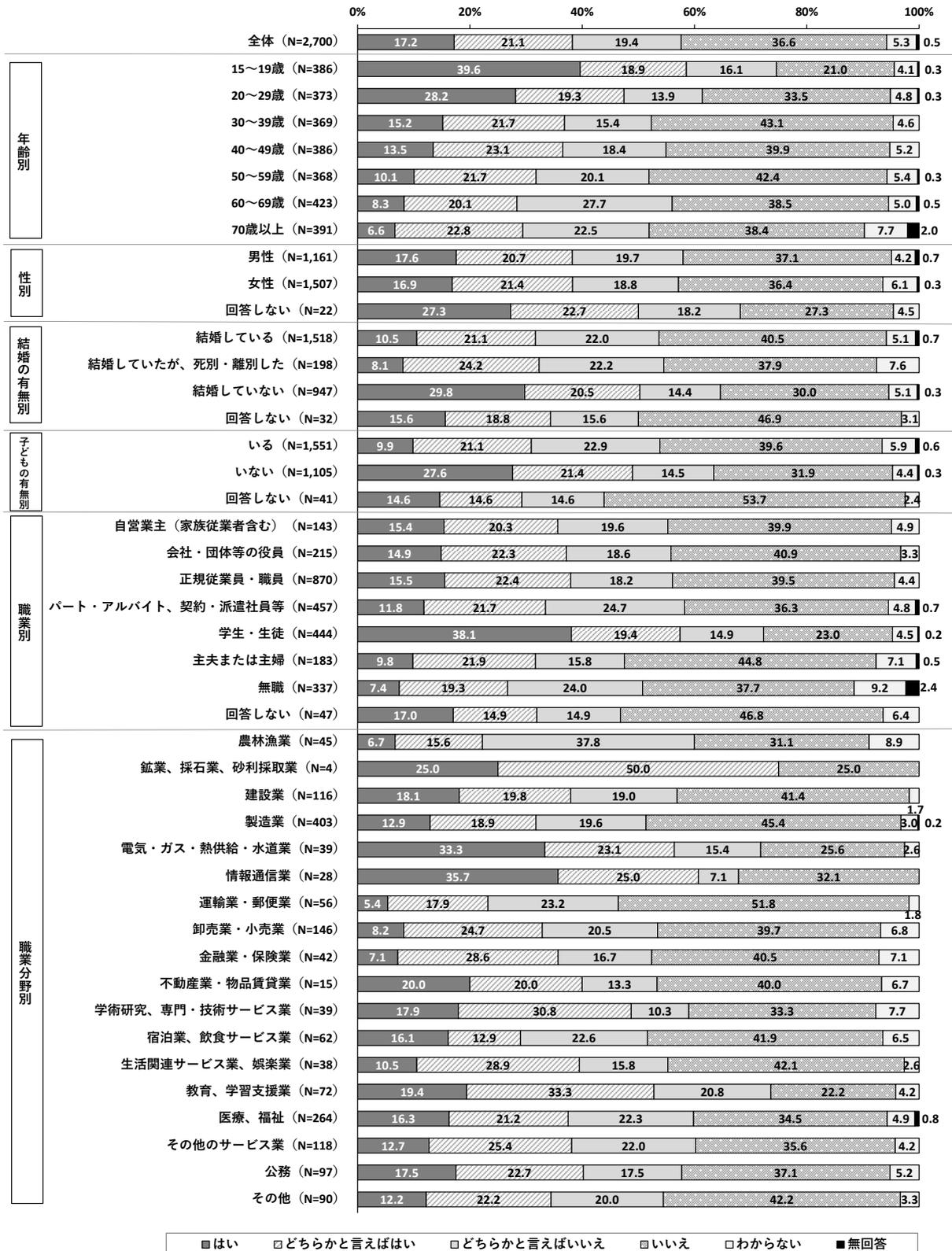
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 57.4%と、他の職業と比べて高く、一方、「無職」では 26.7%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「教育、学習支援業」では『はい』が 5 割を超えている。一方、「農林漁業」「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 2 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-5 スポーツや芸術・文化等の分野で、特に応援や支持している対象、人に薦めたいほど好感を持っている対象はありますか。



問 14-⑥ あなたは、日常生活の中で、意識的に取り組む運動やスポーツをどの程度行っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

(1) 全体

「全くしない」が31.4%と最も高く、次いで「週2～3日」が15.8%、「年に数日程度」が14.3%となっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」では「週4日以上」が35.5%と最も高く、他の年代では「全くしない」が最も高くなっている。

(3) 性別

男女ともに「全くしない」が最も高いが、「男性」では25.7%と、「女性」よりも9.9ポイント低くなっている。

(4) - 1 結婚の有無別

すべてで「全くしない」が最も高いが、「結婚していない」では25.0%と、他よりも低くなっている。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」「いない」とともに「全くしない」が最も高いが、「いない」では25.2%と、「いる」よりも10.3ポイント低い。

(5) - 1 職業別

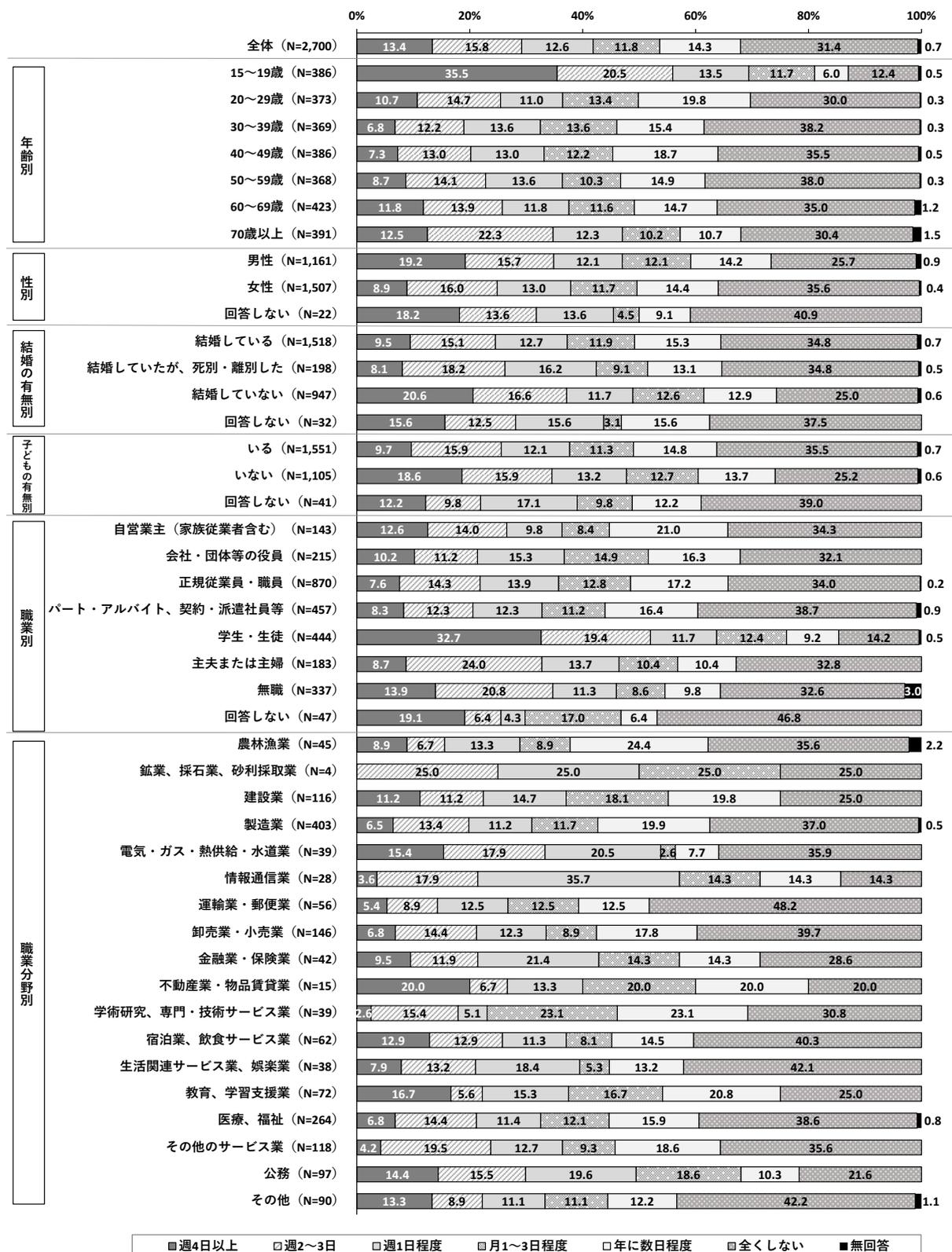
「学生・生徒」では「週4日以上」が32.7%と最も高く、他の職業では「全くしない」が最も高くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「その他」では「全くしない」が4割を超えている。

図表 14-6

あなたは、日常生活の中で、意識的に取り組む運動やスポーツをどの程度行っていますか。

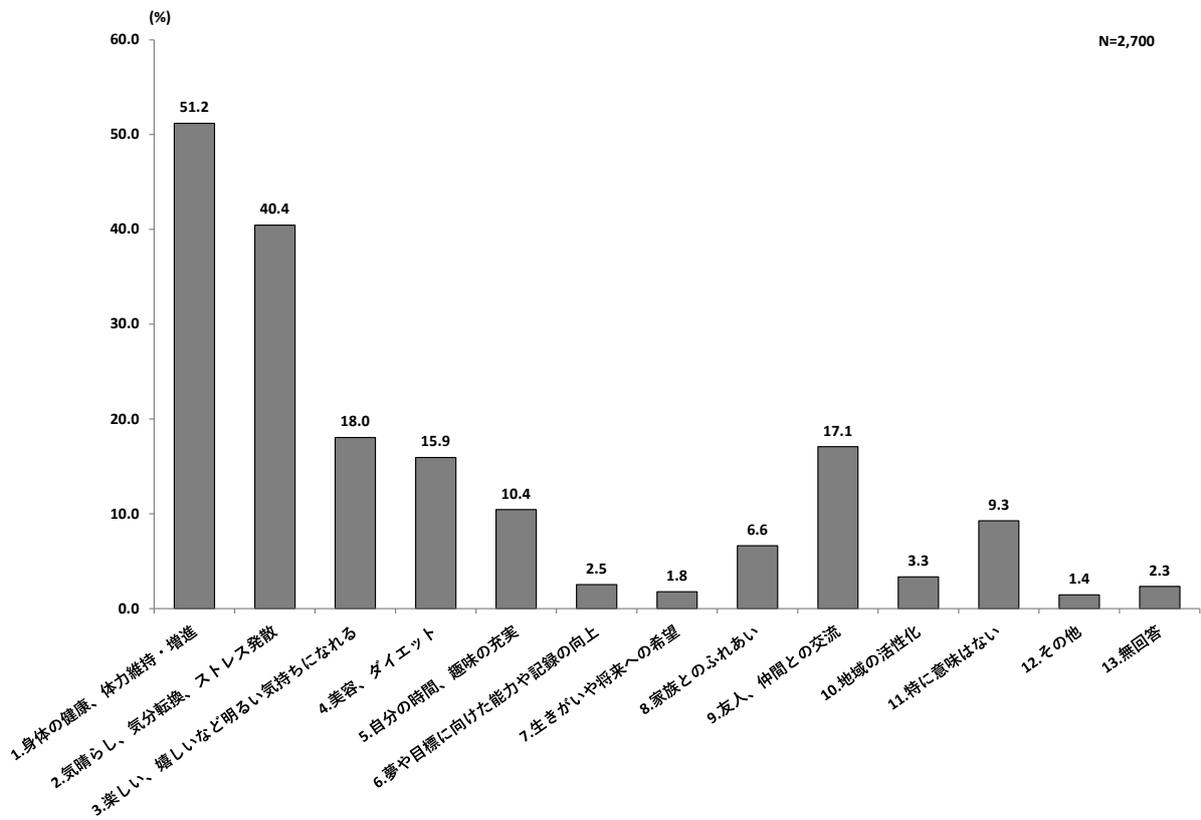


問 14-⑦ あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどのような意味がありますか。次の中から2つまで選んでください。

(1) 全体

「身体の健康、体力維持・増進」が51.2%と最も高く、次いで「気晴らし、気分転換、ストレス発散」が40.4%、「楽しい、嬉しいなど明るい気持ちになれる」が18.0%となっている。

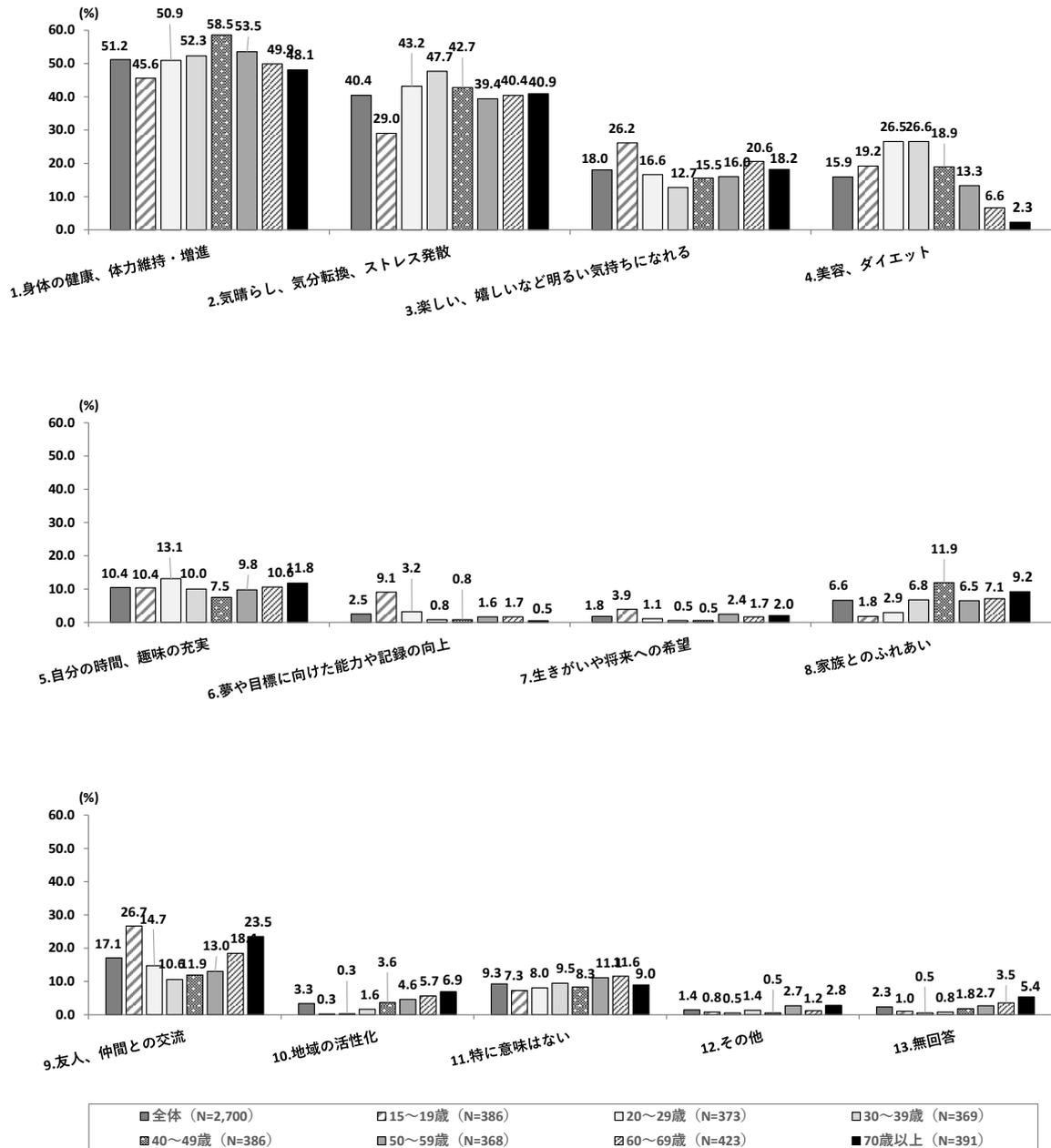
図表 14-7-1 あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどのような意味がありますか。（全体）



(2) 年齢別

すべての年代で「身体の健康、体力維持・増進」が最も高く、次いで「気晴らし、気分転換、ストレス発散」となっている。「15～19歳」と「70歳以上」では「友人、仲間との交流」が、「20～39歳」では「美容、ダイエット」が他の年代よりも高くなっている。

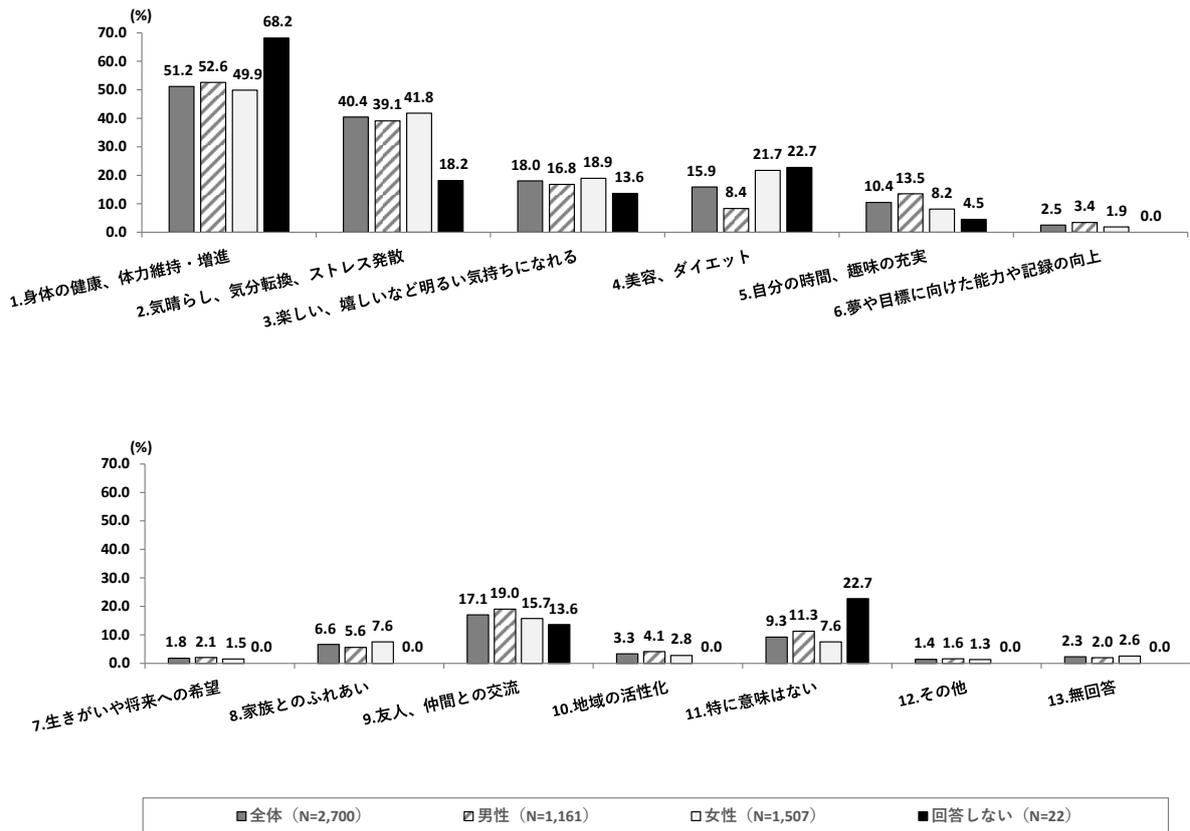
図表 14-7-2 あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどのような意味がありますか。（年齢別）



(3) 性別

男女ともに「身体の健康、体力維持・増進」が最も高く、次いで「気晴らし、気分転換、ストレス発散」が高くなっている。「女性」では「美容、ダイエット」が「男性」よりも13.3ポイント高い。

図表 14-7-3 あなたにとって、運動やスポーツ（観戦や応援、大会等の運営への協力を含む）を行うことにどのような意味がありますか。（性別）

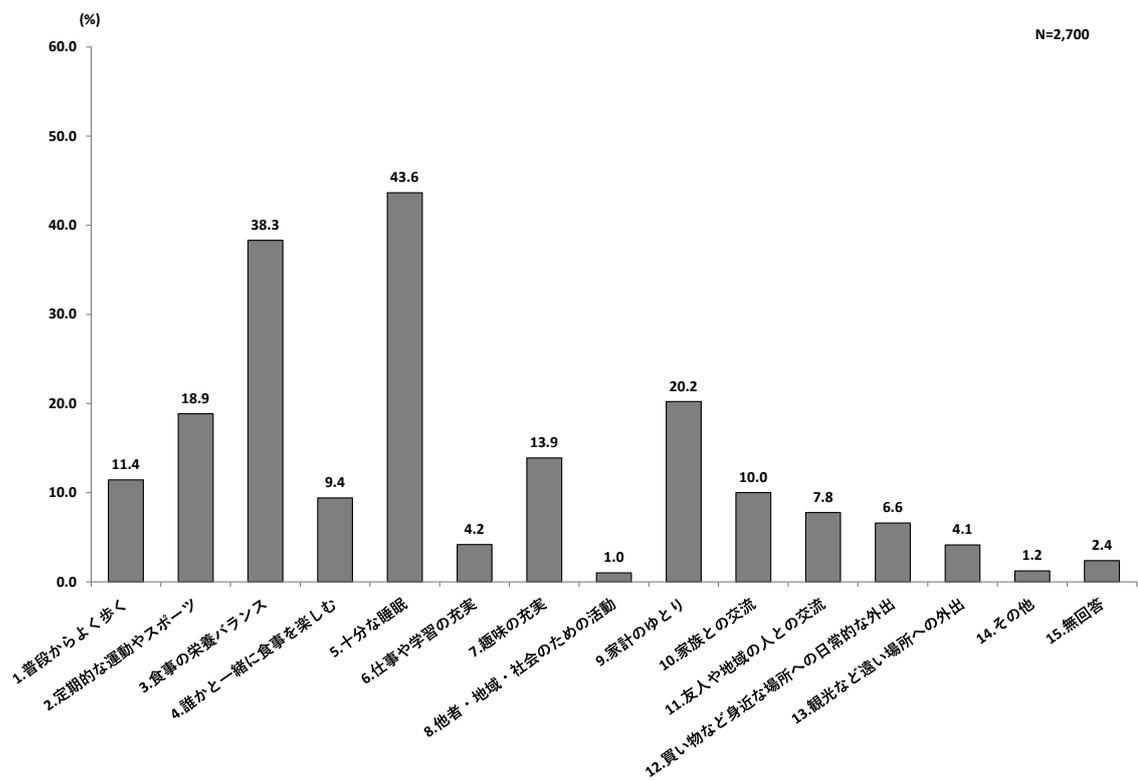


問 14-⑧ あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うことを次の中から2つまで選んでください。

(1) 全体

「十分な睡眠」が43.6%と最も高く、次いで「食事の栄養バランス」が38.3%、「家計のゆとり」が20.2%となっている。

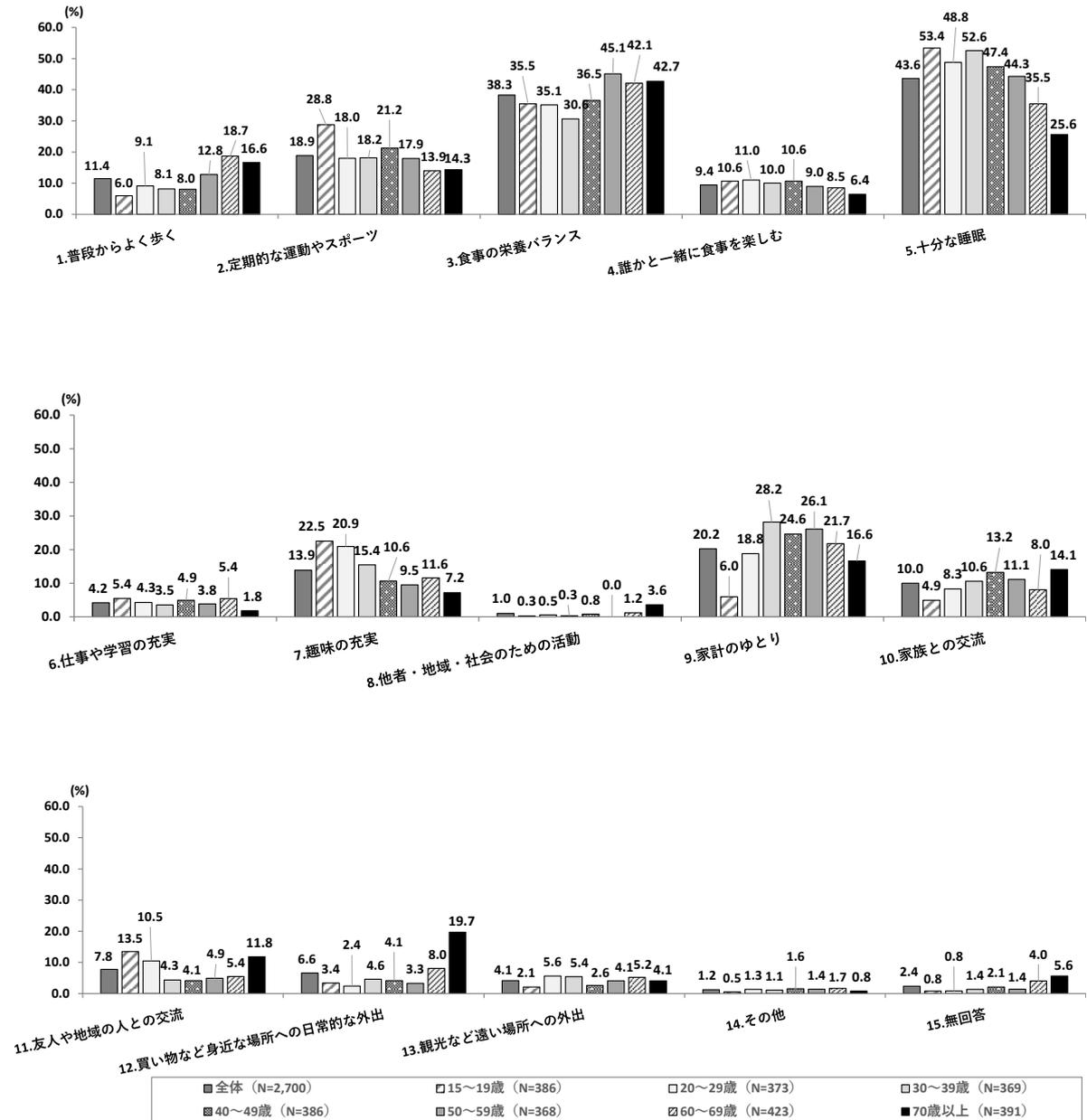
図表 14-8-1 あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うこと。(全体)



(2) 年齢別

40歳代以下では「十分な睡眠」が最も高く、50歳代以上では「食事の栄養バランス」が最も高くなっている。

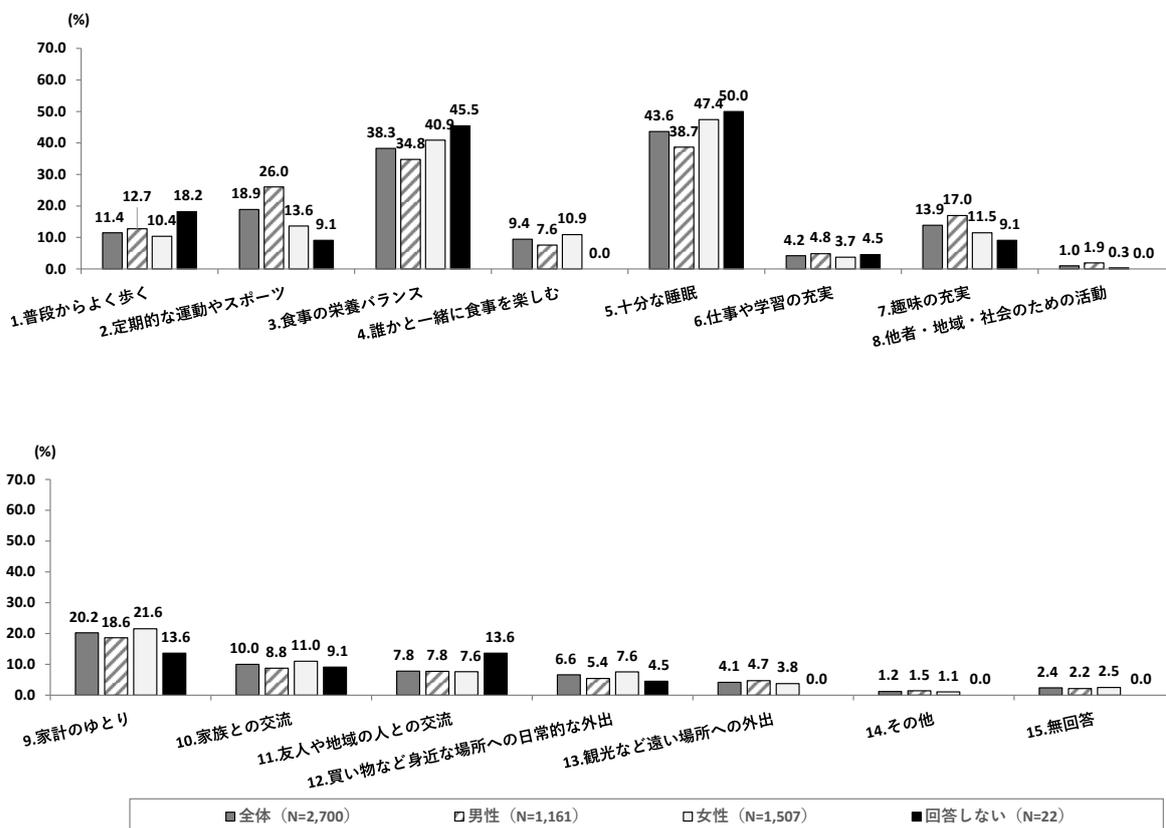
図表 14-8-2 あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うこと。(年齢別)



(3) 性別

男女ともに「十分な睡眠」が最も高く、次いで「食事の栄養バランス」となっている。「男性」では「定期的な運動やスポーツ」が「女性」よりも12.4%ポイント高い。

図表 14-8-3 あなたが心身ともに健康であり続けるために、特に大切だと思うこと。(性別)



問 14-⑨ 芸術・文化鑑賞のうち、コンサート（※）、美術館・博物館等の展覧会、舞台公演等の鑑賞は、あなたの余暇活動の充実のために大切なことだと思いますか。

※この設問ではポピュラー音楽や歌謡曲を除く、クラシック音楽、邦楽、声楽などを指します。

(1) 全体

『思う』（「とても思う」＋「やや思う」）が 57.5%で、一方、『思わない』（「あまり思わない」＋「全く思わない」）は 20.6%となっている。

(2) 年齢別

すべての年代で『思う』が5割を超えており、「15～19歳」と「60～69歳」では6割を超えている。

(3) 性別

『思う』は「男性」よりも「女性」の方が 16.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『思う』が 59.7%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『思う』が 59.3%と、「いる」よりも 2.9 ポイント高い。

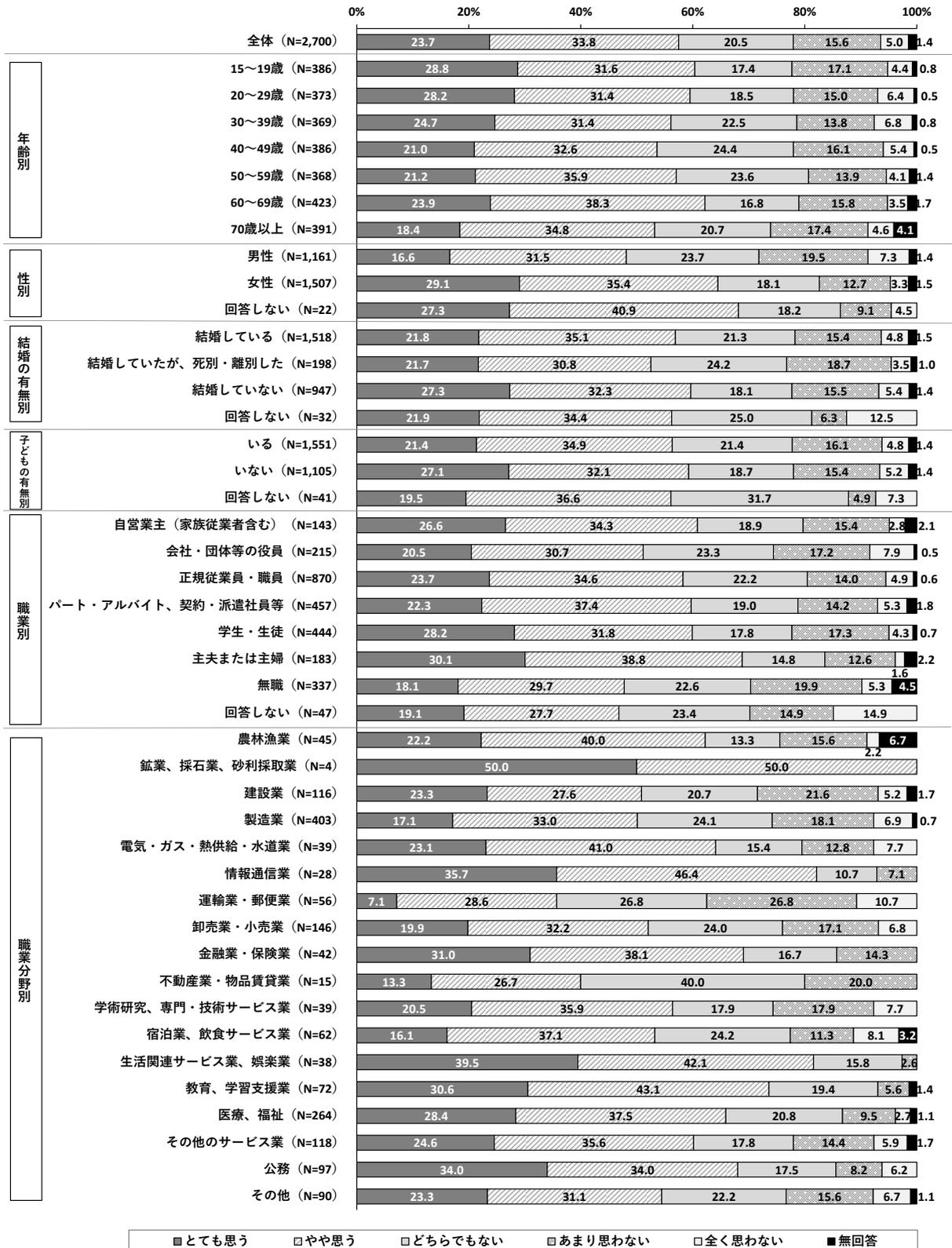
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『思う』が 68.9%と、他の職業と比べて高い。一方、「無職」は 47.8%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「生活関連サービス業、娯楽業」では『思う』が 81.6%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「運輸業・郵便業」では『思う』が 35.7%と、他の職業分野と比較して低い。

図表 14-9 芸術・文化鑑賞のうち、コンサート、美術館・博物館等の展覧会、舞台公演等の鑑賞は、あなたの余暇活動の充実のために大切なことだと思いますか。



問 15. 食について

① あなたは、普段、家族や友人等と一緒に食事をとることは週にどの程度ありますか。

(1) 全体

「毎日」が 67.7%と最も高く、次いで「週 5～6 日」が 9.6%となっている。

(2) 年齢別

すべての年代で「毎日」が最も高い。「15～19 歳」では 75.6%と他の年代よりも高く、「20～29 歳」では 54.2%と他の年代よりも低い。

(3) 性別

男女ともに「毎日」が最も高く、「女性」では 72.6%を占め、「男性」(61.8%)よりも 10.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

すべての属性で「毎日」が最も高く、「結婚している」では 75.9%と他の属性よりも高い割合を占めている。一方、「結婚していたが、死別・離別した」では 43.4%と、他の属性よりも低い。

(4) - 2 子どもの有無別

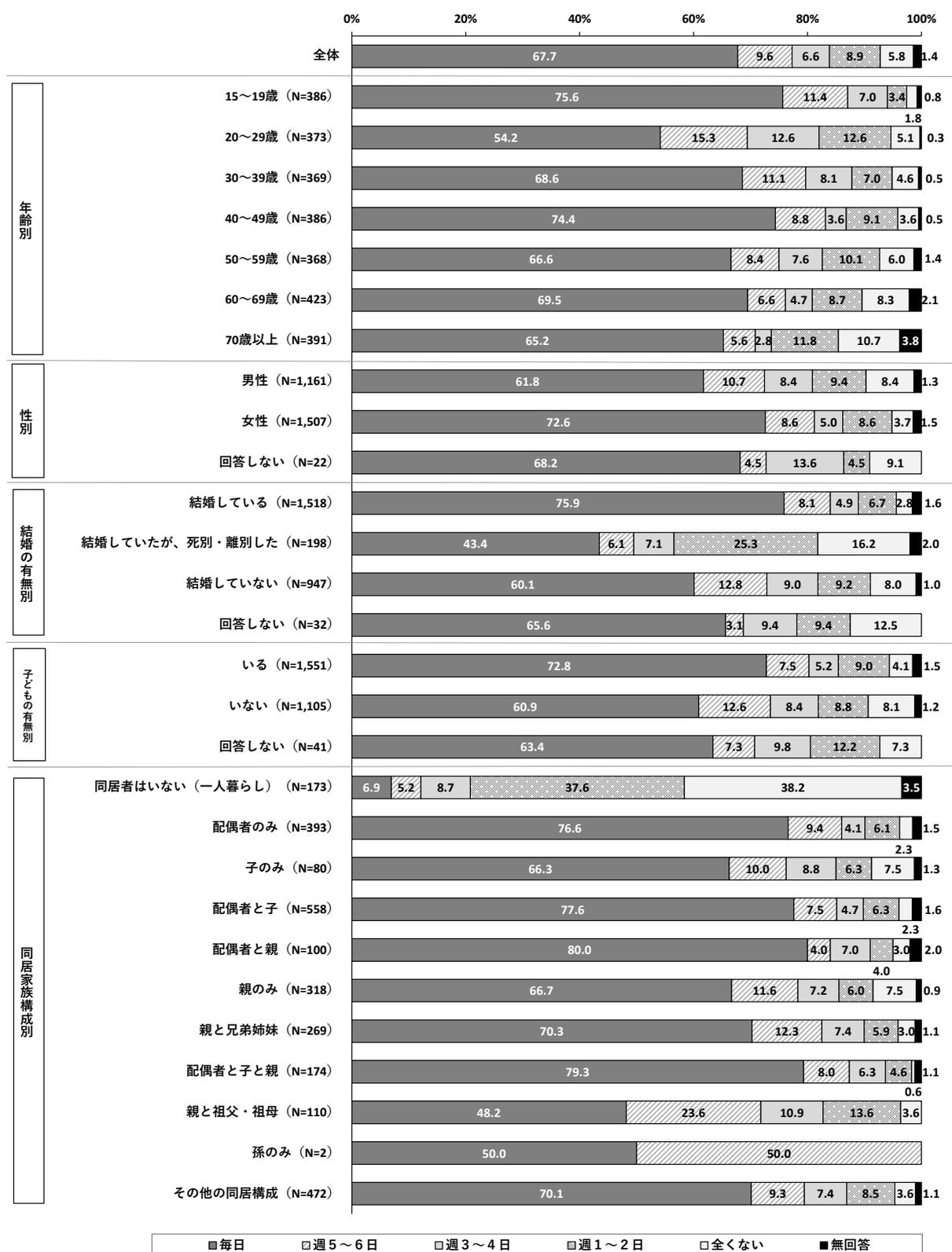
子どもの有無に関わらず「毎日」が最も高いが、「いる」では 72.8%を占め、「いない」(60.9%)よりも 11.9 ポイント高い。

(4) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない(一人暮らし)」を除くすべてで「毎日」が最も高いが、「親と祖父・祖母」では 48.2%と、他比較して低い。

図表 15-1

あなたは、普段、家族や友人等と一緒に食事をとることは週にどの程度ありますか。



■毎日 □週5~6日 □週3~4日 □週1~2日 □全くない ■無回答

問 15-② あなたは、普段、家で料理をすることは週にどの程度ありますか。

※この設問では、「料理」は、野菜や肉などの材料からご自身で作ることを指します。

(お店で買った総菜等を温め直すことは含みません。)

(1) 全体

「全くない」が32.7%と最も高く、次いで「毎日」が28.7%となっている。

(2) 年齢別

30歳代以下では「全くない」が最も高く、「15～19歳」では63.0%を占めている。40歳代以上では「毎日」が最も高くなっている。

(3) 性別

「男性」では「全くない」が54.2%と最も高く、女性では「毎日」が45.1%と最も高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」と「結婚していたが、死別・離別した」では「毎日」が最も高く、「結婚していない」では「全くない」が51.2%と最も高くなっている。

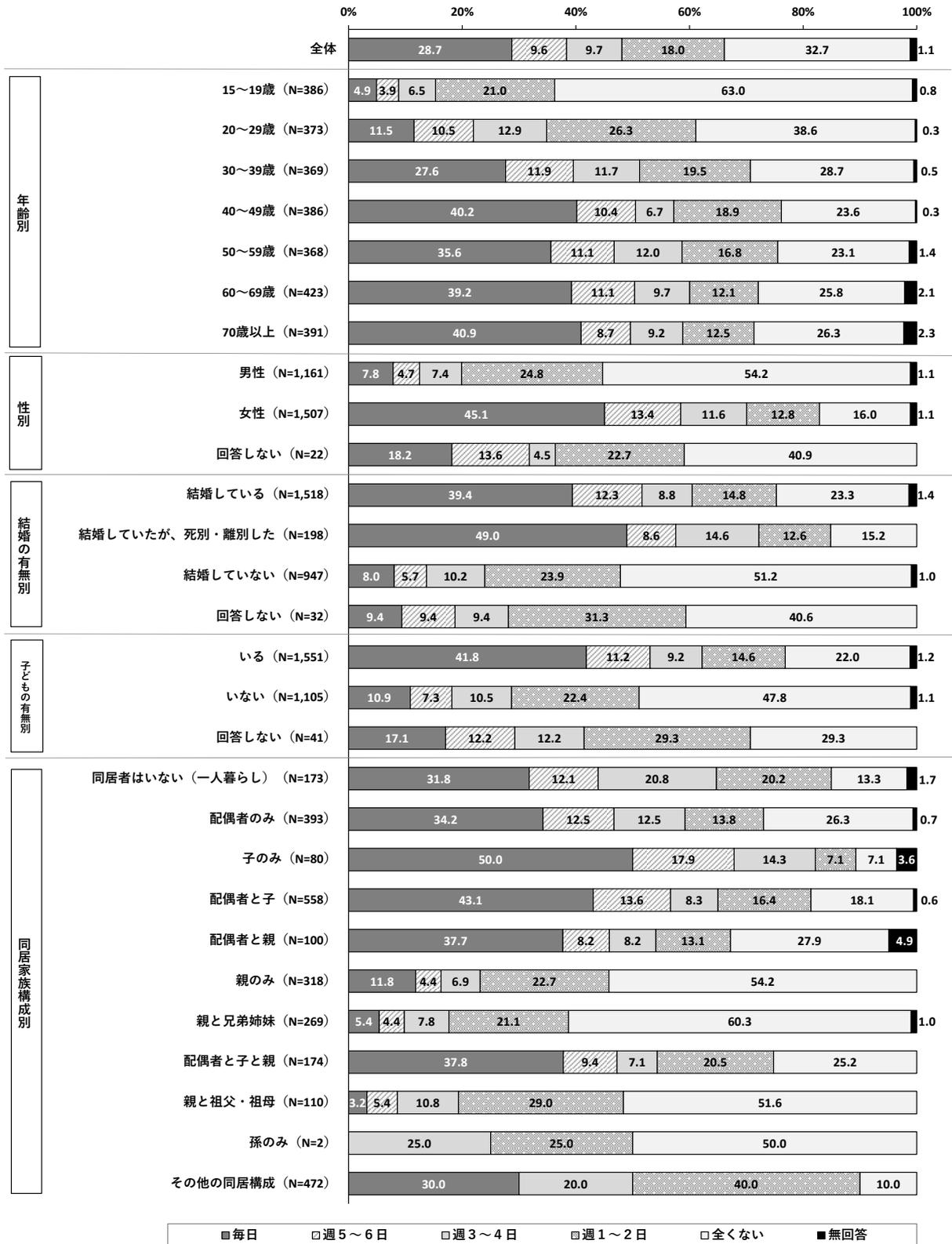
(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では「毎日」が41.8%と最も高く、「いない」では「全くない」が47.8%と最も高くなっている。

(4) - 3 同居家族の構成別

「同居者はいない(一人暮らし)」「配偶者のみ」「子のみ」「配偶者と子」「配偶者と親」「配偶者と子と親」では「毎日」が最も高い。一方、「親のみ」「親と兄弟姉妹」「親と祖父・祖母」では「全くない」が最も高い。

図表 15-2 あなたは、普段、家で料理をすることは週にどの程度ありますか。



問 16 地域とのつながり、交流について

① 家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と交流する機会がありますか。

(1) 全体

家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と交流する機会が『ある』(「とてもある」+「たまにある」)が44.7%で、一方、『ない』(「あまりない」+「全くない」)は52.0%となっている。

(2) 年齢別

「20～29歳」を除くすべての年代で『ある』が4割を超えている。「20～29歳」では39.9%と他の年代よりも若干低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『ある』が39.5%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『ある』が48.5%と、「いない」(40.0%)よりも8.5ポイント高い。

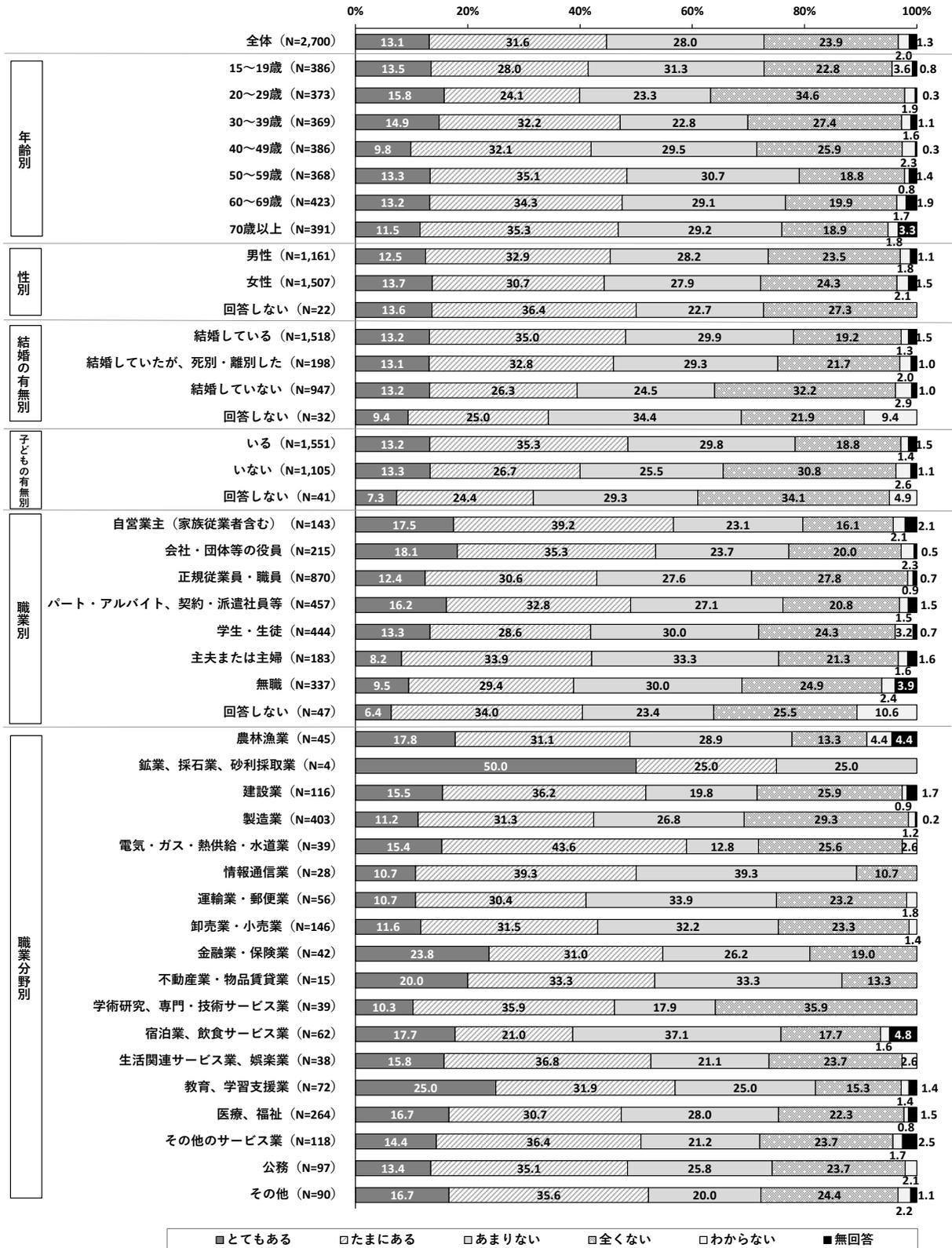
(5) - 1 職業別

「自営業主(家族従業者含む)」と「会社・団体等の役員」では『ある』が5割を超え、他の職業と比べて高い。一方、「無職」は38.9%と、他の職業と比べて若干低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「宿泊業、飲食サービス業」を除くすべての職業分野で『ある』が4割を超えている。「宿泊業、飲食サービス業」では『ある』が38.7%と、他の職業分野と比較して低い。

図表 16-1 家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と交流する機会がありますか。



問 16-②

家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と積極的に交流したいと思いますか。

(1) 全体

家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と積極的に交流したいと『思う』(「とても思う」+「やや思う」)が38.3%で、一方、『思わない』(「あまり思わない」+「全く思わない」)は29.8%となっている。

(2) 年齢別

20歳代以下で『思う』が4割を超えているが、30歳代以上では3割台となっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、『思う』は「女性」の方が「男性」よりも2.3ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では「とても思う」が11.2%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもの有無では大きな差は見られない。

(5) - 1 職業別

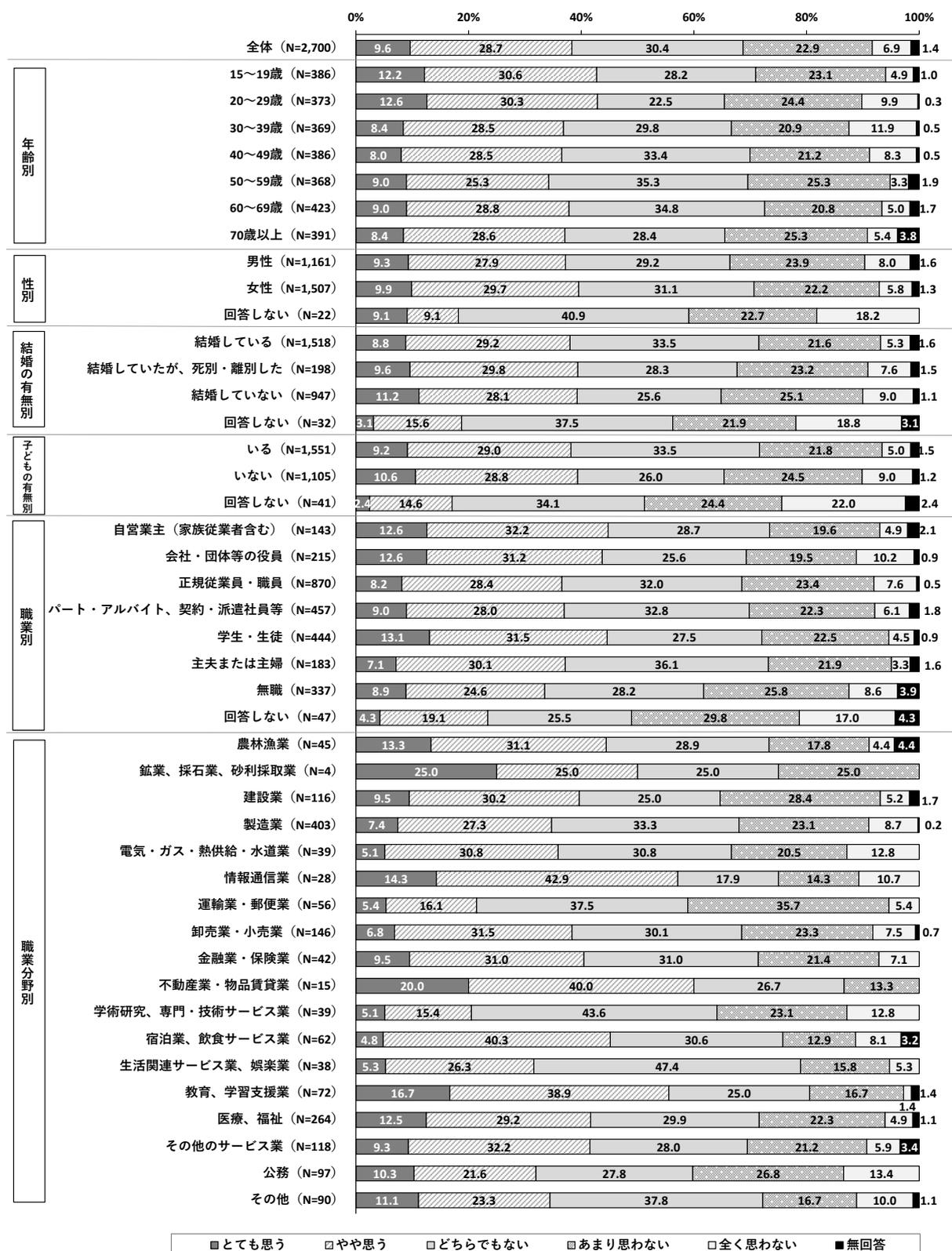
「自営業主(家族従業者含む)」「会社・団体等の役員」「学生・生徒」では『思う』が4割を超え、他の職業と比べて高い。一方、「無職」は33.5%と、他の職業と比べて若干低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『思う』が55.6%と、他の職業分野と比較して高くなっている。一方、「運輸業・郵便業」と「学術研究、専門・技術サービス業」では『思う』が2割台と、他の職業分野と比較して低い。

図表 16-2

家庭や職場・学校以外で自分と異なる世代の人と積極的に交流したいと思いますか。



問 16-③

あなたは、農山漁村地域（※）で暮らしてみたい又は活動してみたいと思いますか。

※この設問で「農山漁村地域」は周辺に農地や森林が広がり農林漁業が盛んな地域を指します。

（１）全体

農山漁村地域で暮らしてみたい又は活動してみたいと『思う』（「とても思う」＋「やや思う」）が 14.2%で、一方、『思わない』（「あまり思わない」＋「全く思わない」）は 55.3%と、『思わない』の方が 41.1 ポイント高くなっている。

（２）年齢別

「15～19 歳」では『思う』が 21.8%と、他の年代よりも若干高くなっている。一方、「70 歳以上」では『思う』が 8.7%と、他の年代よりも低い。

（３）性別

『思う』は「女性」よりも「男性」の方が 5.9 ポイント高い。

（４）－１ 結婚の有無別

「結婚していない」では『思う』が 17.8%と、他と比較して若干高い。

（４）－２ 子どもの有無別

子どもが「いない」では『思う』が 18.3%と、「いる」（11.5%）よりも 6.8 ポイント高い。

（５）－１ 職業別

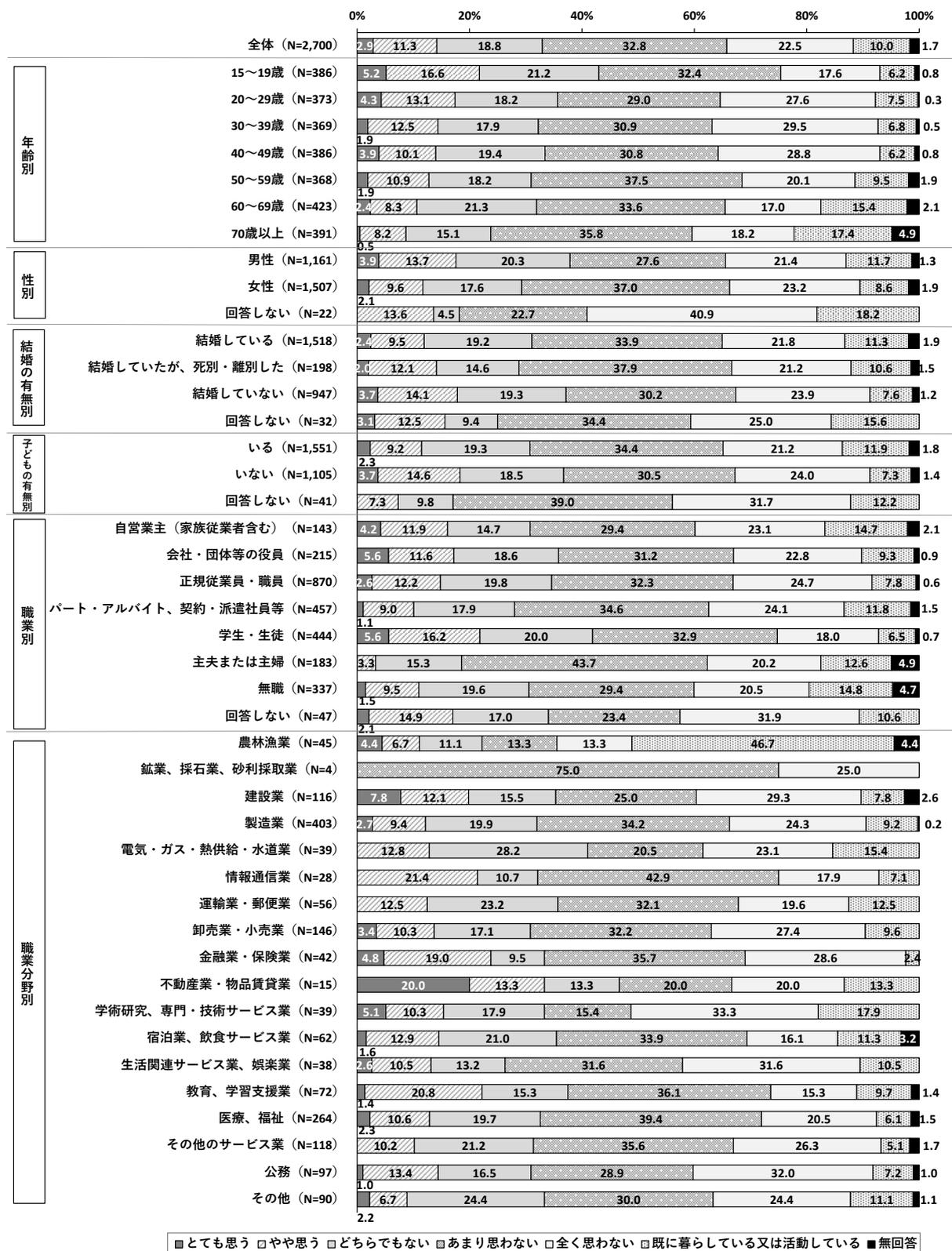
「学生・生徒」では『思う』が 21.8%と、他の職業と比べて若干高い。一方、「主夫または主婦」は 3.3%と、他の職業と比べて低い。

（５）－２ 職業分野別

「金融業・保険業」と「教育、学習支援業」では『思う』が 2 割台と、他の職業分野と比較して若干高い。

図表 16-3

あなたは、農山漁村地域で暮らしてみたい又は活動してみたいと思いますか。



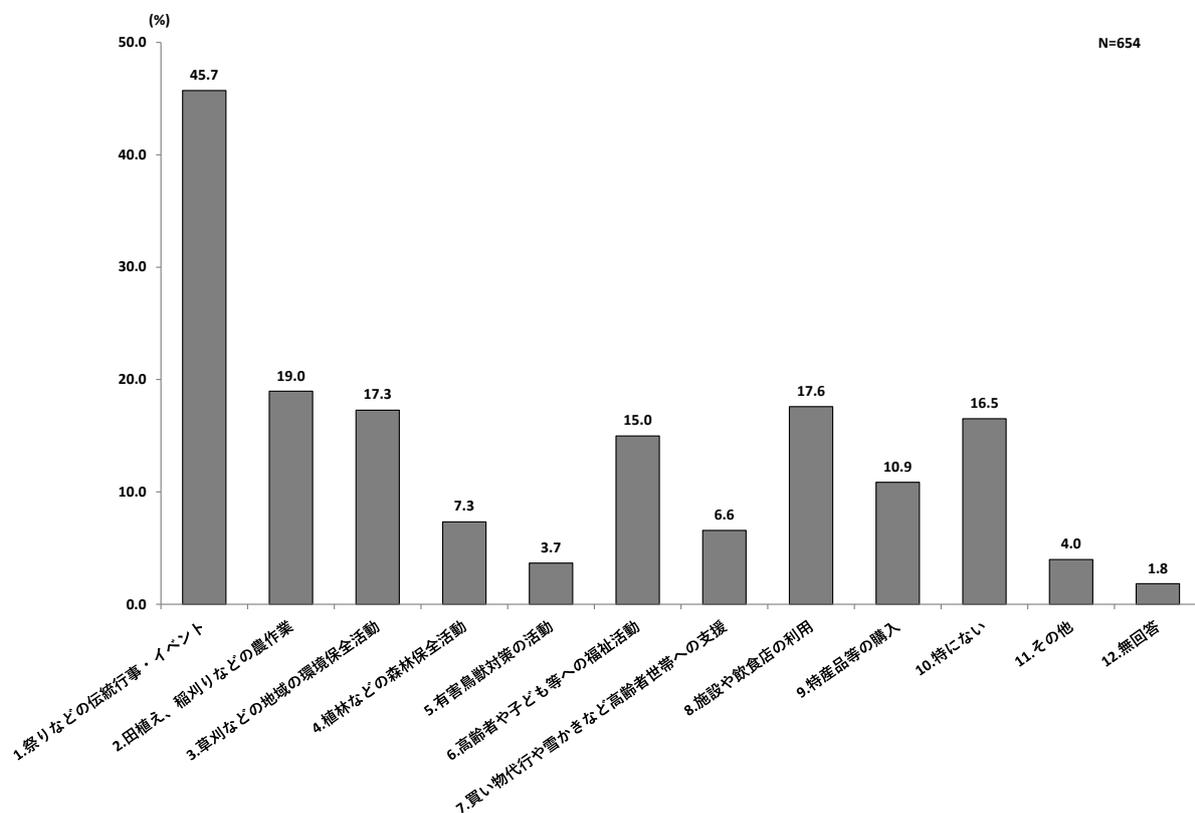
問 16-④ ③で1、2、6に○をつけられた方のみお答えください。

あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する（したい）活動はありますか。次の中から2つまで選んでください。

(1) 全体

「祭りなどの伝統行事・イベント」が45.7%と最も高く、次いで「田植え、稲刈りなどの農作業」(19.0%)、「施設や飲食店の利用」(17.6%)、「草刈などの地域の環境保全活動」(17.3%)の順となっている。

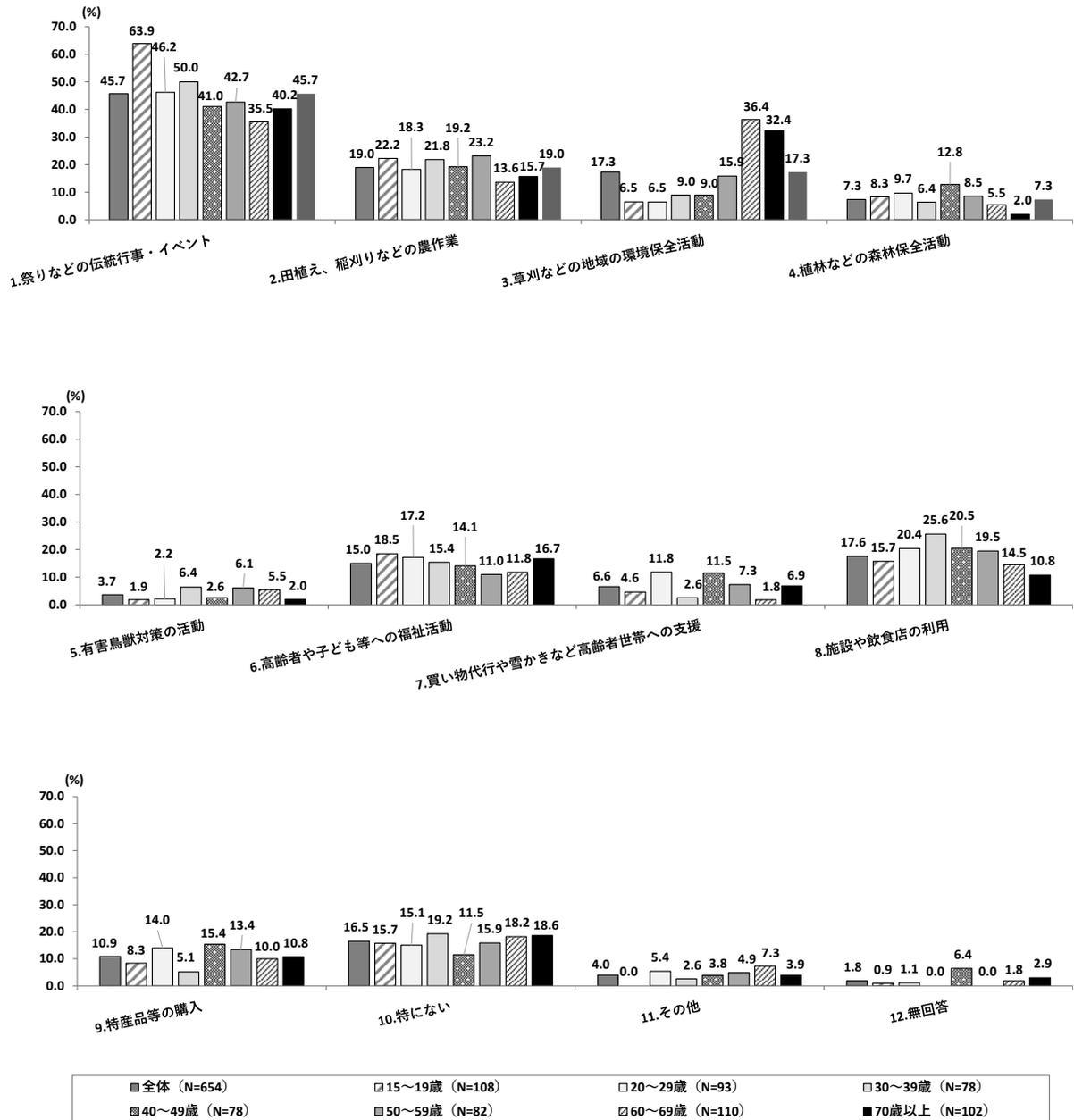
図表 16-4-1 あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する（したい）活動はありますか。(全体)



(2) 年齢別

「60～69歳」を除くすべての年代で「祭りなどの伝統行事・イベント」が最も高く、「60～69歳」では「草刈などの地域の環境保全活動」が36.4%と最も高くなっている。「15～19歳」では「祭りなどの伝統行事・イベント」が63.9%と、他の年代よりも高い。

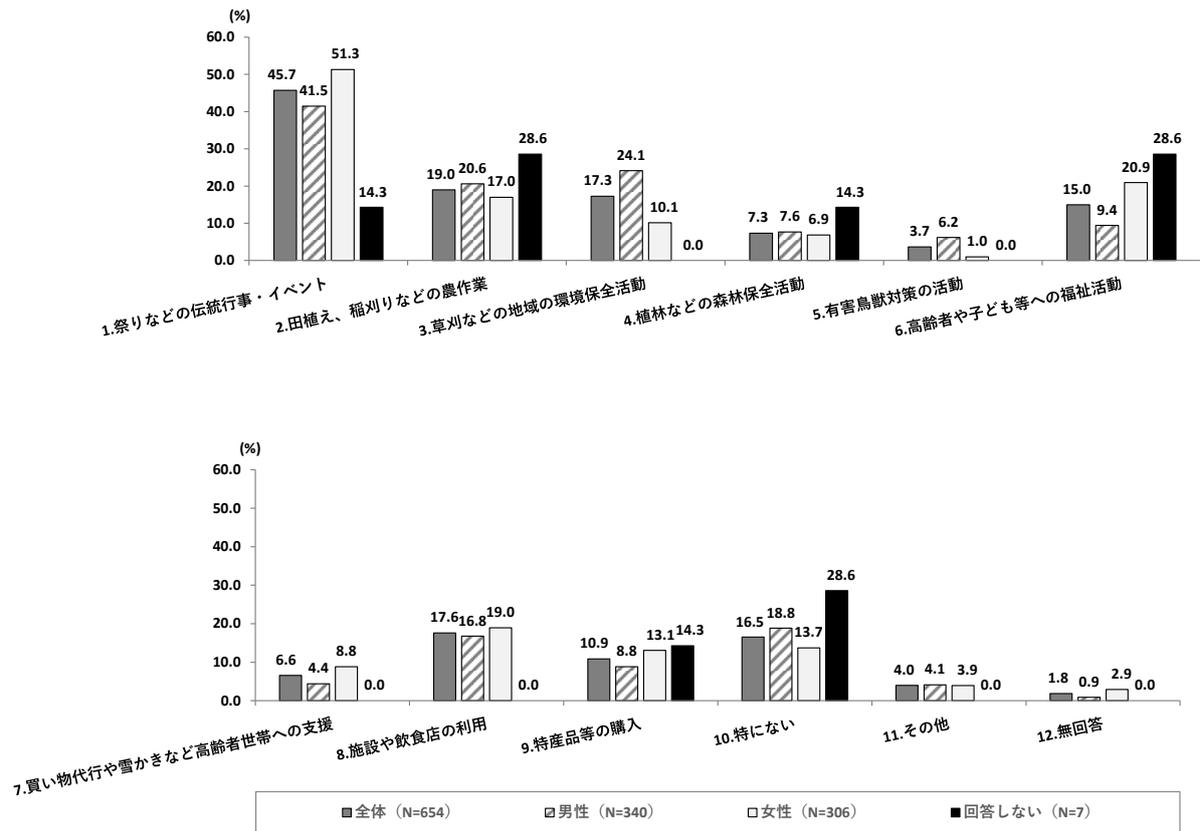
図表 16-4-2 あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する(したい)活動はありますか。(年齢別)



(3) 性別

男女ともに「祭りなどの伝統行事・イベント」が最も高く、次いで、「男性」では「草刈などの地域の環境保全活動」(24.1%)、「女性」では「高齢者や子ども等への福祉活動」(20.9%)となっている。

図表 16-4-3 あなたが農山漁村地域で、生きがいや地域・人との繋がりを実感する(したい)活動はありますか。(性別)



問 17 地域や住まいの安全・安心について

①あなたが生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所があると感じていますか。

(1) 全体

生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所があると『感じる』（「とても感じる」＋「やや感じる」）が46.1%で、一方、『感じない』（「あまり感じない」＋「全く感じない」）は31.0%と、『感じる』の方が15.1ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「30～39歳」と「40～49歳」では『感じる』が5割を超え、他の年代よりも若干高くなっている。一方、「15～19歳」では『感じる』が36.8%と、他の年代よりも低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られないが、「男性」では「とても感じる」が10.3%と「女性」よりも2.5ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『感じる』が49.2%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『感じる』が49.4%と、「いない」（41.4%）よりも8.0ポイント高い。

(5) - 1 職業別

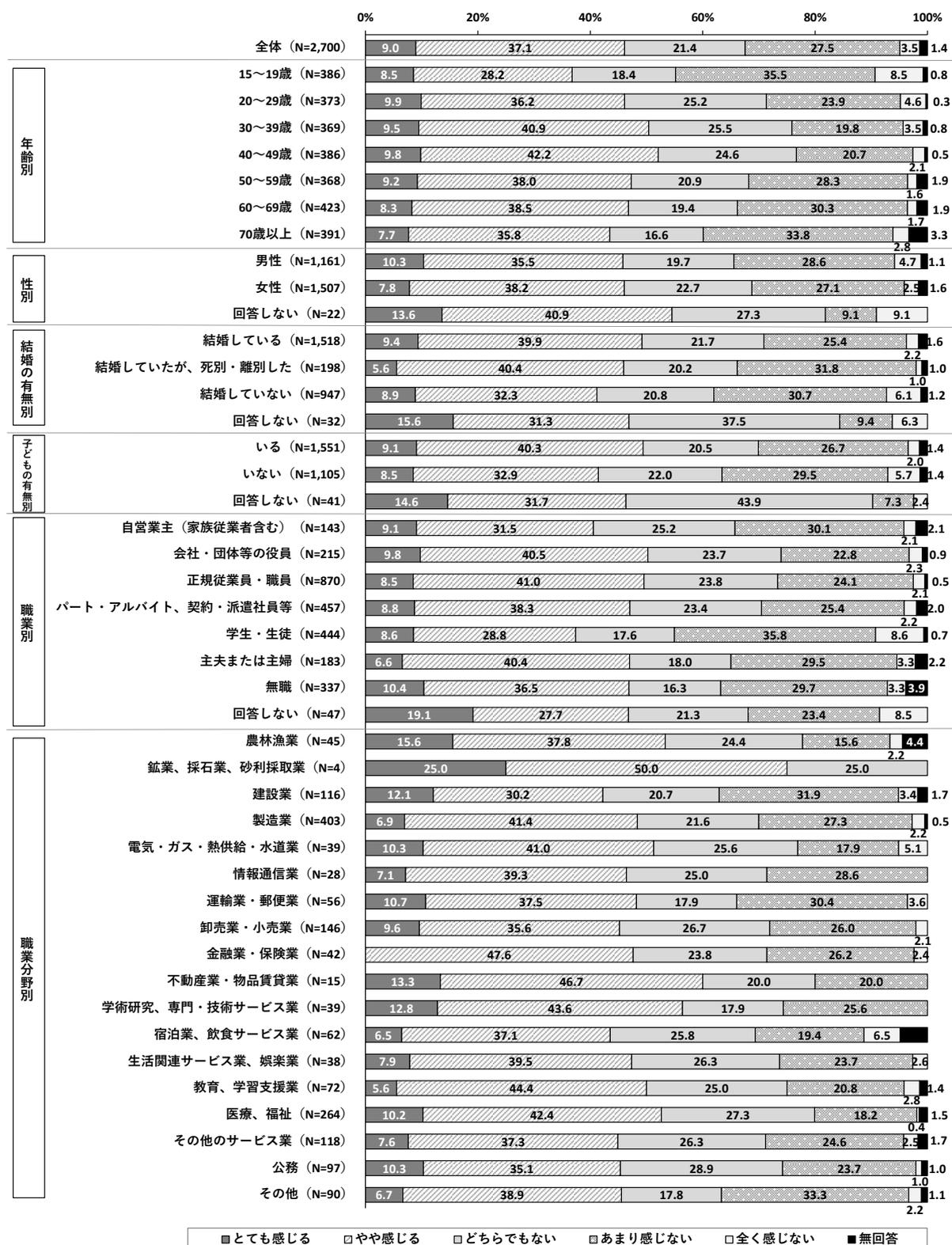
「会社・団体等の役員」では『感じる』が50.2%と、他の職業と比べて若干高い。一方、「学生・生徒」では37.4%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」では『感じる』が5割以上となっており、他の職業分野と比較して若干高い。

図表 17-1

あなたが生活する地域に、防犯や防災、事故防止上不安な箇所がありますか。



問 17-② あなた自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと思いますか。

(1) 全体

自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと『思う』(「とても思う」+「やや思う」)が35.4%で、一方、『思わない』(「あまり思わない」+「全く思わない」)は25.3%と、『思う』の方が10.1ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「15～19歳」と「70歳以上」では『思う』が4割を超え、他の年代よりも高い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『思う』が39.9%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『思う』が36.9%と、「いない」(33.7%)よりも3.2ポイント高い。

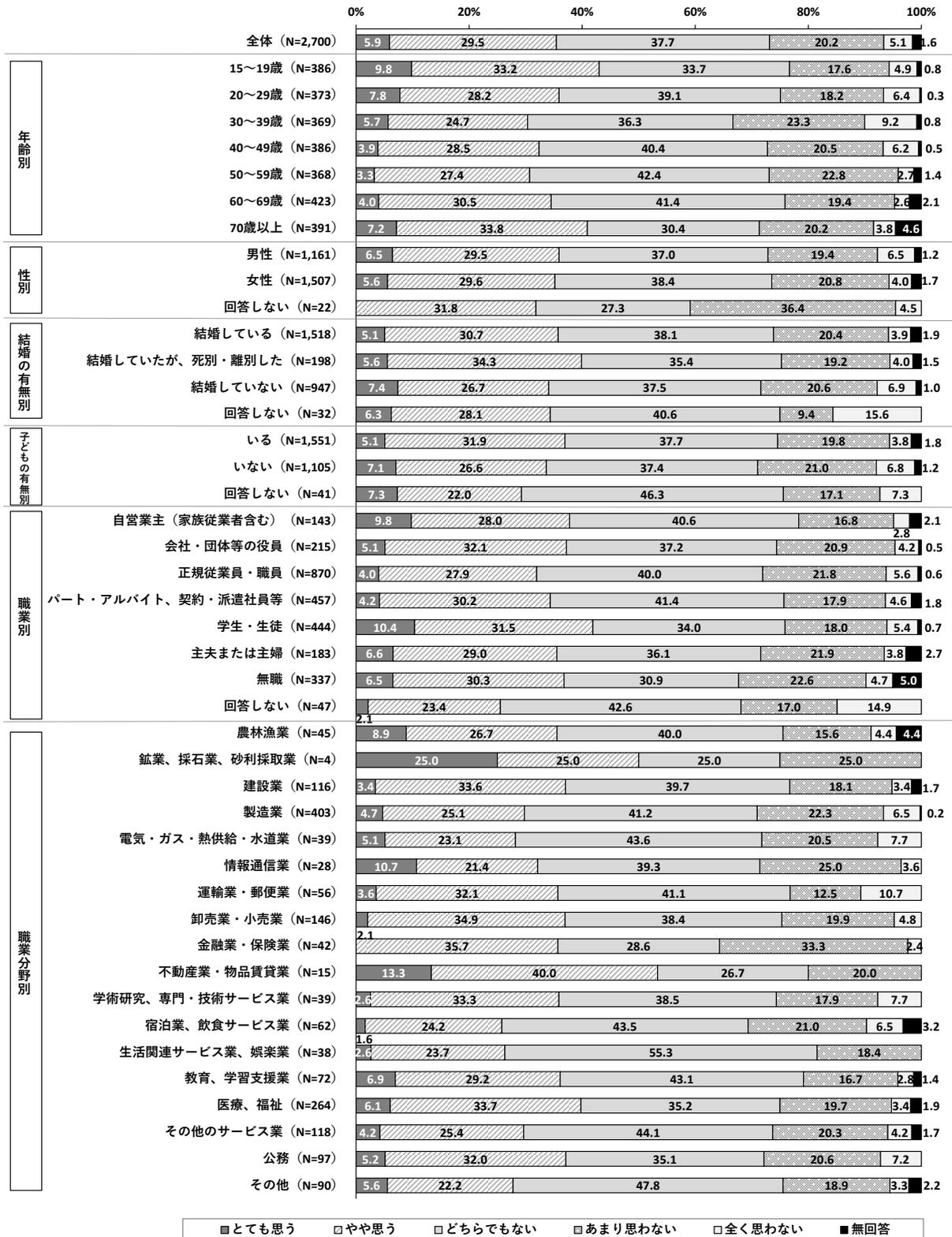
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『思う』が41.9%と、他の職業と比べて若干高い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」「建設業」「運輸業・郵便業」「卸売業・小売業」「金融業・保険業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「公務」では『思う』が3割を超えており、他の職業分野よりも若干高くなっている。

図表 17-2 あなた自身や周りの人の安全・安心の実感向上のため、地域での見守りや防犯・防災活動等の取組みを積極的に実施したいと思いますか。



問 17-③

あなたの安全・安心の実感向上に、地域での防犯カメラ設置は役立つと思いますか。

(1) 全体

安全・安心の実感向上に、地域での防犯カメラ設置は役立つと『思う』(「とても思う」+「やや思う」)が80.3%で、一方、『思わない』(「あまり思わない」+「全く思わない」)は8.0%となっている。

(2) 年齢別

すべての年代で『思う』が80%前後となっている。「50～59歳」では『思う』が83.7%と、他の年代よりも若干高い。

(3) 性別

『思う』では、「男性」(78.8%)よりも「女性」(81.6%)の方が2.8ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『思う』が82.7%と、他と比較して若干高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『思う』が82.9%と、「いない」(77.2%)よりも5.7ポイント高い。

(5) - 1 職業別

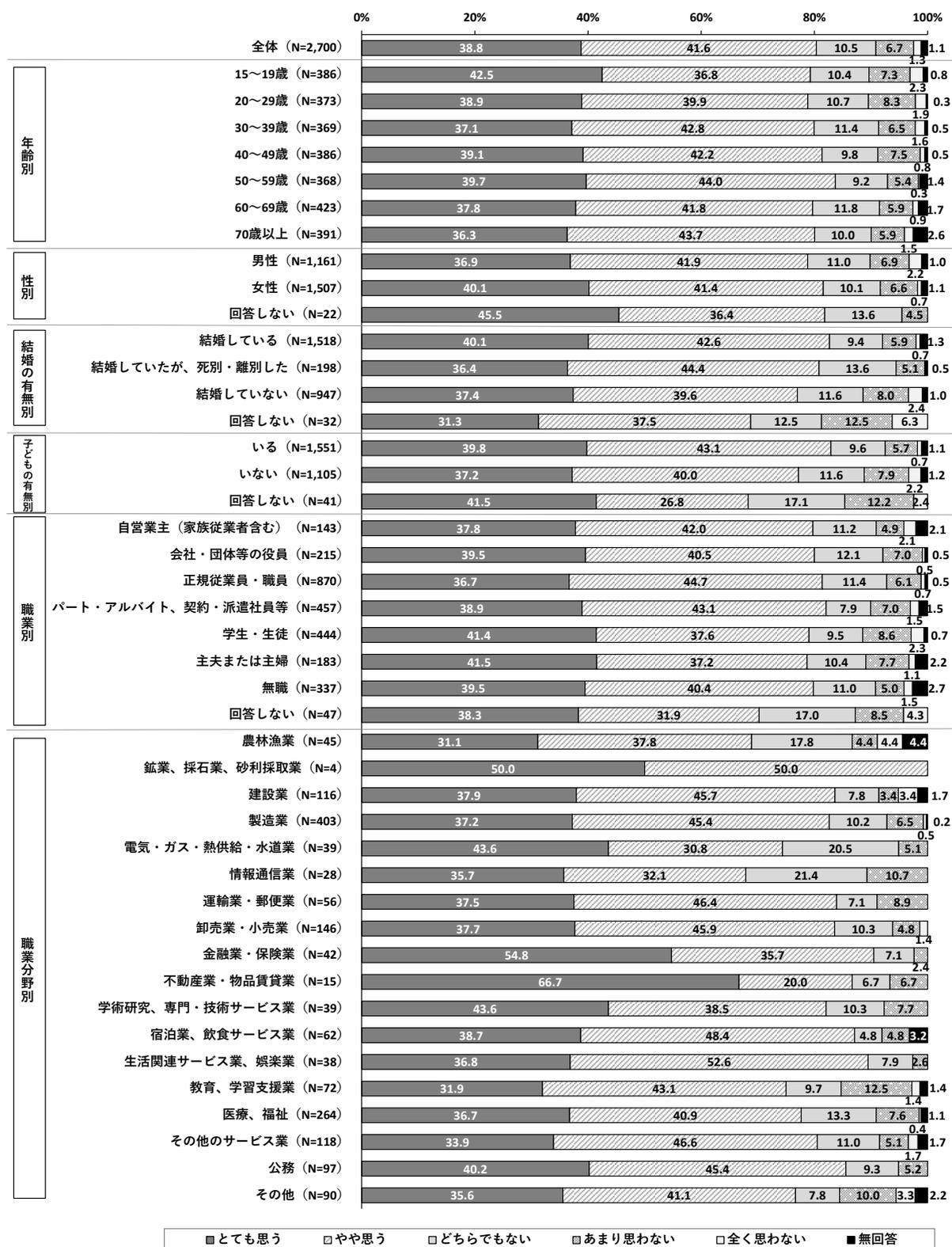
すべての職業で『思う』が80%前後となっている。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『思う』が90.5%と、他の職業分野よりも若干高くなっている。一方、「農林漁業」では『思う』が68.9%と、他の職業分野よりも低い。

図表 17-3

あなたの安全・安心の実感向上に、地域での防犯カメラ設置は役立つと思いますか。



とても思う
 やや思う
 どちらでもない
 あまり思わない
 全く思わない
 無回答

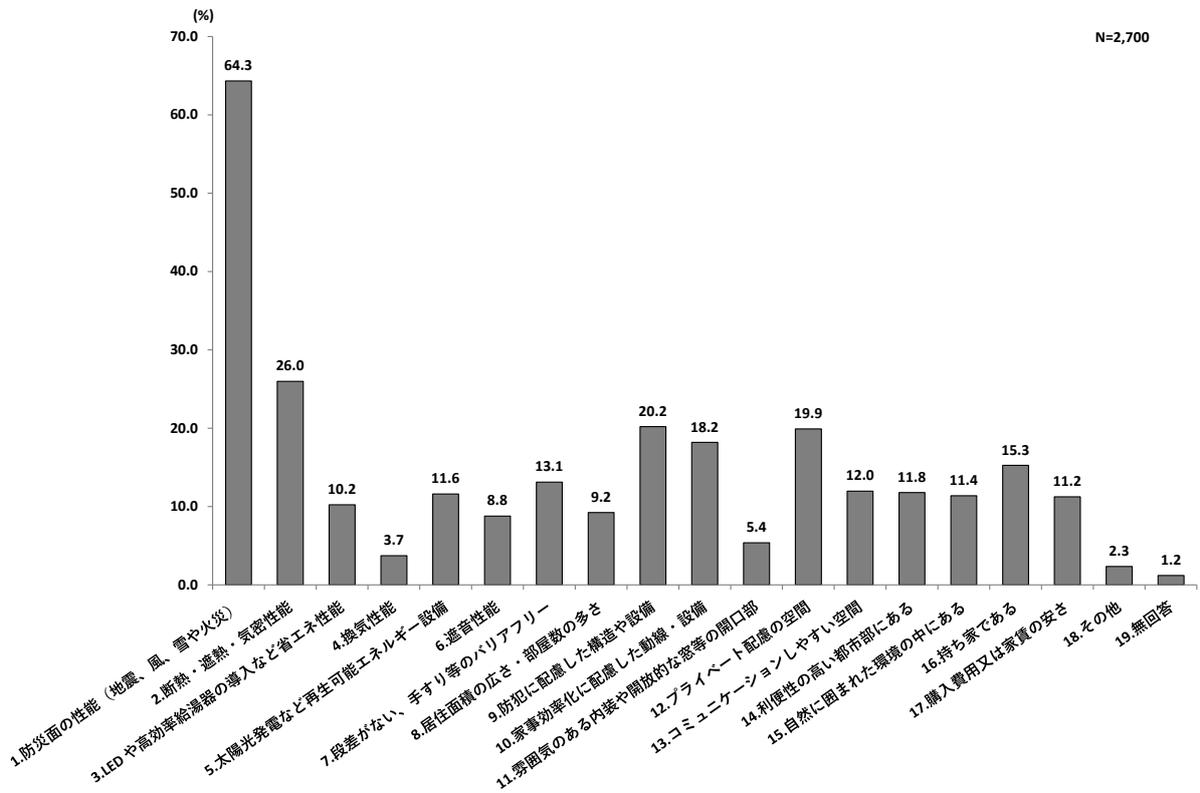
問 17-④ あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

(1) 全体

「防災面の性能（地震、風、雪や火災）」が64.3%と最も高く、次いで「断熱・遮熱・気密性能」（26.0%）、「防犯に配慮した構造や設備」（20.2%）の順となっている。

図表 17-4-1

あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。（全体）

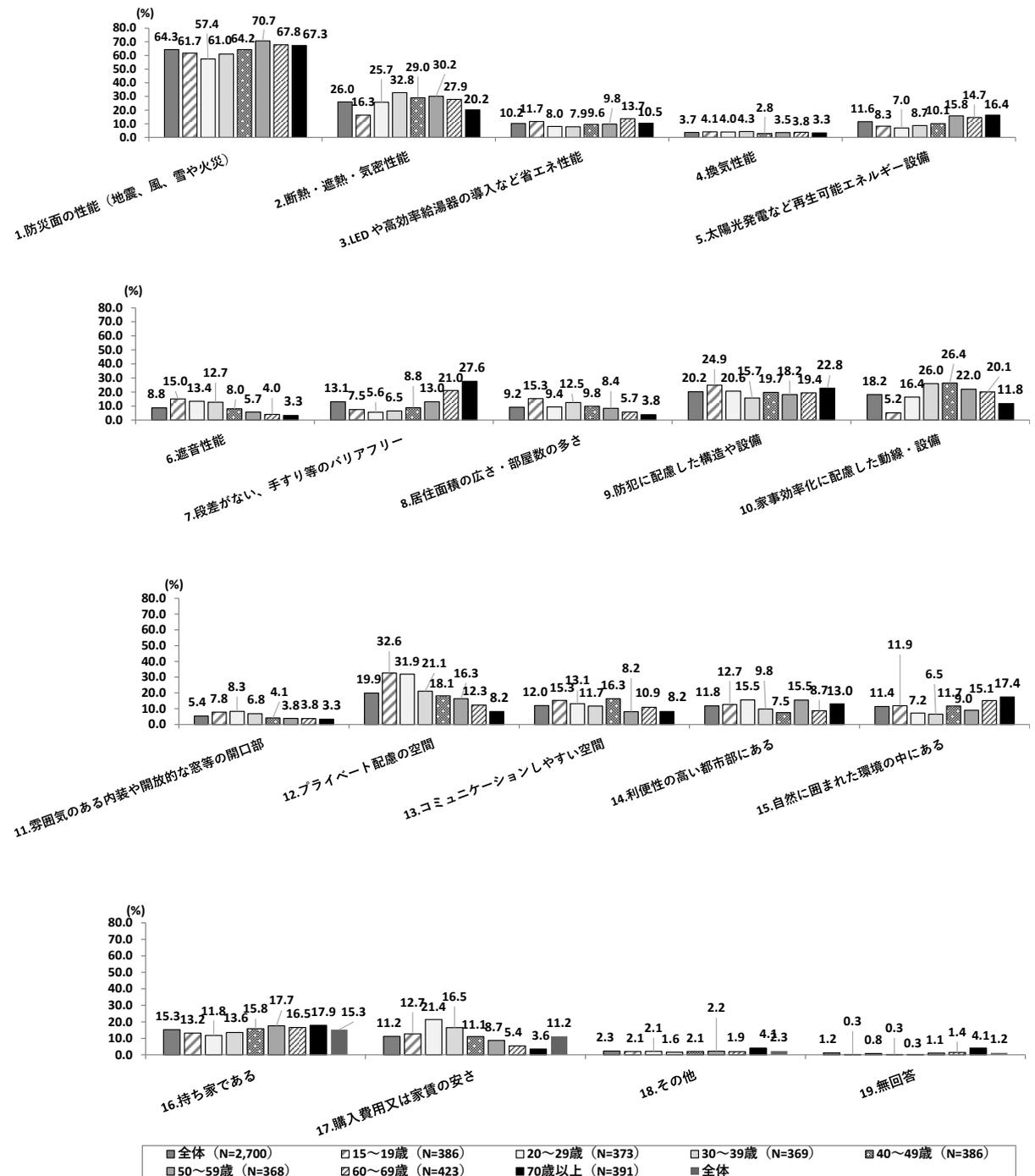


(2) 年齢別

すべての年代で「防災面の性能（地震、風、雪や火災）」が最も高く、次いで、20歳代以下では「プライベート配慮の空間」が、40～60歳代では「断熱・遮熱・気密性能」が、「70歳以上」では「段差がない、手すり等のバリアフリー」となっている。「プライベート配慮の空間」は、年齢が若くなるほど高くなる傾向がある。

図表 17-4-2

あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。（年齢別）

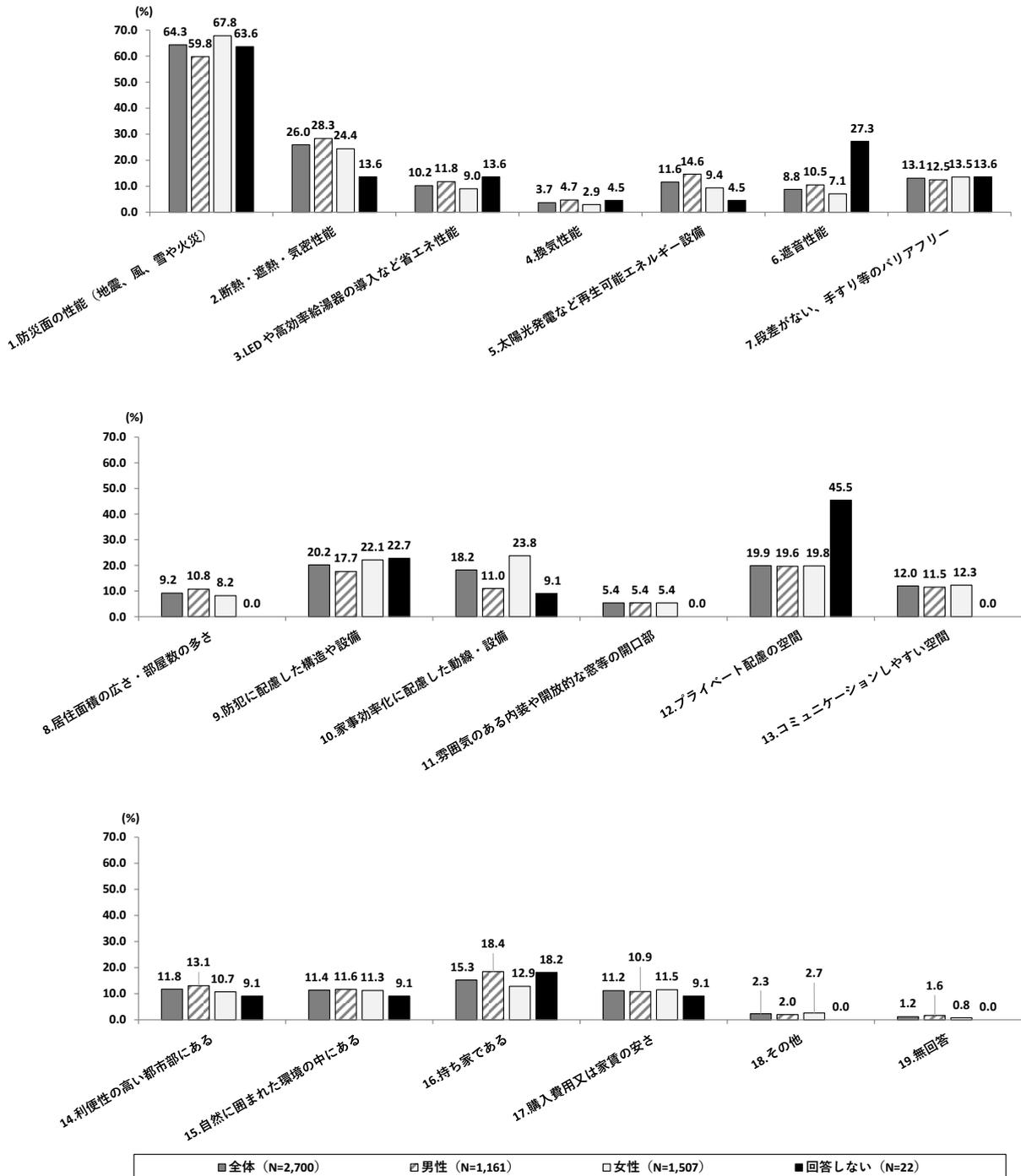


(3) 性別

男女ともに「防災面の性能（地震、風、雪や火災）」が最も高く、次いで「断熱・遮熱・気密性能」となっている。「家事効率化に配慮した動線・設備」では、「女性」が23.8%と、「男性」（11.0%）よりも12.8ポイント高い。

図表 17-4-3

あなたにとって、理想的な生活を実現するために、住まいに特に求めることは何ですか。（性別）



問 18 仕事について

現在、仕事をされている方にお聞きします。

- ① あなたは、仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じていますか。

(1) 全体

仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を『感じている』（「とても感じている」＋「やや感じている」）が 51.5%で、一方、『感じていない』（「あまり感じていない」＋「全く感じていない」）は 22.4%と、『感じている』の方が 29.1 ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「40～49 歳」と「70 歳以上」では『感じている』が 4 割台だが、それ以外の年代は 5 割台となっている。

(3) 性別

「男性」では『感じている』が 48.5%と「女性」（53.6%）よりも 5.1 ポイント低い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『感じている』が 48.9%と、他と比較して若干低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『感じている』が 52.7%と、「いない」（49.6%）よりも 3.1 ポイント高い。

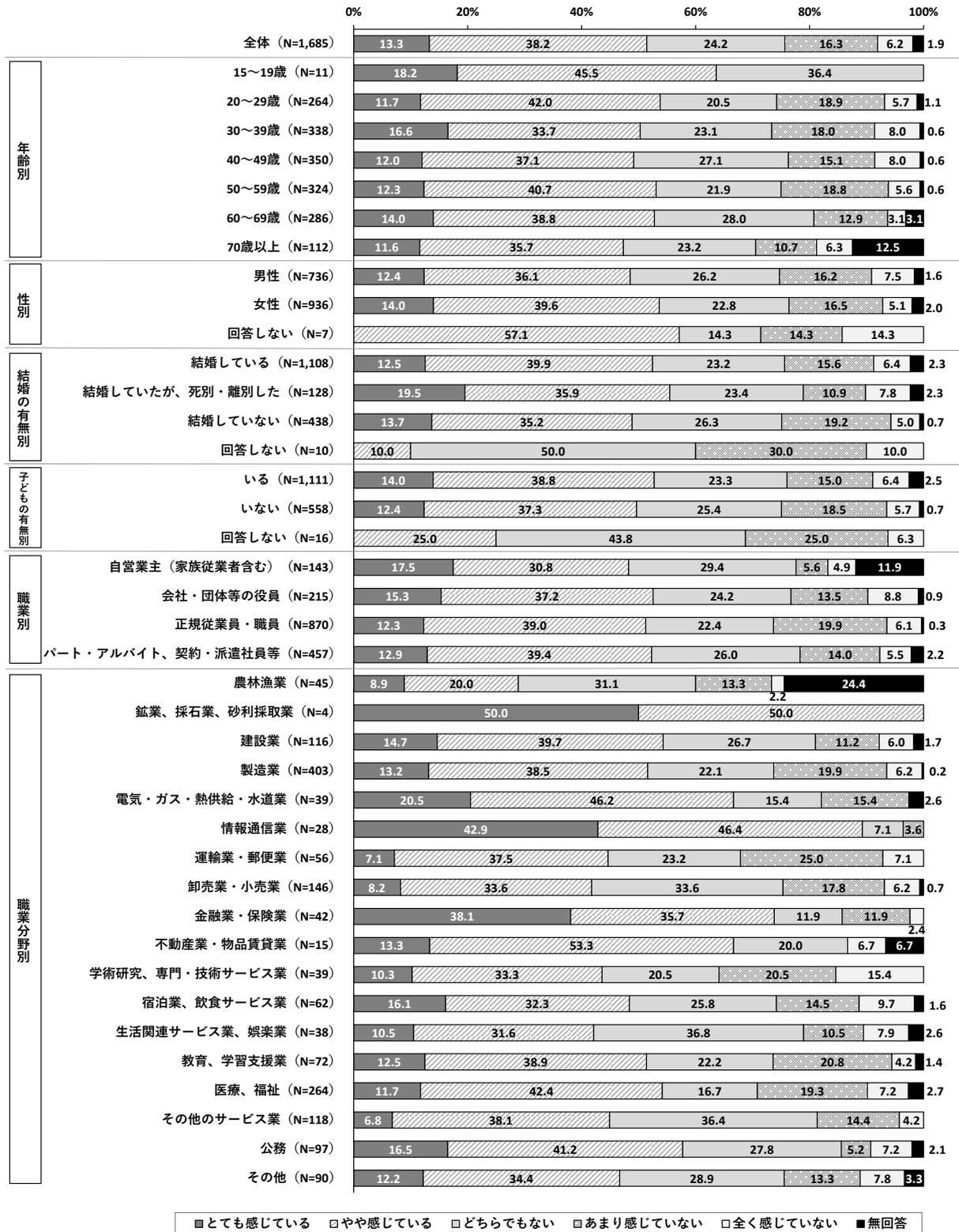
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『感じている』が 48.3%と、他の職業と比べて若干低い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『感じている』が 73.8%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「農林漁業」では『感じている』が 28.9%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 18-1 あなたは、仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じていますか。



問 18-② あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じますか。

(1) 全体

職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると『感じている』（「とても感じている」＋「やや感じている」）が42.7%で、一方、『感じていない』（「あまり感じていない」＋「全く感じていない」）は25.6%と、『感じている』の方が17.1ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「40～49歳」では『感じている』が36.9%と、他の年代よりも若干低くなっている。

(3) 性別

「男性」では『感じている』が39.5%と「女性」（45.2%）よりも5.7ポイント低い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『感じている』が40.2%と、他と比較して若干低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『感じている』が44.8%と、「いない」（38.9%）よりも5.9ポイント高い。

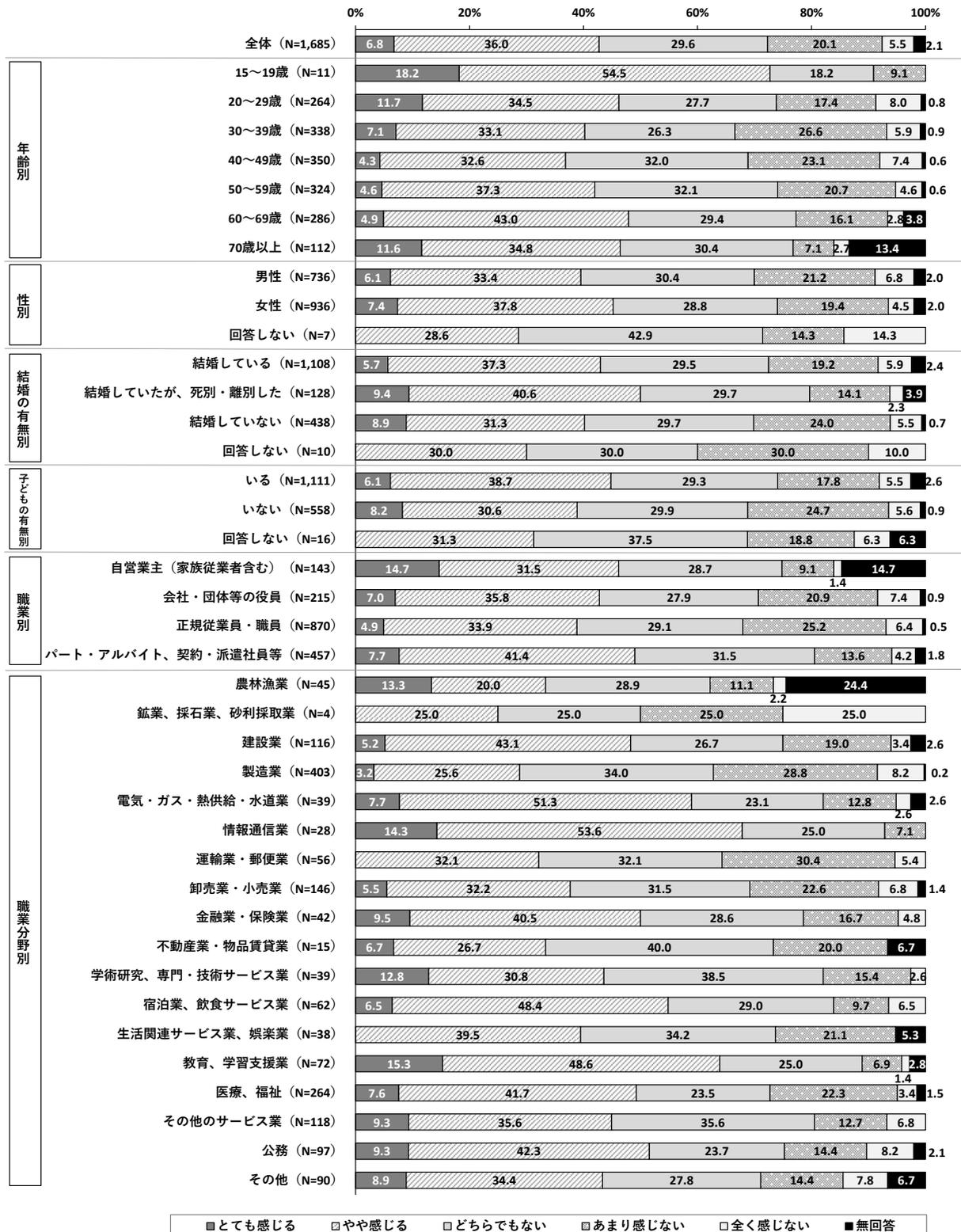
(5) - 1 職業別

「正規従業員・職員」では『感じている』が38.9%と、他の職業と比べて若干低い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『感じている』が63.9%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「製造業」では『感じている』が28.8%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 18-2 あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じますか。



問 19 次のことについて、家族や親しい友人等にどの程度、おすすめしたいと思いますか。

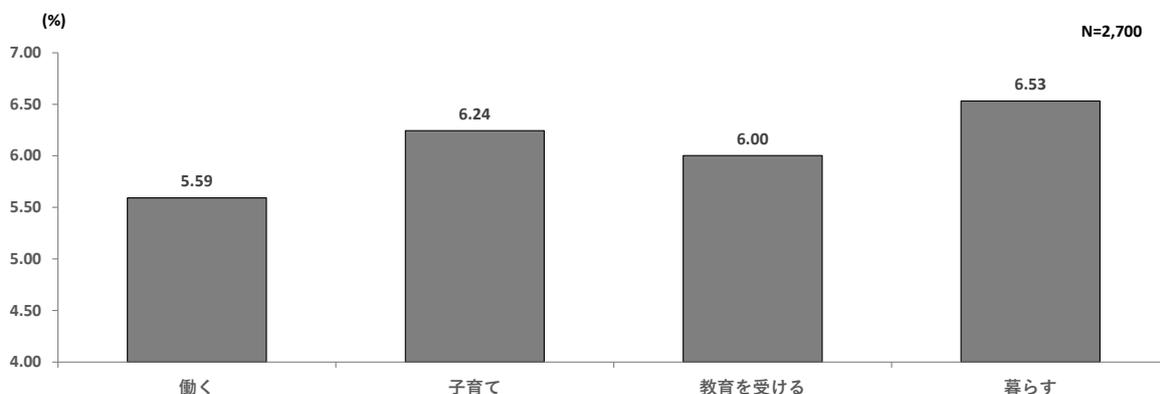
- ① 富山県で働くこと
- ② 富山県で子育てすること
- ③ 富山県で教育を受けること
- ④ 富山県で暮らすこと

(1) 全体

【平均】

「暮らす」が 6.53 と最も高く、次いで「子育て」(6.24)、「教育を受ける」(6.00)、「働く」(5.59)の順となっている。

図表 19-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(全体)

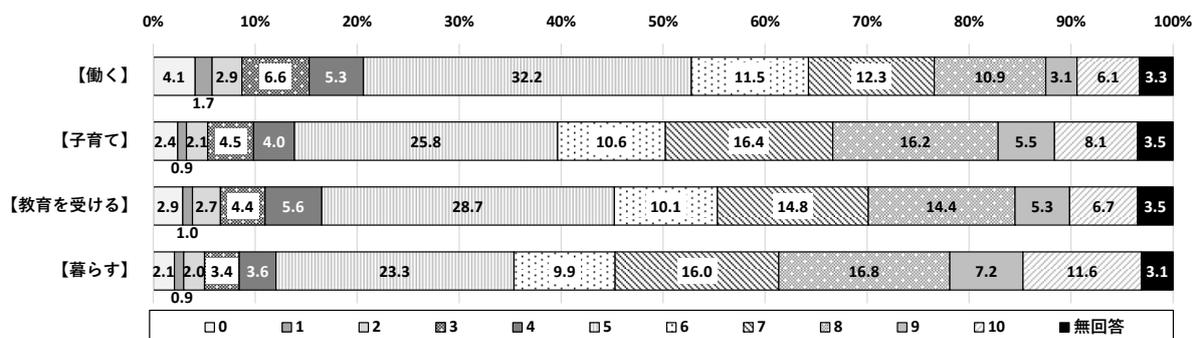


【割合】

「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも中央値の「5」が最も高い。

「6以上」の割合は、「暮らす」が 61.5%で他よりも高く、一方「働く」が 43.9%と他よりも低い。

図表 19-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(全体)

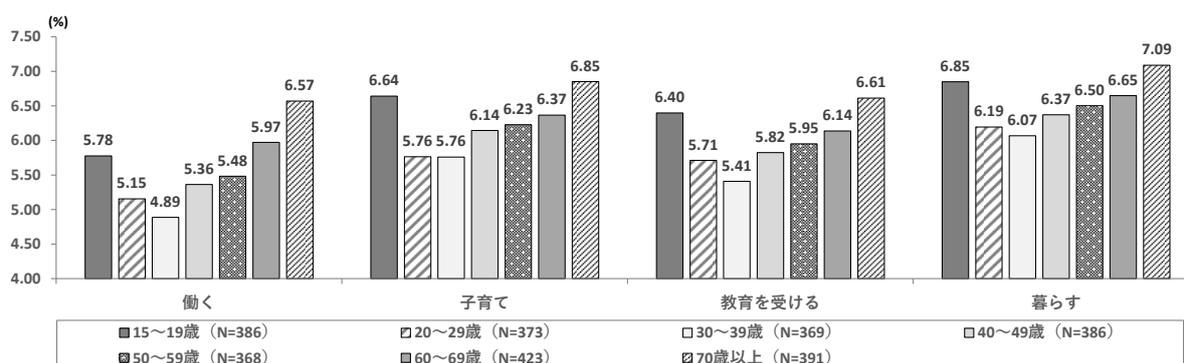


(2) 年齢別

【平均】

すべての設問項目で「70歳以上」が最も高く、次いで「働く」では「60～69歳」、「子育て」「教育を受ける」「暮らし」では「15～19歳」となっている。「暮らし」では、すべての年代で平均が6を超えており、「70歳以上」が7.09と高い値を示している。一方、「働く」では「30～39歳」が4.89と他の年代よりも低い値となっている。

図表 19-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（年齢別）



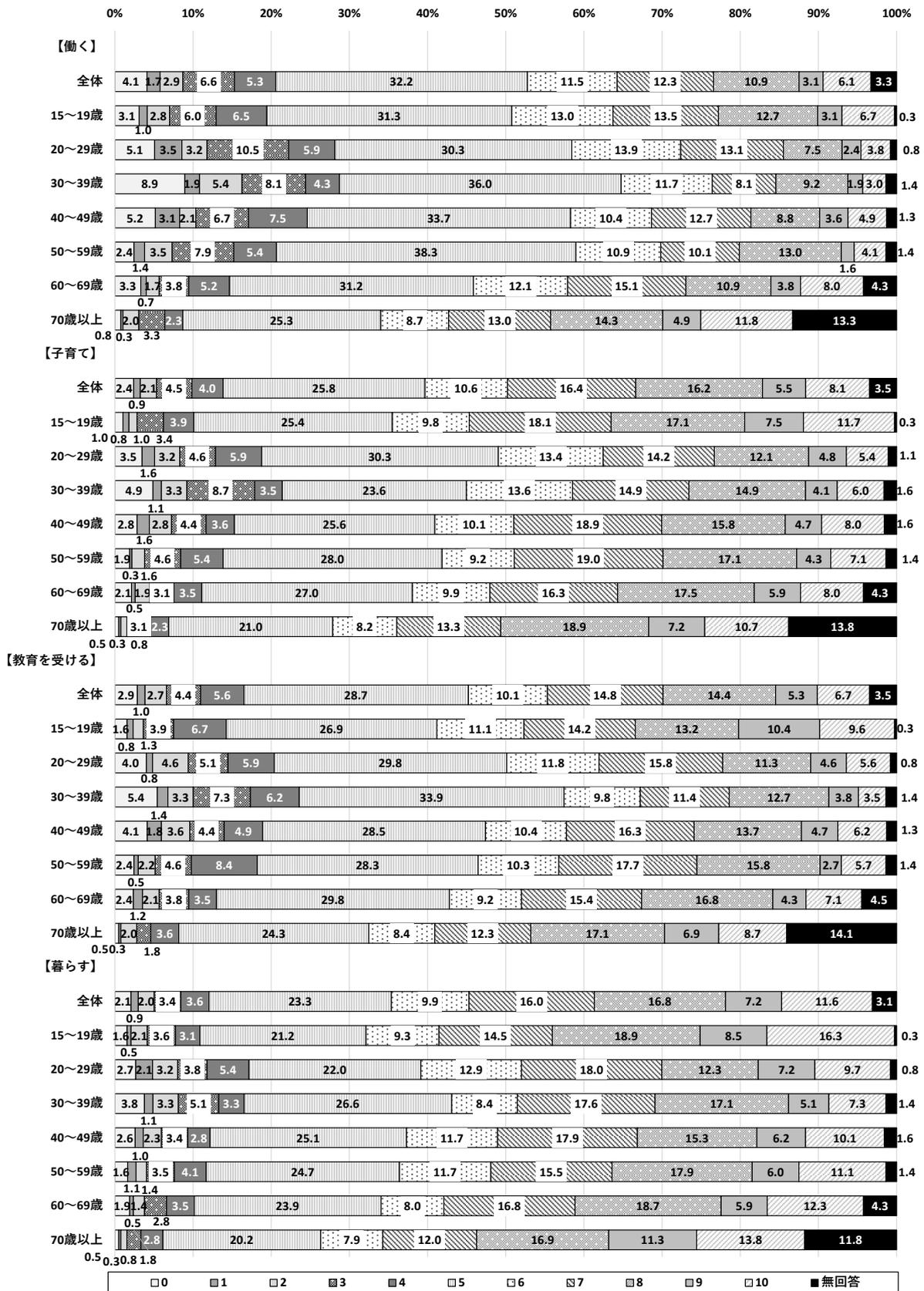
【割合】

すべての年代で「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らし」のいずれも「5」が最も高い。

「働く」において、「70歳以上」では「6以上」が52.7%と、他の年代よりも若干高い。

「子育て」「教育を受ける」「暮らし」において、「15～19歳」では「6以上」が他の年代よりも高い。

図表 19-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（年齢別）

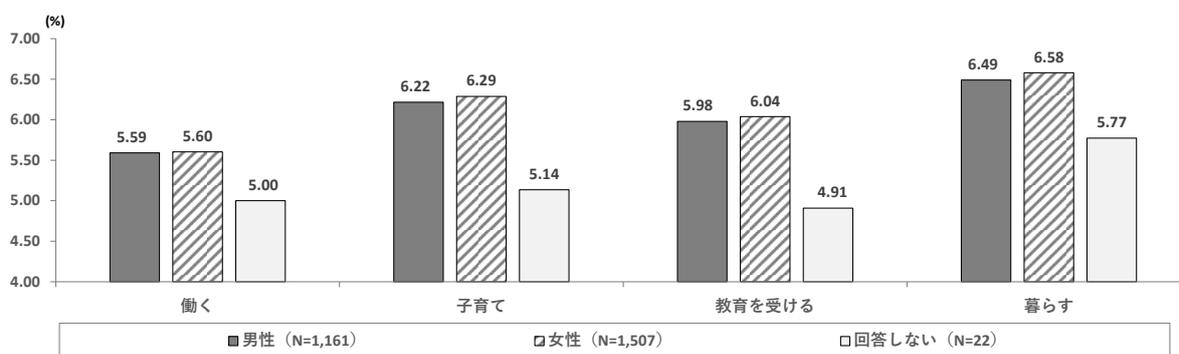


(3) 性別

【平均】

すべての設問項目で、「男性」よりも「女性」の方が高い。「子育て」と「暮らす」では、男女ともに平均が6.00を超えている。

図表 19-3-1 家族や親しい友人等へのおすすめ度【平均】(性別)

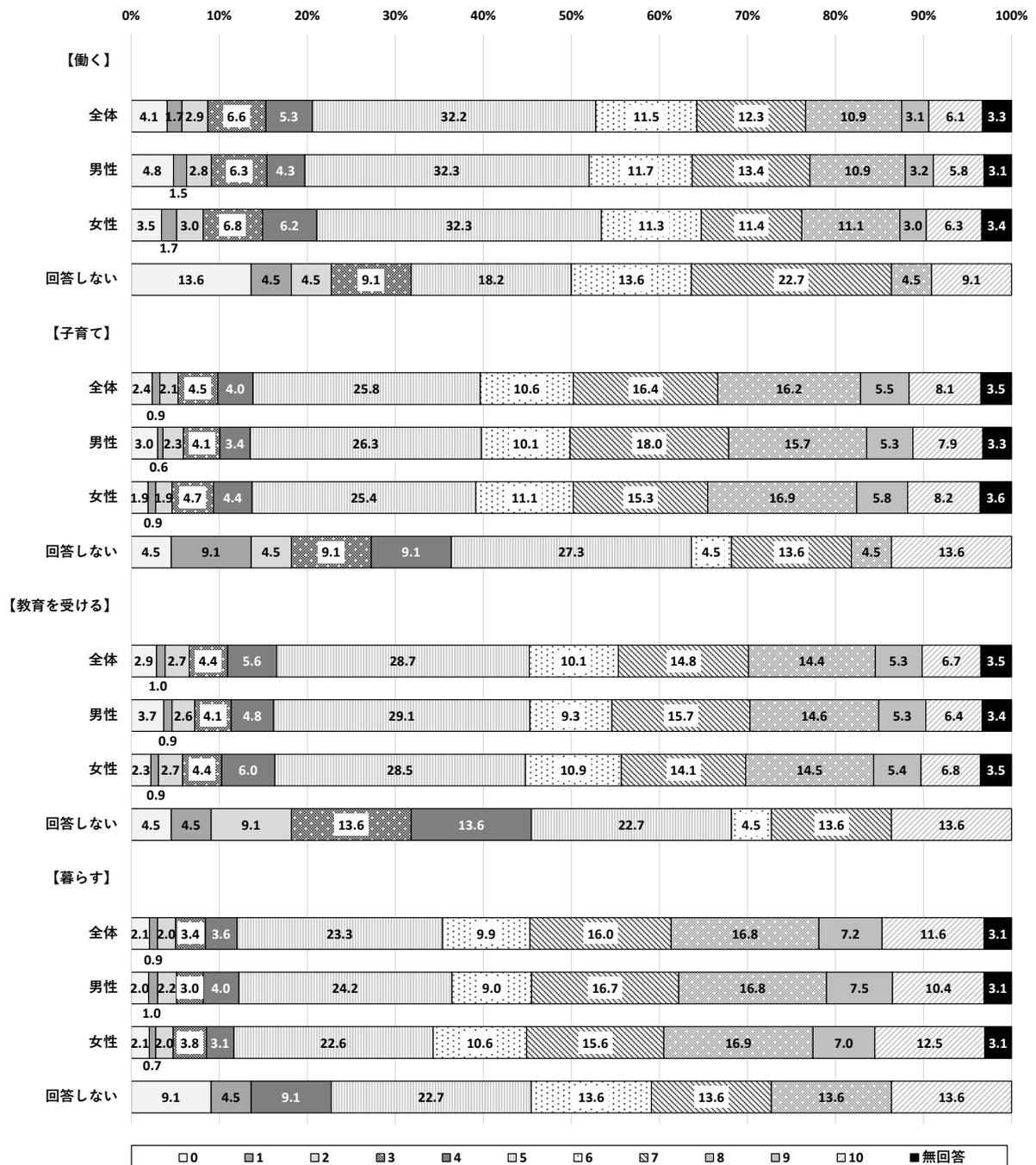


【割合】

男女ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、男女間で大きな差は見られない。

図表 19-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（性別）

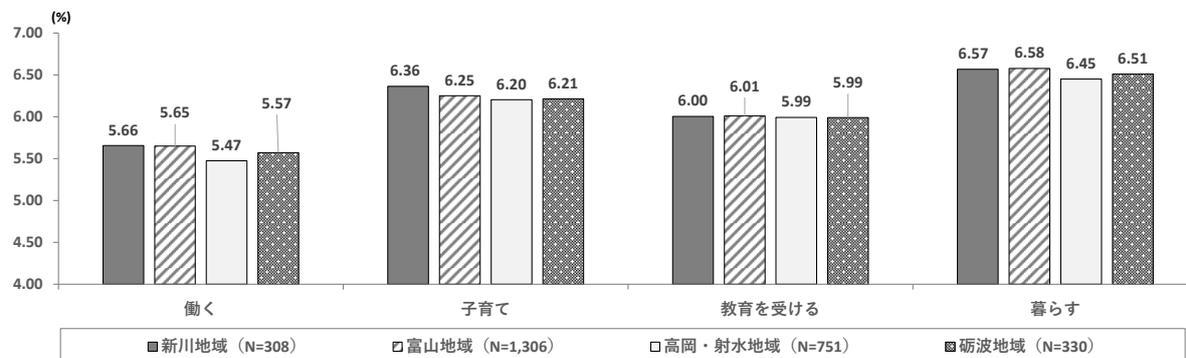


(4) - 1 地域別

【平均】

「子育て」と「暮らす」では、すべての地域で平均が6.00を超えている。

図表 19-4-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(地域別)

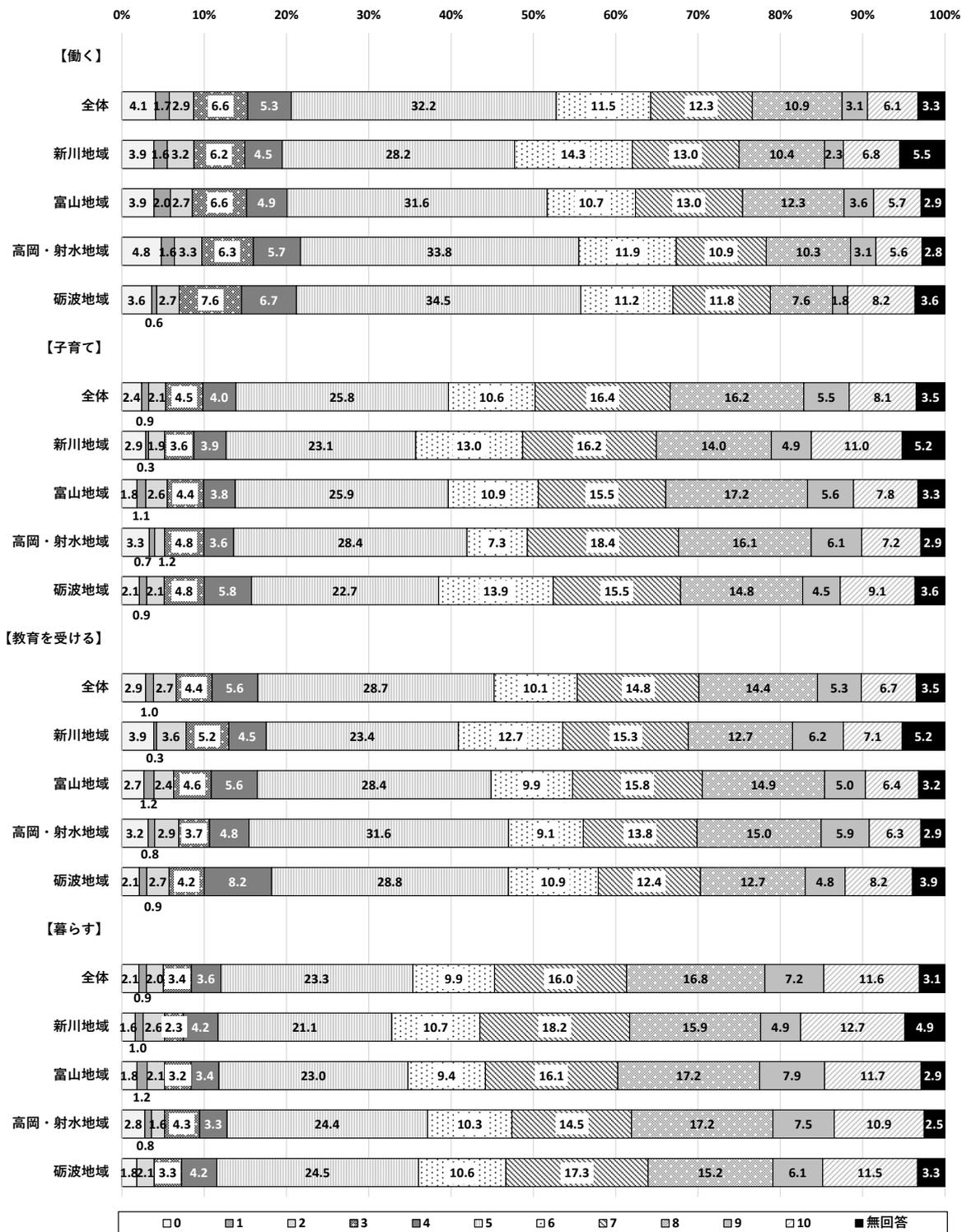


【割合】

すべての地域で、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、「新川地域」が他の地域よりも若干高い（「暮らす」では「富山地域」と同割合）。

図表 19-4-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(地域別)

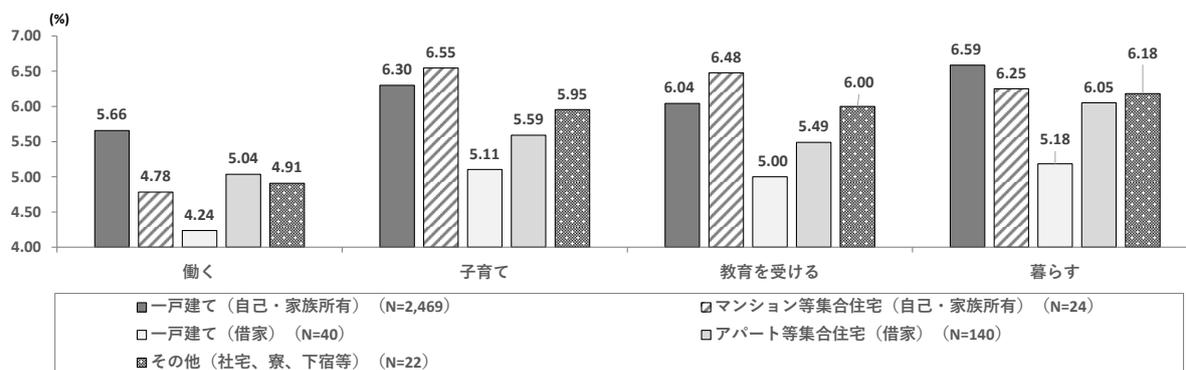


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において平均が6.00を超えている。

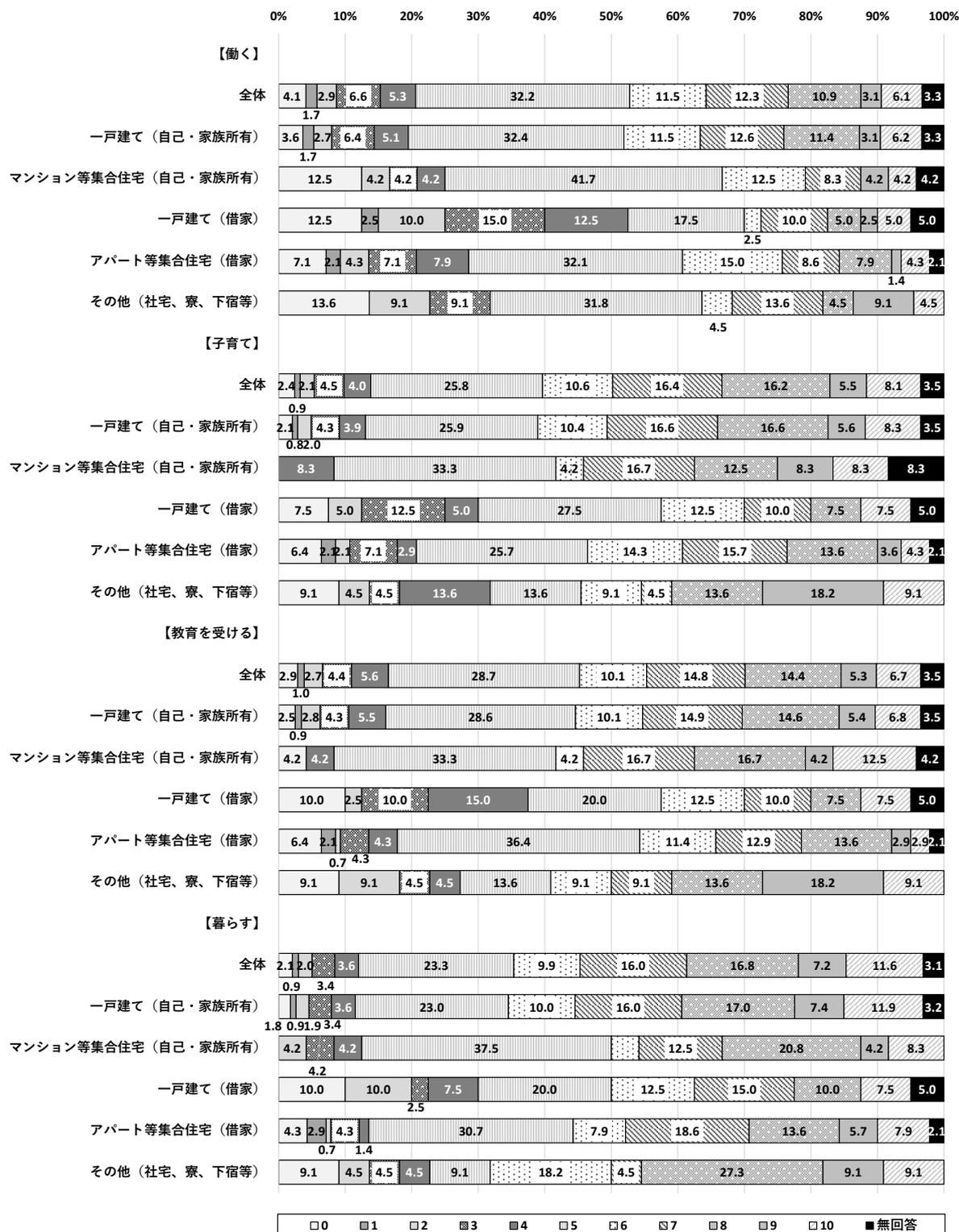
図表 19-4-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（住居状況別）



【割合】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。「6以上」を見ると、「暮らす」が62.3%、一方、「働く」が44.8%となっている。

図表 19-4-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（住居状況別）

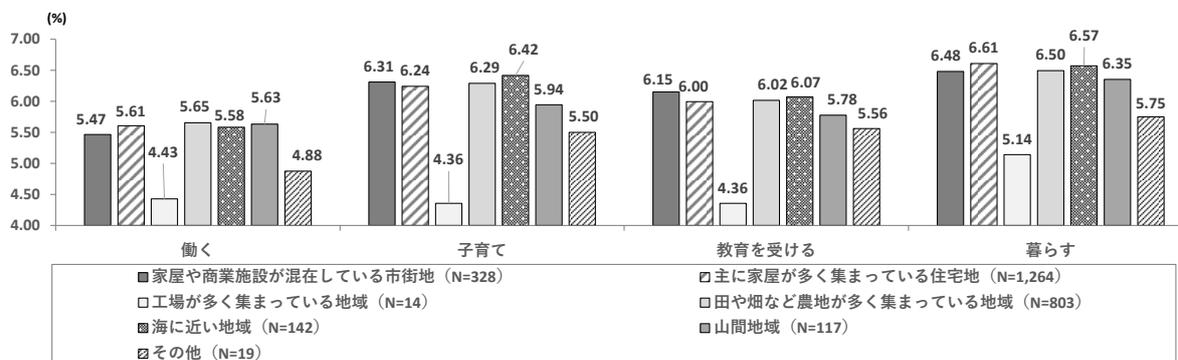


(4) - 3 現在の居住地環境別

【平均】

「暮らす」において、すべての居住地環境で平均が 6.00 を超えている。

図表 19-4-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(居住地環境別)

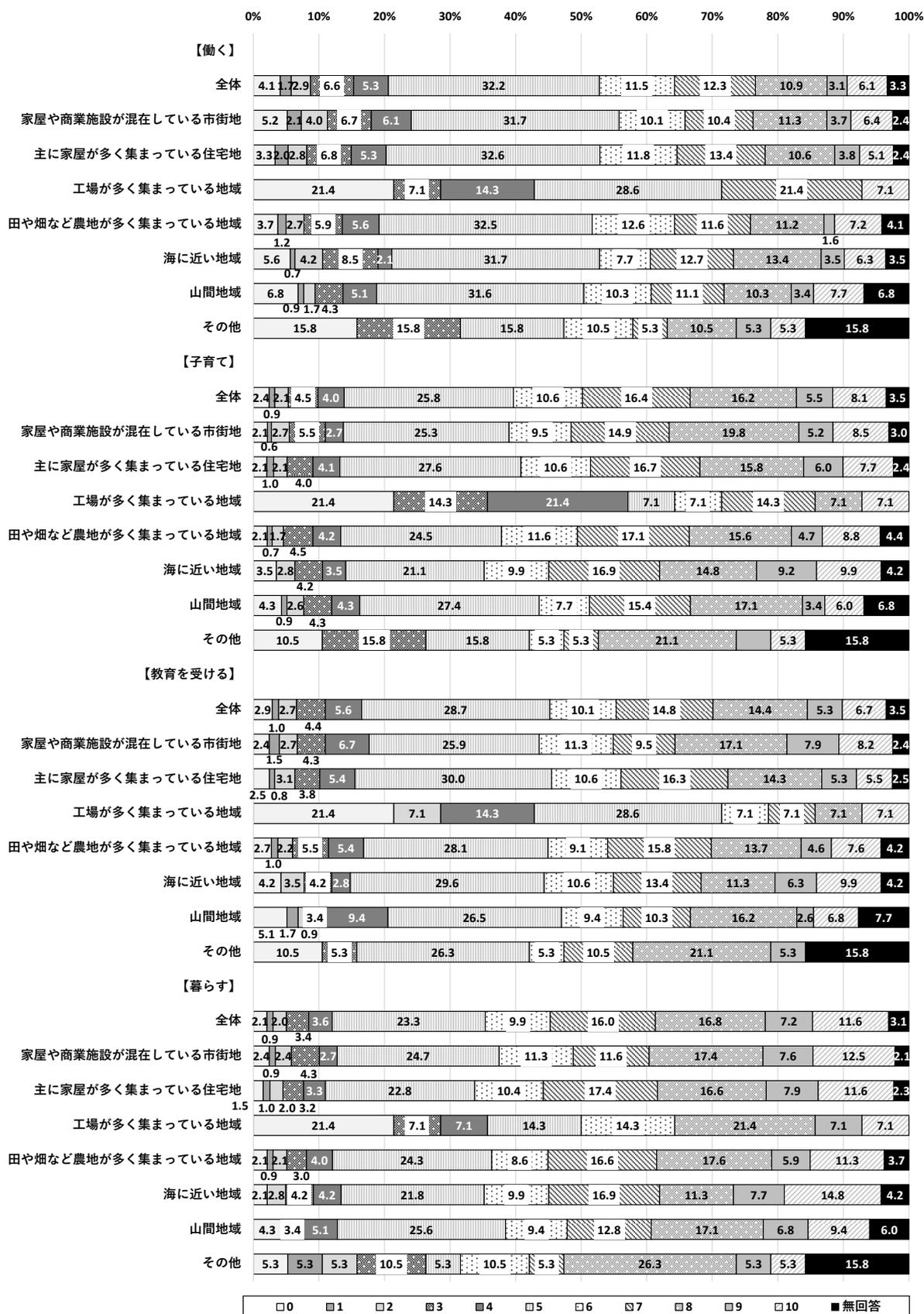


【割合】

どの居住地環境でも、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」では、居住地環境による大きな差は見られない。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において、「山間地域」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干低い。

図表 19-4-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（居住地域環境別）

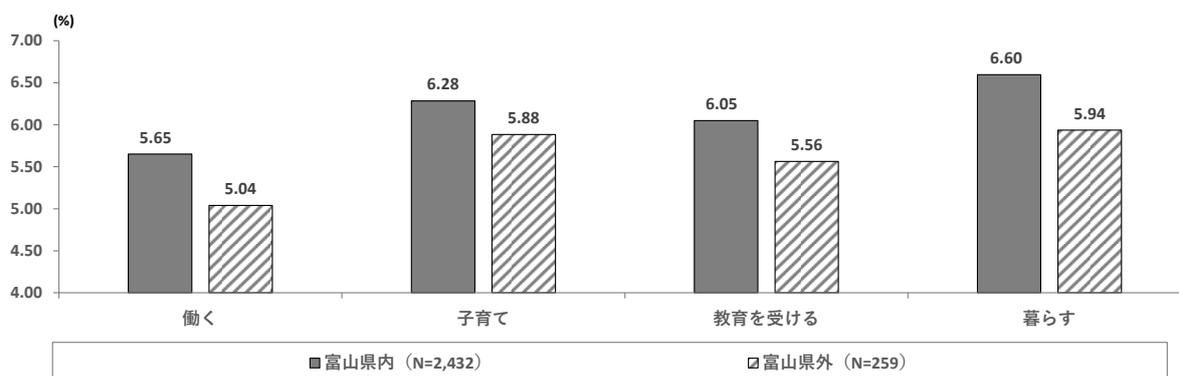


(4) - 4 出身地別

【平均】

すべての設問項目において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高くなっている。「富山県内」では「子育て」「教育を受ける」「暮らし」において6.00を超えている。

図表 19-4-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(出身地別)

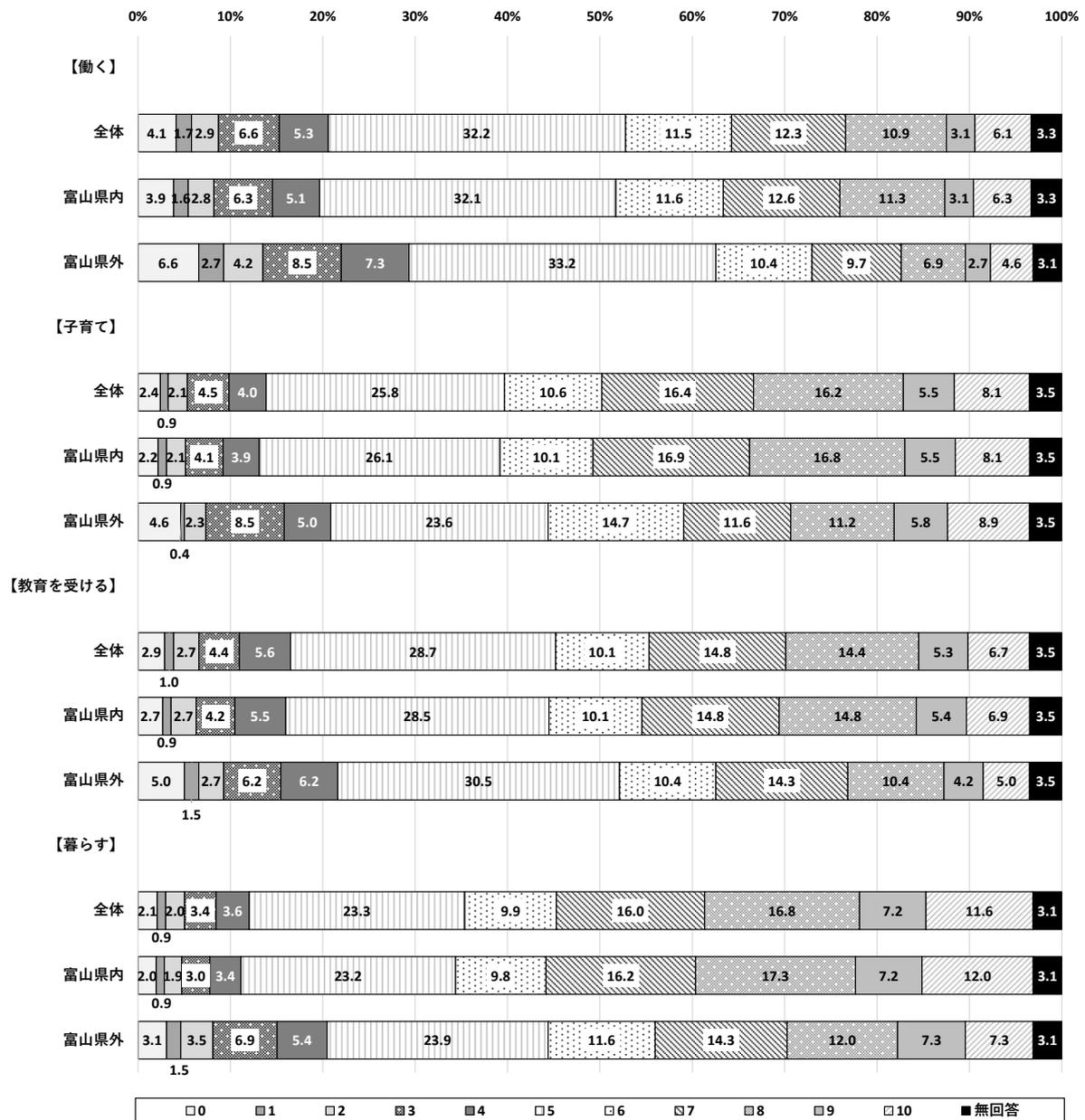


【割合】

「富山県内」「富山県外」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高い。

図表 19-4-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（出身地別）

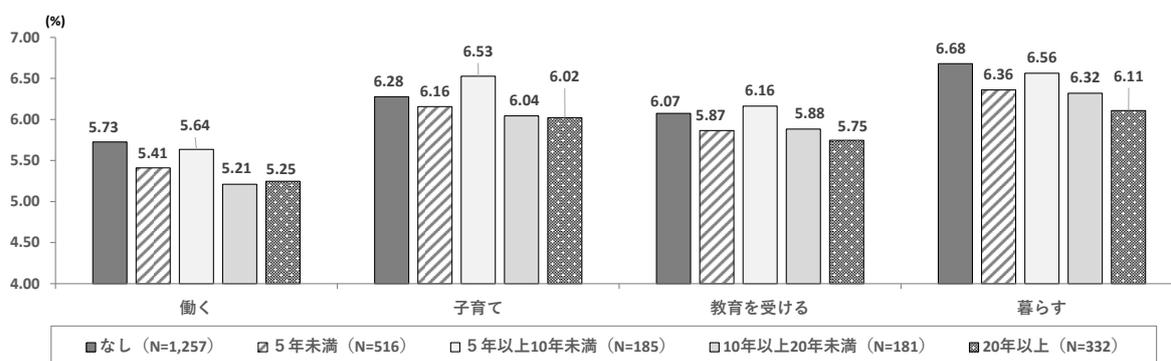


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「子育て」と「暮らす」ではすべてで6.00を超えている。「子育て」では「5年以上10年未満」(6.53)が、「暮らす」では県外での居住が「なし」(6.68)が最も高い。

図表 19-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(県外居住年数別)

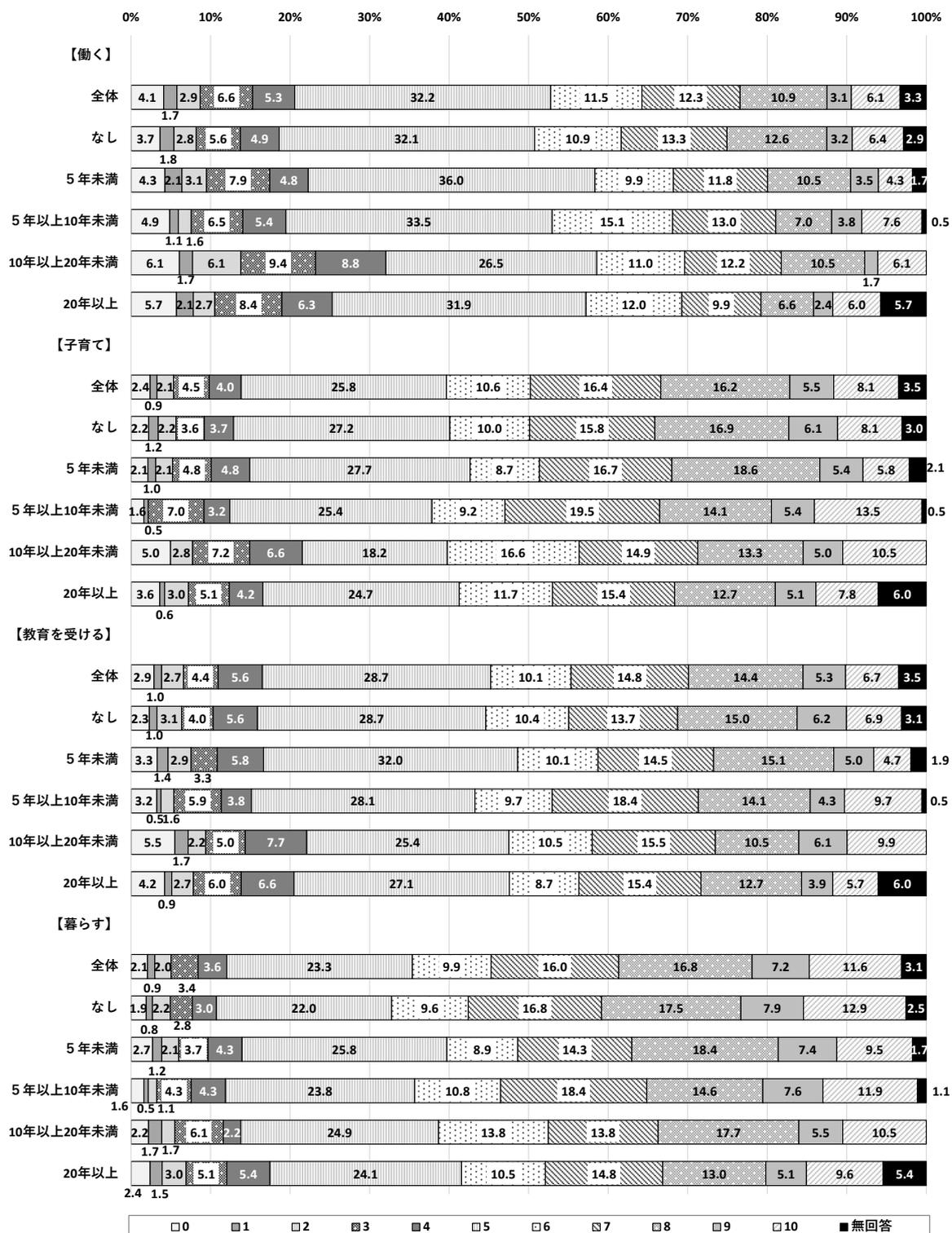


【割合】

どの居住年数でも、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、「5年以上10年未満」で他の居住年数と比較して若干高い。

図表 19-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（県外居住年数別）

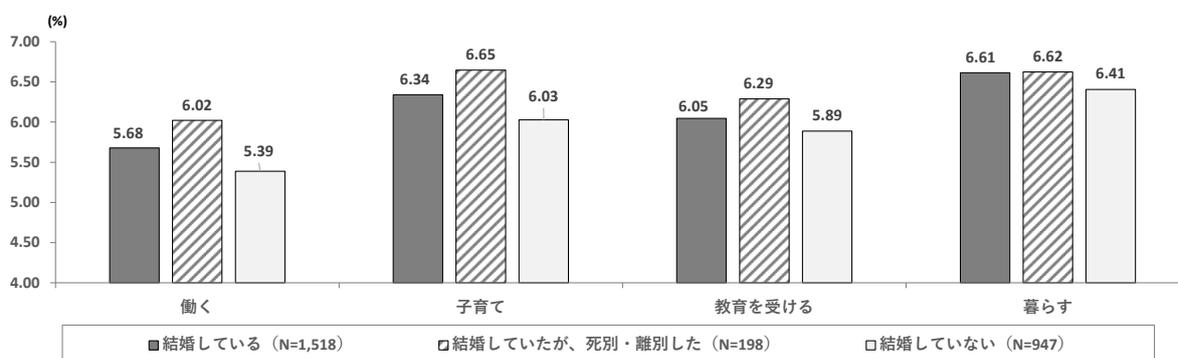


(5) - 1 結婚の有無別

【平均】

すべての設問項目で「結婚していたが、死別・離別した」が最も高くなっている。また、「子育て」と「暮らす」ではすべて6.00を超えている。

図表 19-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（結婚の有無別）

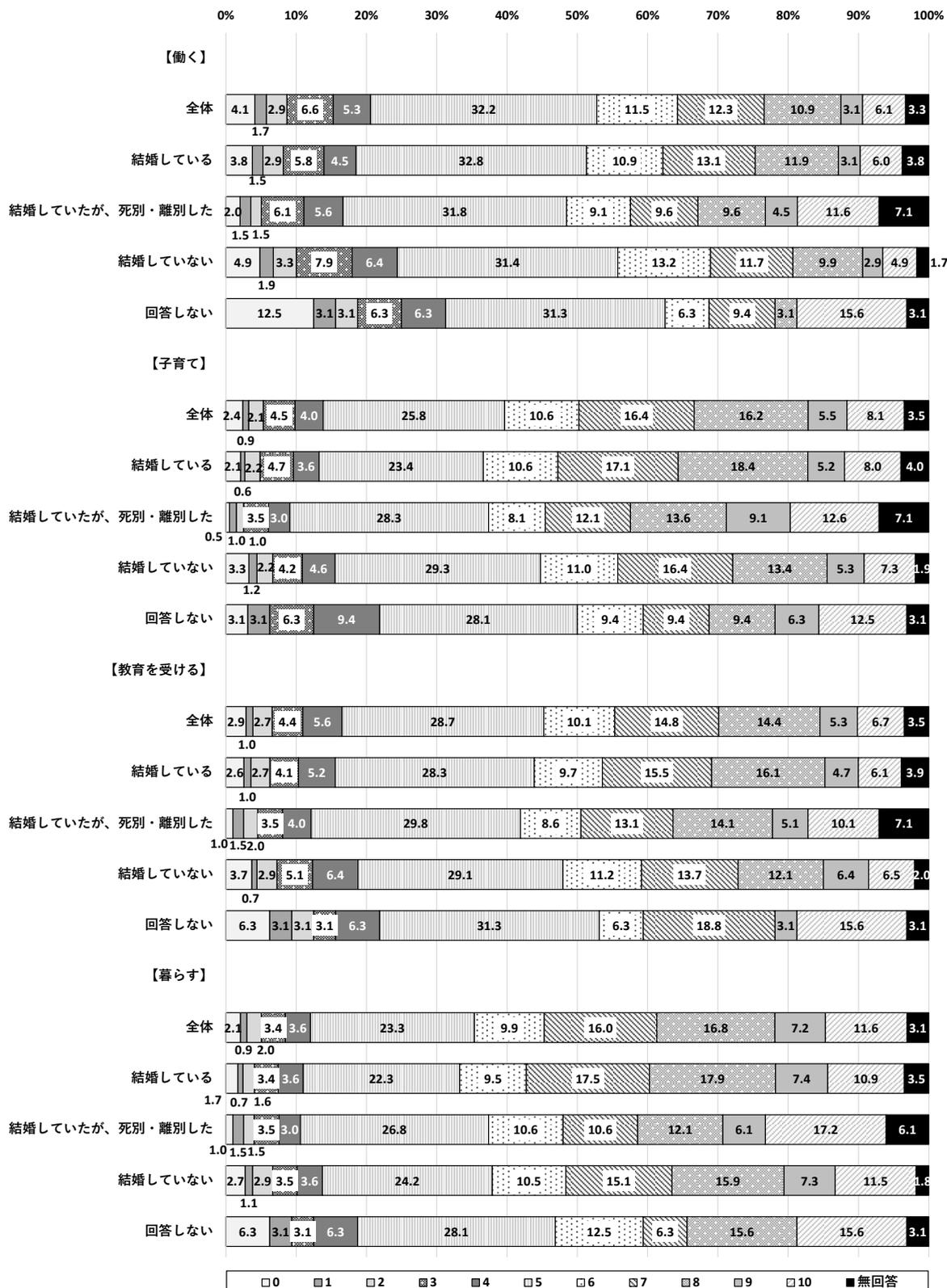


【割合】

どの属性も、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「子育て」において「結婚している」では59.4%と、他よりも若干高い。「働く」「教育を受ける」において、属性での大きな差は見られない。「暮らす」において、「結婚していたが、死別・離別した」が56.6%と、他よりも若干低い。

図表 19-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（結婚の有無別）

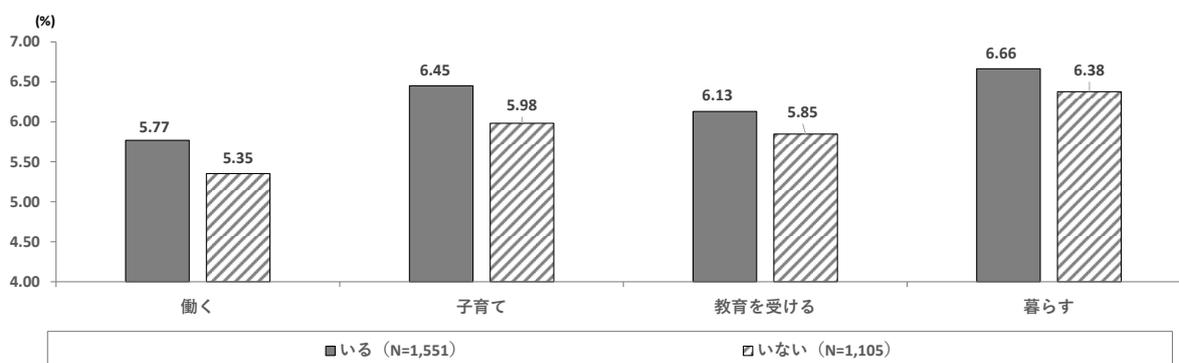


(5) - 2 子どもの有無別

【平均】

すべての設問項目において、子どもが「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。子どもが「いる」では「子育て」「教育を受ける」「暮らし」において6.00を超えている。

図表 19-5-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(子どもの有無別)

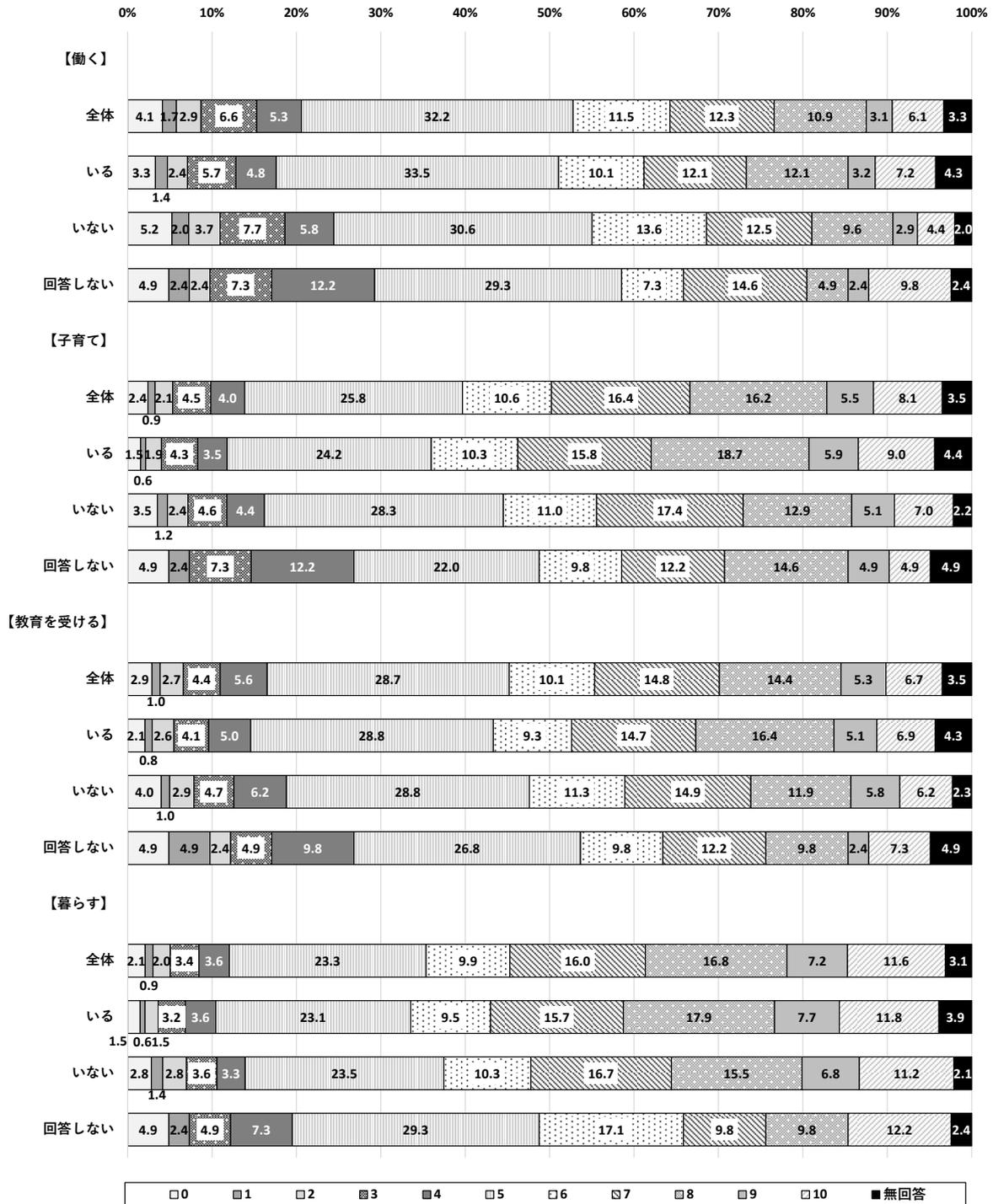


【割合】

子どもの有無に関わらず、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、子どもが「いる」の方が、「いない」よりも若干高くなっている。「子育て」においては、「いる」の方が6.3ポイント高い。

図表 19-5-2-2 家族や親しい友人等への推薦度（子どもの有無別）

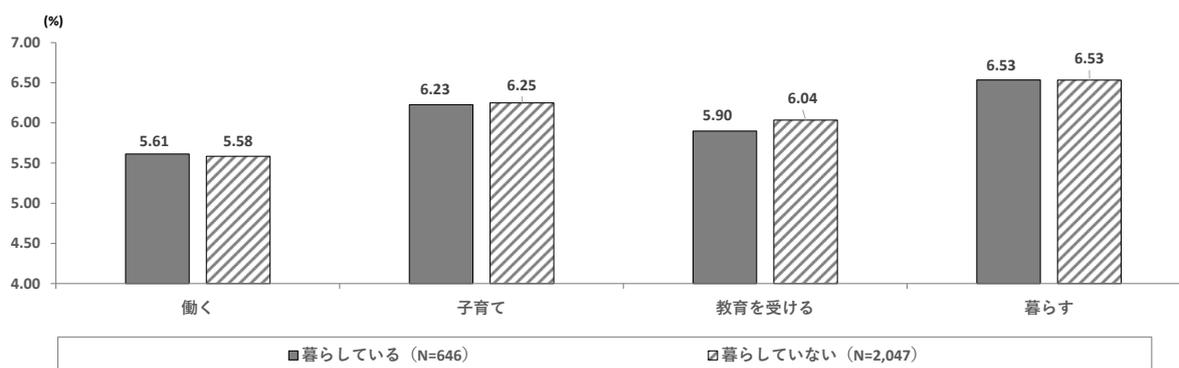


(5) - 3 ペットの有無別

【平均】

すべての設問項目において、大きな差は見られないが、「教育を受ける」においてペットと「暮らしていない」の方が若干高い。

図表 19-5-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(ペットの有無別)

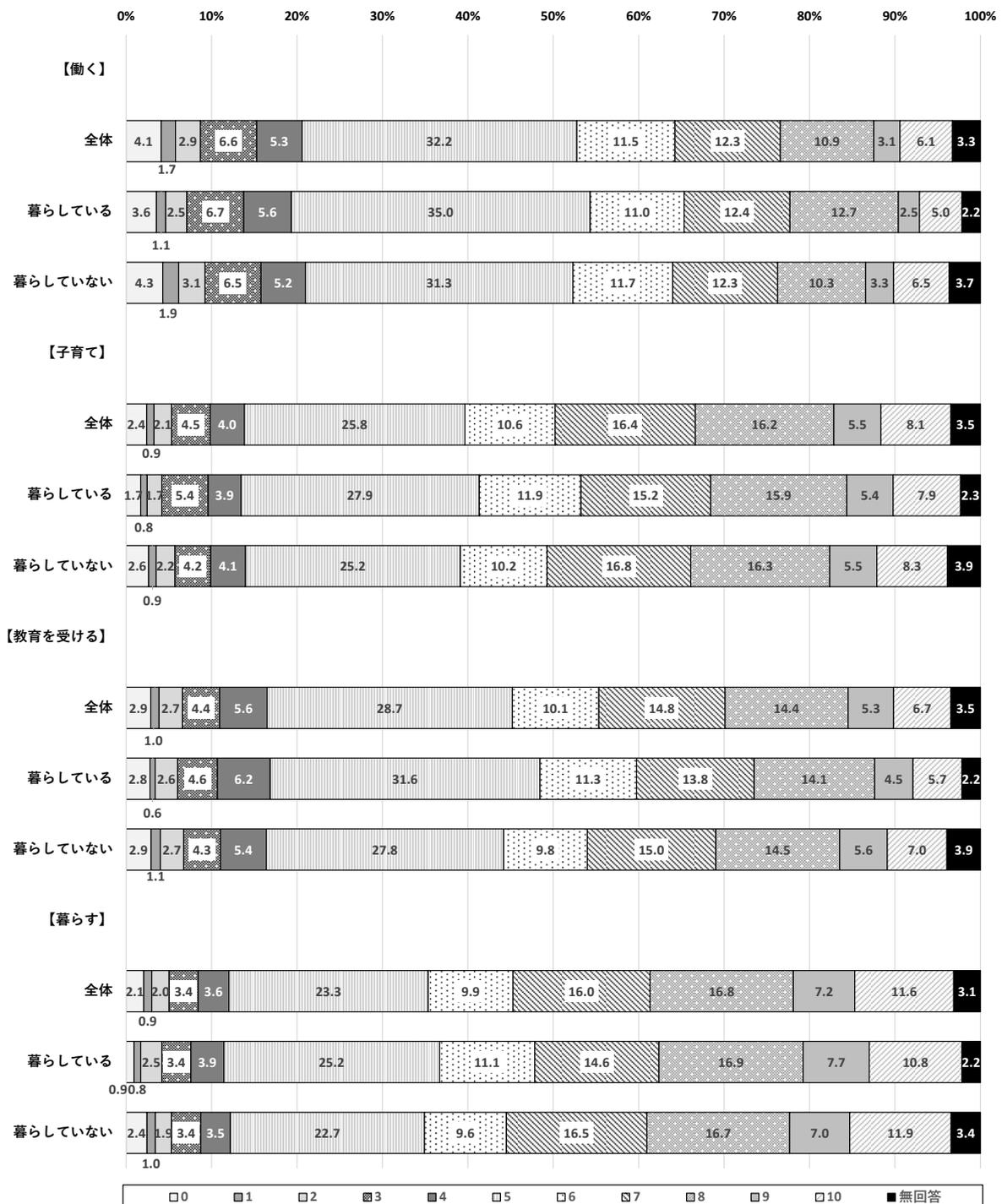


【割合】

「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、ペットの有無による大きな差は見られない。

図表 19-5-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（ペットの有無別）

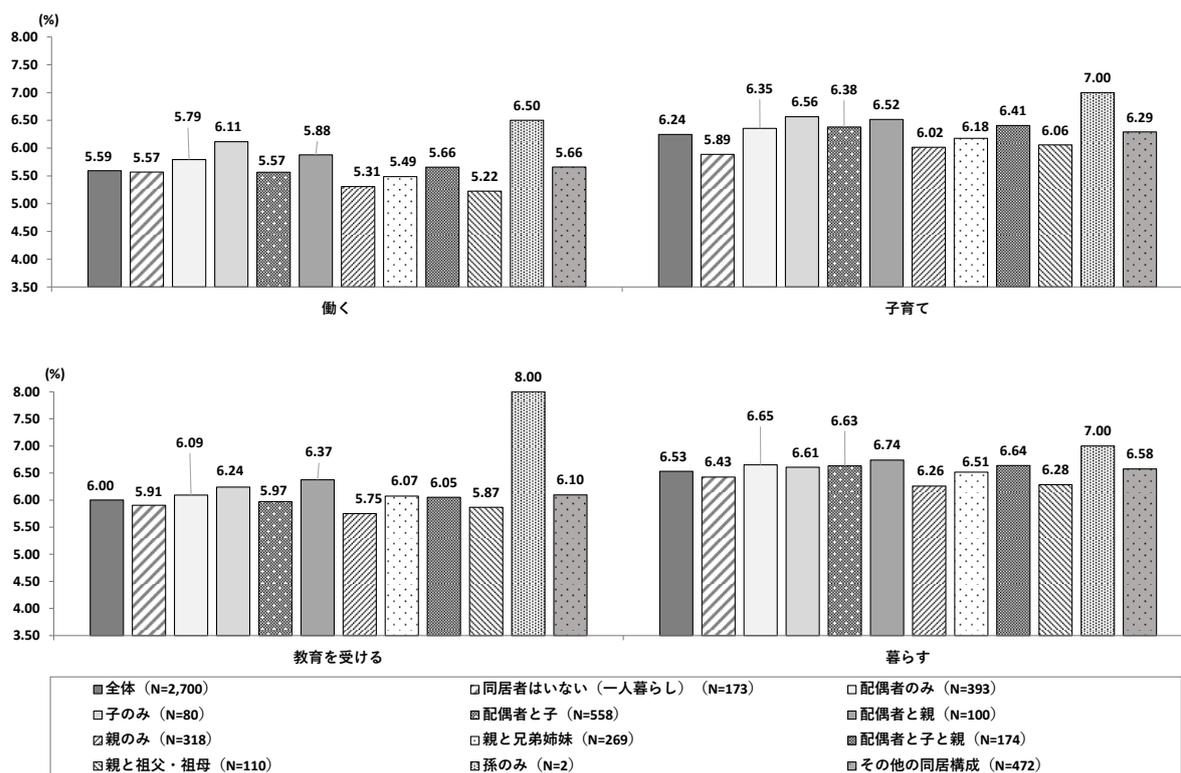


(5) - 4 同居家族の構成別

【平均】

「働く」では、「子のみ」だけが6.00を超えている。「子育て」では、「同居者はいない（一人暮らし）」を除くすべてで6.00を超えている。「教育を受ける」では、「配偶者と親」が6.37と最も高い。「暮らす」では、すべてで6.00を超えており、「配偶者と親」が6.74と最も高い。

図表 19-5-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（同居家族構成別）

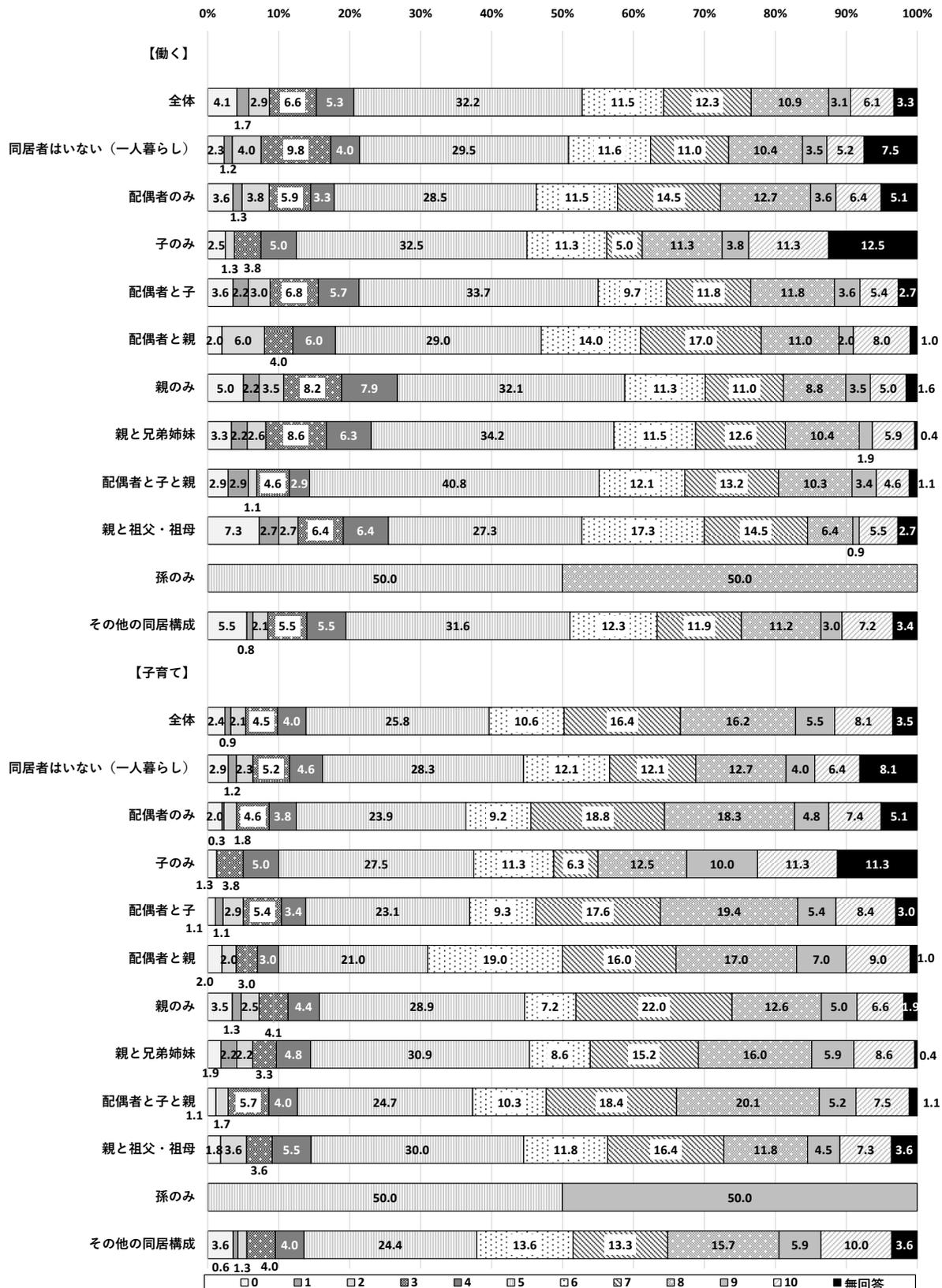


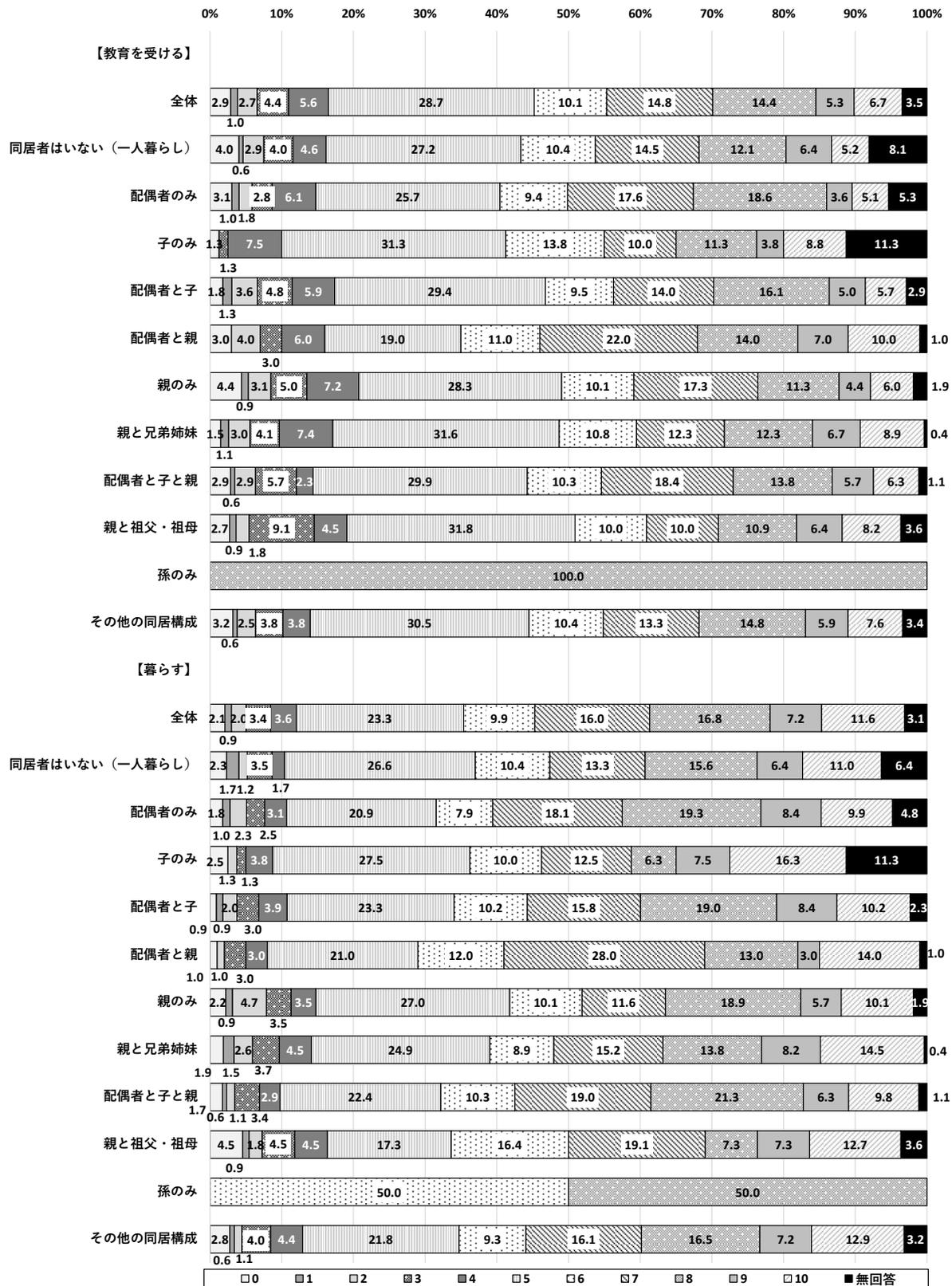
【割合】

「教育」において、「配偶者と親」では、「7」が最も高くなっている。また、「暮らす」において、「配偶者と親」と「親と祖父・祖母」では、「7」が最も高くなっている。その他では、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」においては、「配偶者と親」が52.0%と他よりも若干高い。「子育て」においては、「配偶者と子」と「配偶者と親」で6割以上となっている。「教育を受ける」と「暮らす」においては、「配偶者と親」が他よりも高い。

図表 19-5-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（同居家族構成別）



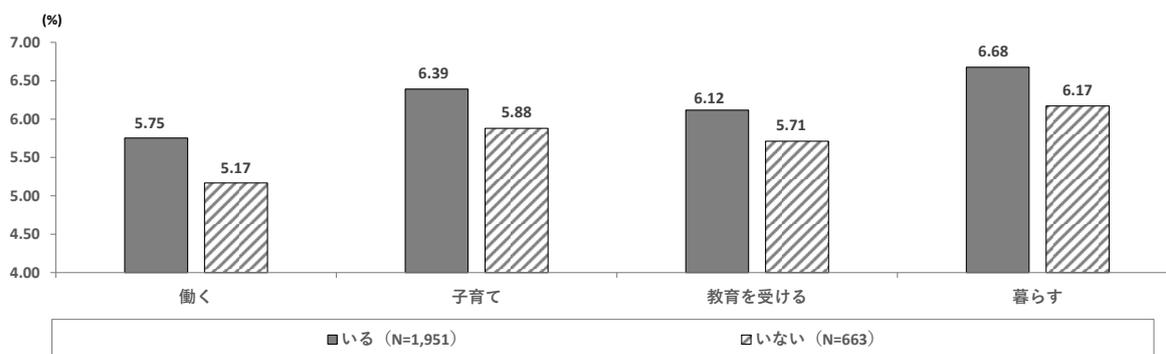


(5) - 5 別居親族の有無

【平均】

すべての設問項目において、別居親族が「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。別居親族が「いる」では「子育て」「教育を受ける」「暮らし」において6.00を超えている。

図表 19-5-5-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(別居親族の有無別)

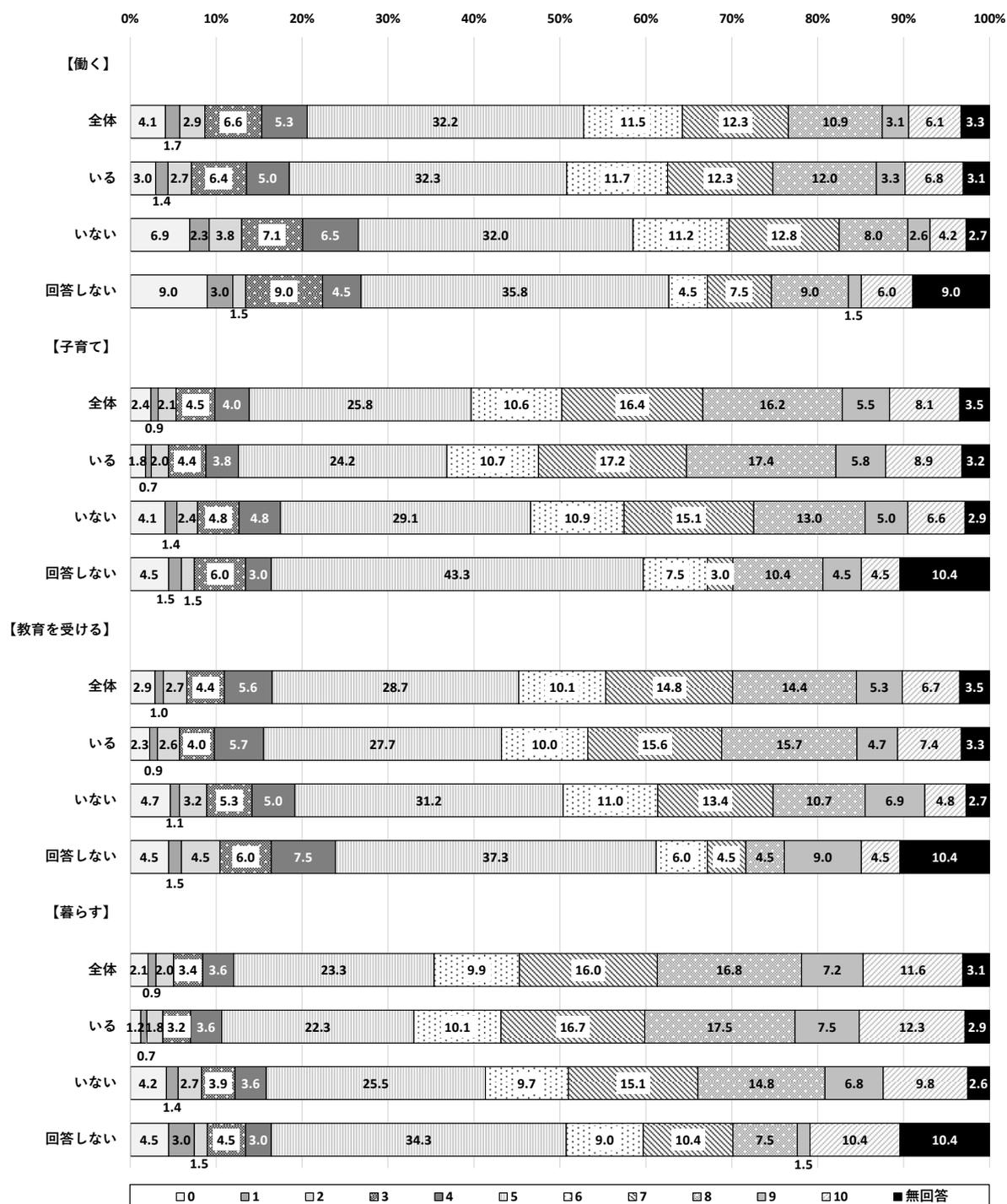


【割合】

別居の親族が「いる」「いない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、別居の親族が「いる」の方が、「いない」よりも高くなっている。「子育て」においては、「いる」の方が9.4ポイント高い。

図表 19-5-5-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（別居親族の有無別）

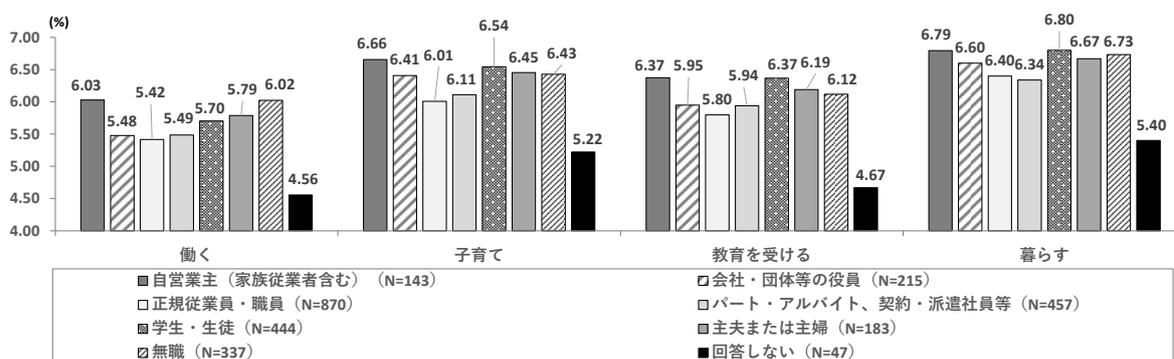


(6) - 1 職業別

【平均】

「子育て」と「暮らす」では、「回答しない」を除くすべてで6.00を超えている。「子育て」では「自営業主（家族従業者含む）」(6.66)が、「暮らす」では「学生・生徒」(6.80)が最も高い。

図表 19-6-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業別)

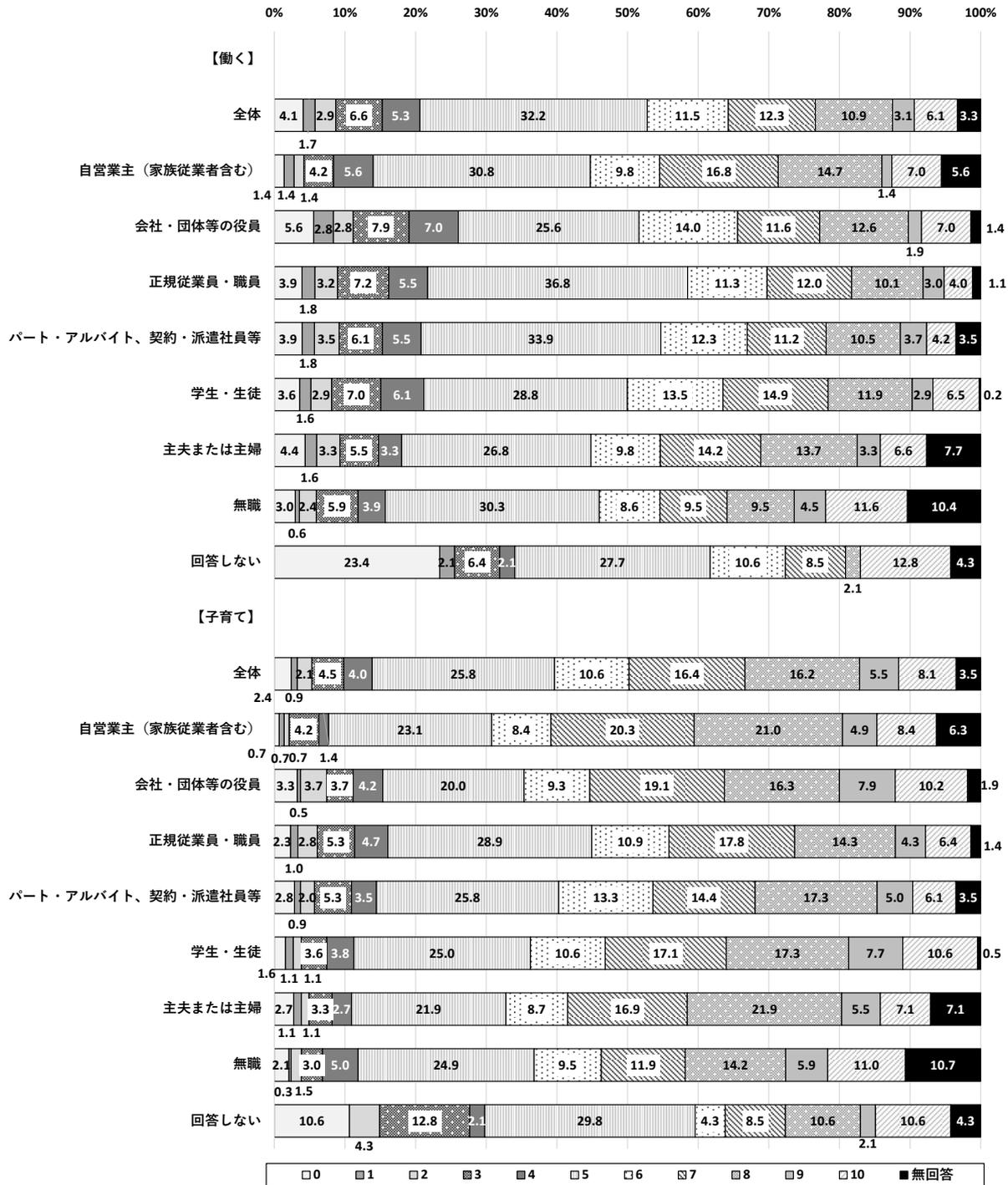


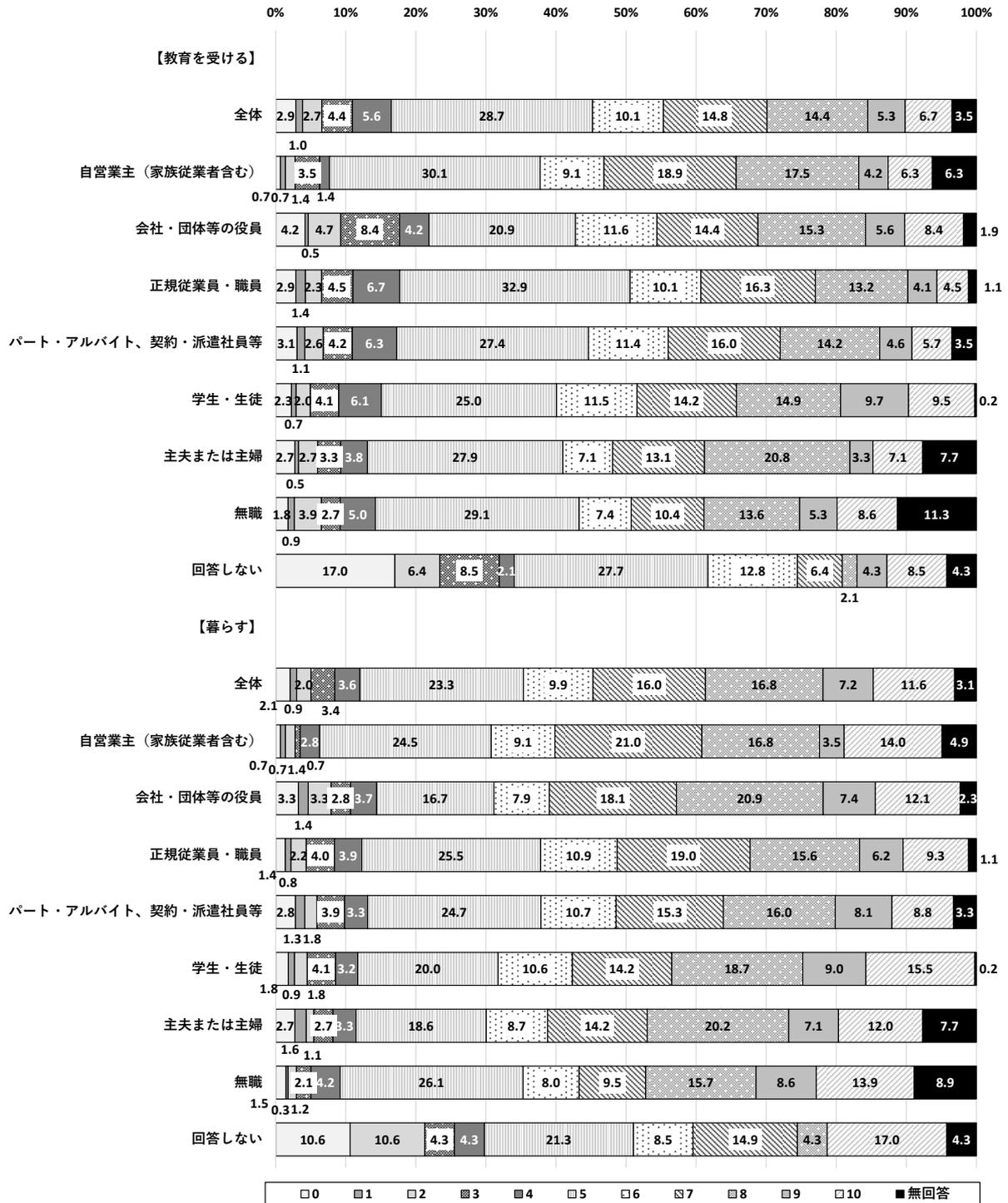
【割合】

「子育て」において、「主夫または主婦」では、「8」が最も高くなっている（「5」と同割合）。また、「暮らす」において、「会社・団体等の役員」と「主夫または主婦」では、「8」が最も高くなっている。その他の職業では、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」においては、「自営業主（家族従業者含む）」と「学生・生徒」が他の職業よりも若干高い。「子育て」においては、「自営業主（家族従業者含む）」「会社・団体等の役員」「学生・生徒」「主夫または主婦」で6割を超えている。「教育を受ける」と「暮らす」においては、「学生・生徒」が他の職業よりも若干高い。

図表 19-6-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業別）



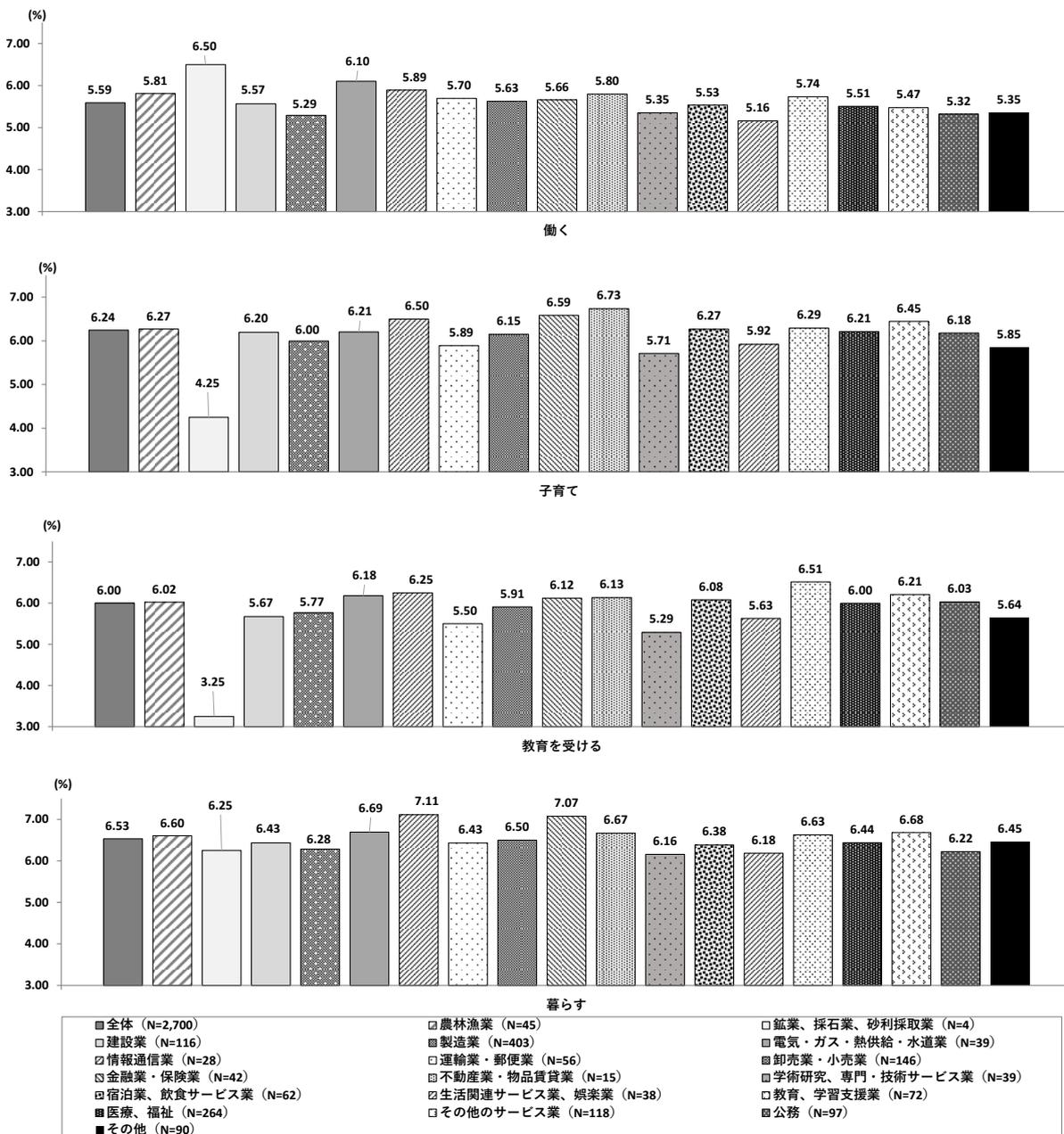


(6) - 2 職業分野別

【平均】

「働く」では「電気・ガス・熱供給・水道業」(6.10)が、「子育て」では「金融業・保険業」(6.59)が、「教育を受ける」では「教育、学習支援業」(6.51)、「暮らす」では「金融業・保険業」(7.07)が最も高い。

図表 19-6-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業分野別)

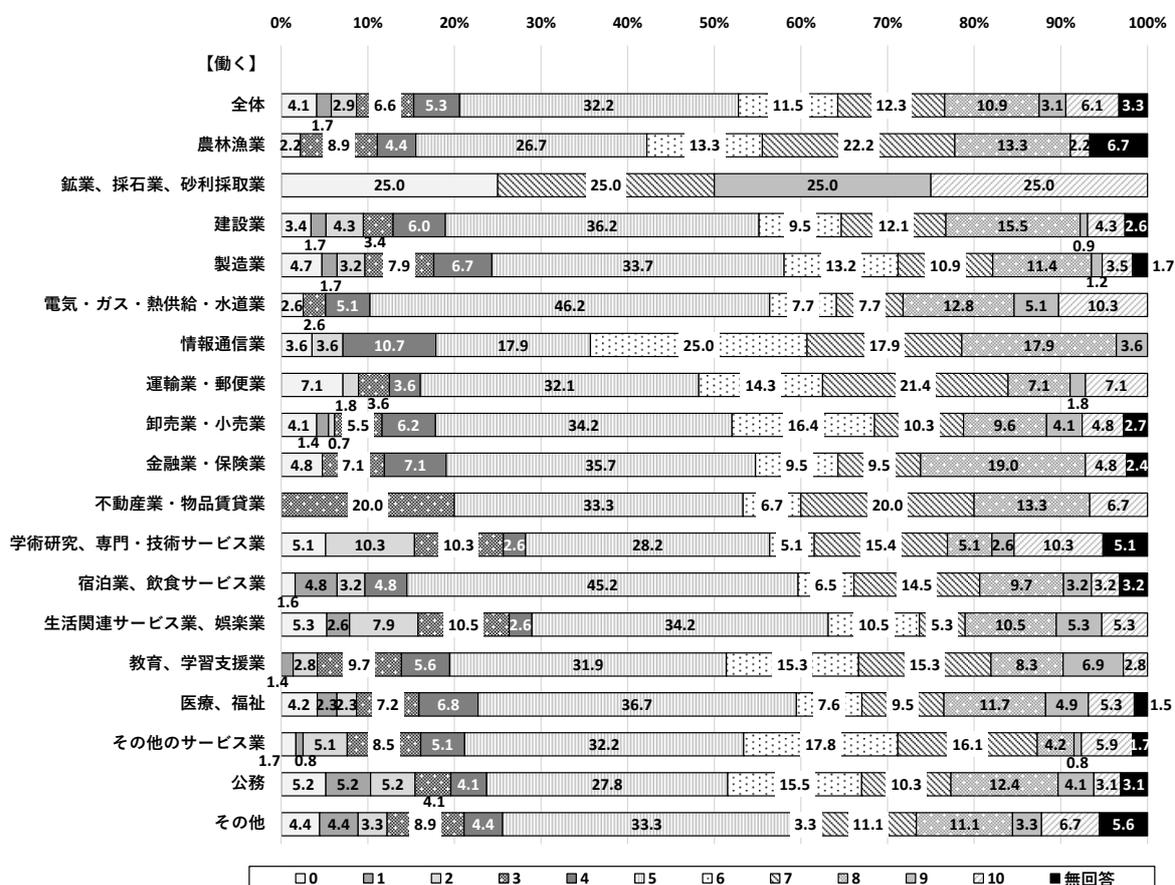


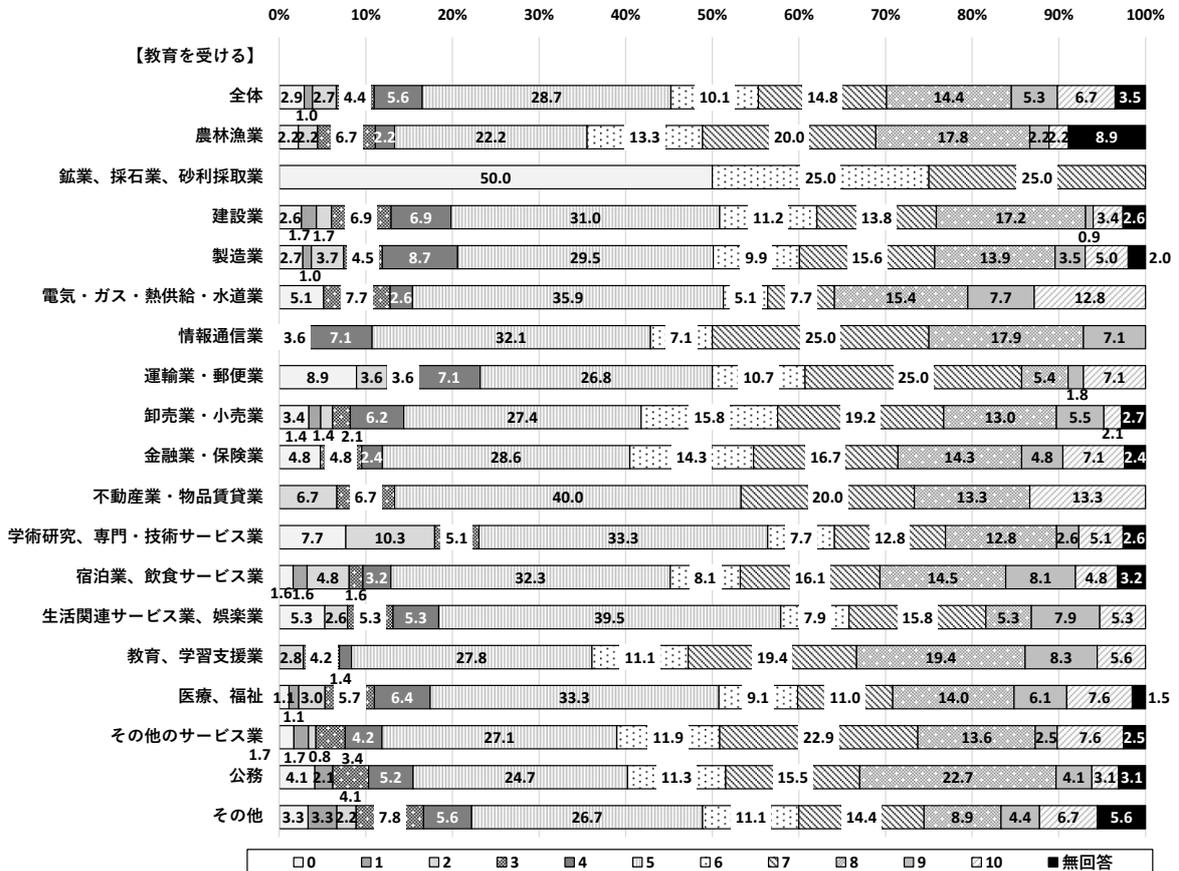
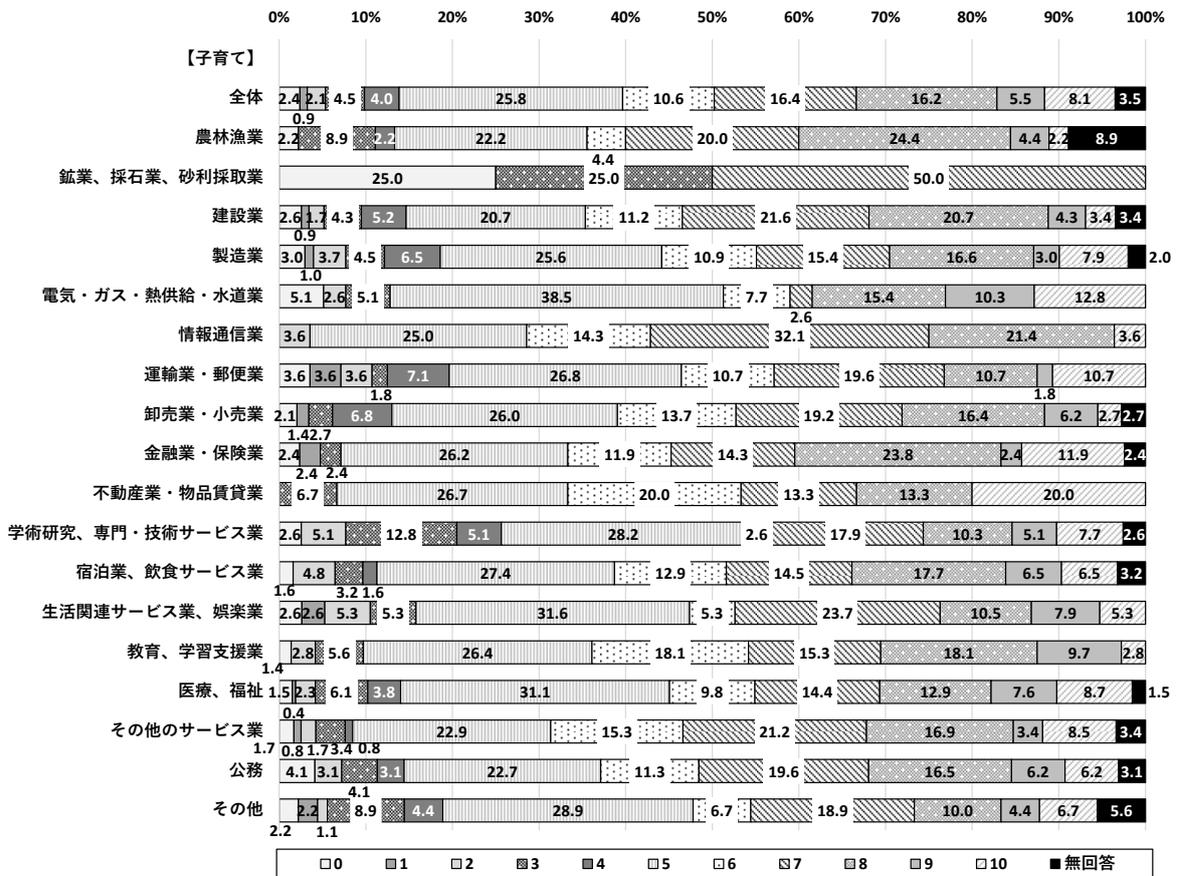
【割合】

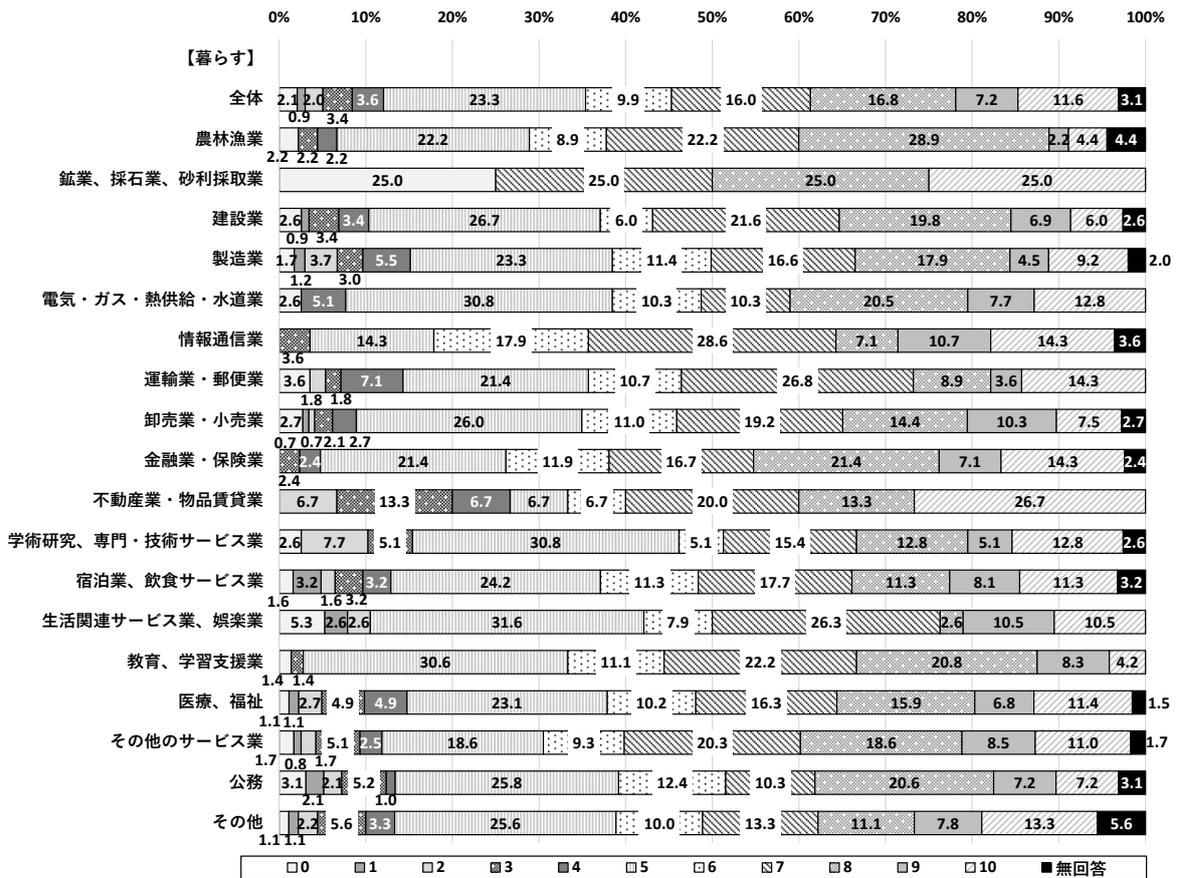
「子育て」の「農林漁業」では「8」が、「建設業」では「7」が最も高い。「暮らす」の「農林漁業」と「金融業・保険業」では「8」が、「運輸業・郵便業」と「その他サービス業」では「7」が最も高い。その他の職業は「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」においては、「農林漁業」と「運輸業・郵便業」が他の職業分野よりも若干高い。「子育て」においては、「建設業」「金融業・保険業」「教育、学習支援業」「その他サービス業」で6割を超えている。「教育を受ける」においては、「教育、学習支援業」で63.9%と、他の職業分野よりも高い。「暮らす」においては、「金融業・保険業」が71.4%と、他の職業分野よりも高い。

図表 19-6-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業分野別）





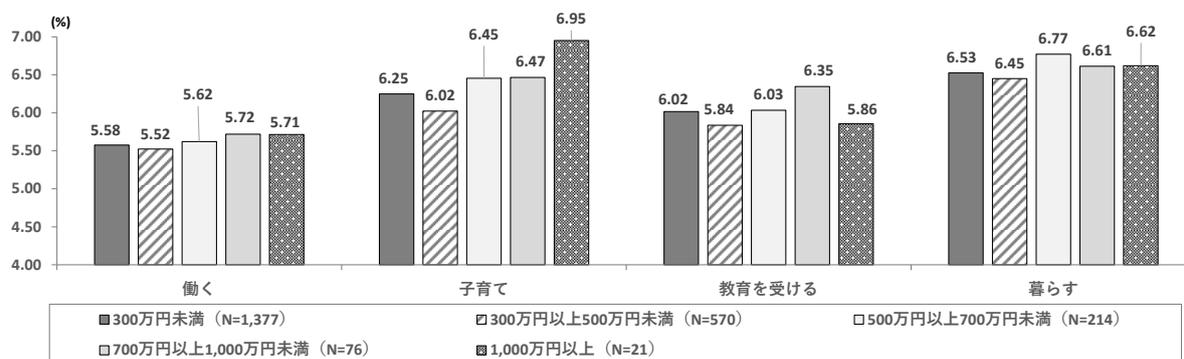


(6) - 3 年収別

【平均】

「子育て」と「暮らす」では、すべてで6.00を超えている。「子育て」では「700万円以上1,000万円未満」(6.47)が、「暮らす」では「1,000万円以上」(6.62)が最も高い。

図表 19-6-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(年収別)

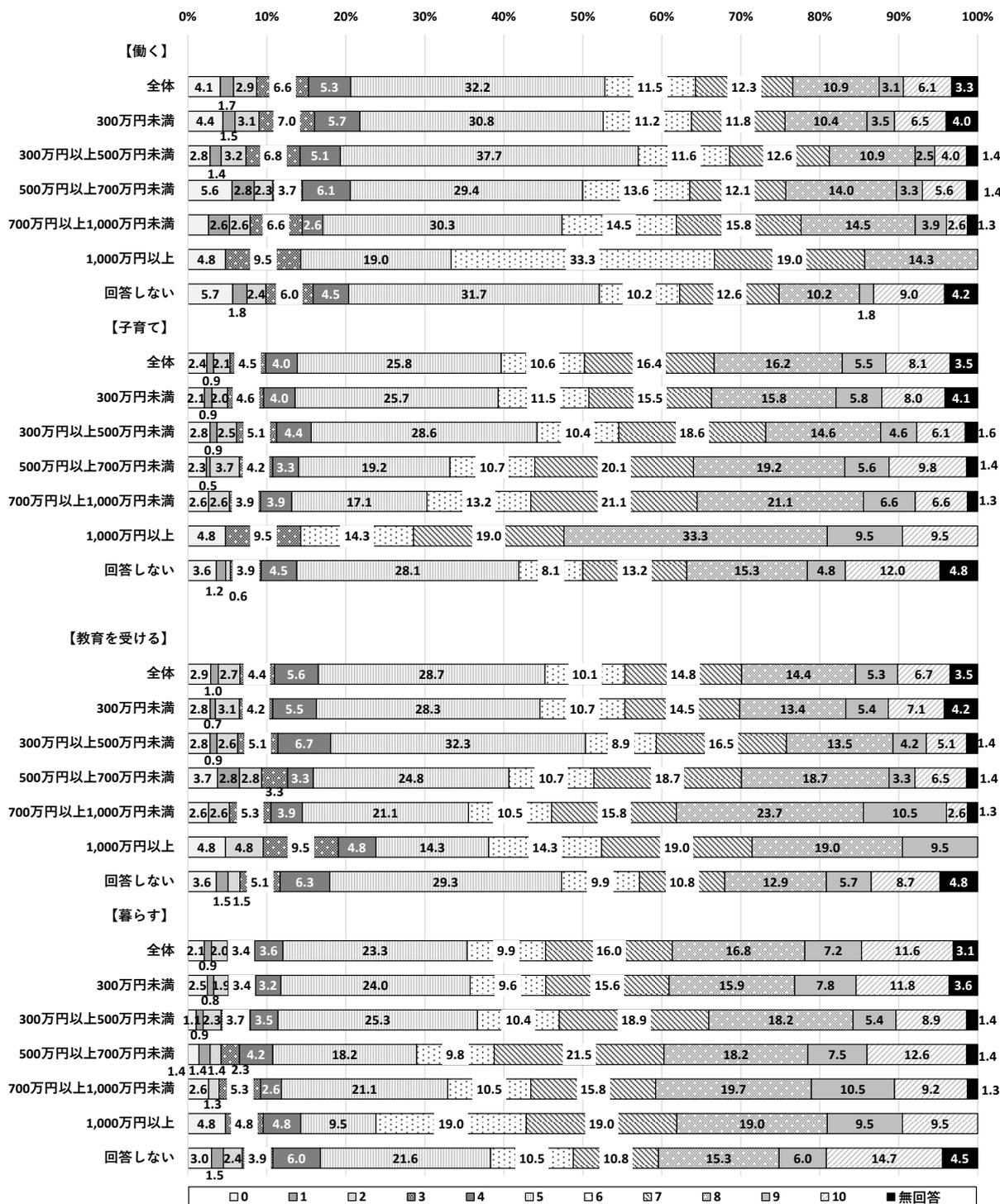


【割合】

「子育て」の「700万円以上1,000万円未満」では「8」(「7」と同割合)が、「500万円以上700万円未満」では「7」が最も高い。また、「教育を受ける」の「700万円以上1,000万円未満」では「8」が、「暮らす」の「500万円以上700万円未満」では「7」が最も高い。その他の属性では「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「教育を受ける」においては、「700万円以上1,000万円未満」が他よりも高くなっている。「暮らす」においては、「500万円以上700万円未満」が63.2%と、他よりも高い。

図表 19-6-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(年収別)

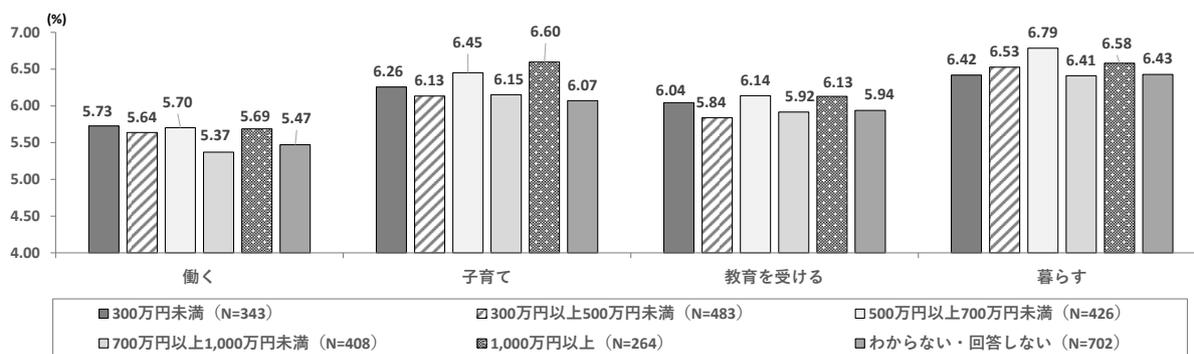


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

「子育て」と「暮らす」では、すべてで6.00を超えている。「子育て」では「1,000万円以上」(6.60)が、「暮らす」では「500万円以上700万円未満」(6.79)が最も高い。

図表 19-6-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(世帯年収別)



【割合】

すべての属性において、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「暮らす」においては、「500万円以上700万円未満」が他よりも若干高くなっている。「教育を受ける」においては、「1,000万円以上」が58.7%と他よりも高く、世帯年収が高まるほど割合が高まる傾向にある。

図表 19-6-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(世帯年収別)

